

【2022年度 実務経験のある教員による担当科目一覧】

教員氏名	科目分野	科目名	単位数	授業への実務経験の活用内容
張 琪	基礎教育	情報科学入門	2	海外企業も含めた企業での、ヒューマンインターフェースや人間の三次元視覚システム、脳科学等の研究経験を活かし、グローバル社会に対応するための実践的な情報通信技術の基礎を学ぶ。
	国際教養	情報処理 I	4	海外企業も含めた企業での、ヒューマンインターフェースや人間の三次元視覚システム、脳科学等の研究経験を活かし、グローバル社会に対応するためのスキルを実践的な観点で学ぶ。
		情報処理 II	4	
エリック ホノベ	基礎教育	英文会計基礎	4	企業におけるビジネスアナリスト経験を活かし、実践的な会計論を指導。
	国際教養	金融論	4	
		国際会計論	4	
		多国籍企業会計	4	
竹内 一真	基礎教育	キャリア開発論	4	複数大学でのキャリア指導経験を活かし、実践的・効果的な授業を行う。
新美 潤	国際教養	国際教養特別講義 II (国際政治)	4	1979年外務省に入省。外交官として、海外では英国、スイス、ケニア、フランス、イラン、ロシア、タイ、米国（在ロサンゼルス総領事）、ポルトガル（特命全権大使）の各国に勤務。本邦では外務本省にて総括審議官等様々なポストを経験すると共に、警察庁、経済産業省、衆議院事務局にても勤務。豊富な海外駐在経験と行政における実務経験を活かして、国際政治や国際法、国際機関等の仕組みや動向について講義を行う。
		国際法と国際機関	4	
橋詰 博樹	基礎教育	環境保全入門	2	厚生労働省・環境省・世界保健機関WHO等において廃棄物・リサイクル、水質管理・大気保全、地球温暖化対策等の環境保全・行政、また途上国協力に従事した経験を活かし、国際的な視点も含め様々な環境問題に実践的なアプローチを行う。
	国際教養	環境政策	4	
芦田 尚道	基礎教育	経営学入門	4	企業における勤務経験や具体的な営業経験を生かし、現代企業における業務の進め方や組織における人間の関係性のあり方、リーダー・フォロワー双方の立場からのより良き協働関係の構築の仕方、および実際の販売活動における企業と顧客との関係の前提的な仕組みや良好な協力関係の構築の仕方を、実例に即して紹介している。
	国際教養	マーケティング論	4	
金井 憲一郎	基礎教育	日本の法律	4	企業における法務を中心とした総務・人事等総務全般の実務経験を活かし、日本社会のいかなる場面でのような法律が解釈・適用され、実社会における諸問題が法的にどのように解決されているのか、反面において解決されない問題点としてどのような諸問題が残されているのかにつき、それぞれの具体例も説示する。

教員氏名	科目分野	科目名	単位数	授業への実務経験の活用内容
浅原 房夫	基礎教育	コンピューター入門	2	IT企業において、ITコンサルタント、企業のホームページ制作業務を担当してきた経験を生かして、実践的なコンピューターリテラシーを伝授する。
	国際教養	情報処理 I	4	
萩原 浩一	ホスピタリティ・マネジメント	コミュニケーション	4	ラジオ番組でのDJ&パーソナリティ&テレビ番組キャスター&MC、各企業・団体のPR大使、タレント等としての経験を活かし、実践的なコミュニケーションのスキルについて学ぶ。
奥村 裕美	ホスピタリティ・マネジメント	ホスピタリティ・マネジメント I	2	藤沢市観光協会インバウンド担当課長等の現場での経験を活かし、まずは地域の魅力を知り、おもてなしの心を持つ国際人となるための知見の機会を提供する。
藤本 正俊	ホスピタリティ・マネジメント	ホスピタリティ・マネジメント II	2	大手旅行会社JTBのシンクタンクJTB総合研究所から講師を招き旅行業を含む観光事業全般の事業内容・特性について実際の現場の状況を通して理解することを目指す。
森 紀人	ホスピタリティ・マネジメント	ホスピタリティ・マネジメント III	2	日本最大手の航空会社ANAで豊富な経験を持つ講師を招き、航空産業をベースにマネジメントやサービスの実践を学ぶ。
山下 由香里	ホスピタリティ・マネジメント	ホスピタリティ・マネジメント IV	2	阪急阪神第一ホテルグループ『第一イン湘南』の立ち上げから30年の経営の中で、ホテル内で起こる様々な出来事や実際のホテル業務を具体的に学ぶ。又、江ノ島・フィッシャーマンズ・プロジェクトの副代表としての活動から、地元江の島の現在起きている様々な環境問題やこれからの未来を託す子供達への体験学習などを、実例に即して紹介する。
鈴木 かの子	ホスピタリティ・マネジメント	ホスピタリティ・マネジメント特別講義 V (世界遺産検定3級対策講座)	2	世界遺産検定マイスターの資格を持ち、多くの世界遺産を訪問した経験のある講師を世界遺産アカデミーから招き、多文化理解や地球環境保護も視野に入れた世界遺産検定対策を行う。
		ホスピタリティ・マネジメント特別講義 VI (世界遺産検定2級対策講座)	2	
林 雄一郎	国際教養	簿記	4	公認会計士及び税理士の資格を持ち、監査法人、税理士事務所、公認会計士事務所等において実務に従事した経験を活かし、実務につながる実践的な内容を学ぶ。

教員氏名	科目分野	科目名	単位数	授業への実務経験の活用内容
長田 祥男	ゼミナール	プロジェクト・ゼミナールⅥ(日本伝統文化：いけばな理論と実践)	2	池坊鳳秀流家元として、数多くの華道展開催やいけばな教室等の伝統文化普及を行ってきた経験から、初心者にもわかりやすく日本の伝統文化を伝える。

計	84
基礎教育	22
専門	62

講義年度 / Year	2022年度		
科目名 / Course Title	情報科学入門 (A) (読み替え科目名：情報化社会とグローバル化※2021年度以前入学生対象)		
英文科目名 / Course Title (Eng.)	Introduction to Information Science (A) (Replacement Course Title : Informatization and Globalization Society ※For students enrolled before 2021)		
教員 / Instructor	張 琪 (Zhang, Qi)		
分野 / Division	共通科目 コア/GL Core	開講学期 / Semester	春学期
配当年次 / Grade	1年	単位数 / Credits	2単位
研究室 / Office	212	連絡先 / E-mail	zhangq@tama.ac.jp
授業で使用する言語 / Language Used in Class	<input checked="" type="checkbox"/> 日本語のみ <input type="checkbox"/> 英語のみ <input type="checkbox"/> 日本語と英語併用 (日本語と英語の比率) <input type="checkbox"/> その他外国語		

ディプロマ・ポリシーとの対応 / Relationship with DP	<p>◎(1) 知識と理解【グローバル社会に対する理解】</p> <p>一(2) 思考と判断【考え抜く力】</p> <p>一(3) 関心と意欲【社会の発展に貢献する力】</p> <p>○(4) 表現と技能【役割分担により組織目標の達成に貢献する力】</p> <p>一(5) 高い志【環境対応能力と先進性】</p>
アクティブ・ラーニングの手法 / Methods of Active Learning	<input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実習
到達目標 / Course Goals	<p>This course aims to nurture global human resources who can respond quickly to the development of informatization and globalization society, with strong execution abilities and broad horizons based on the awareness of carrying Japan's future by playing a major role in the world. They will be able to strictly rule themselves and have high ethical standards. The goal of this course is to deepen the understanding of social and technical infrastructure of the globalized information society, and acquire the basic knowledge of information and communication technology required by the global society. / 本科目はグローバル化、情報化社会の進展に即応して、世界の中で大きな役割を担うことで日本の将来を背負うという自覚に基づいた強い実行力と、それぞれの地域社会の可能性に対しての広い視野を持ち、自らを厳しく律することができる高い倫理観を備えた「志」の高いグローバル人材を育成することを目的としている。到達目標は、情報化社会の社会・技術基盤についての理解を深め、グローバル社会に適応する情報通信技術の基礎知識を身に付けることである。</p>
講義の概要 / Course Description	<p>The realization of advanced information communication environment today is one of the most indispensable factors in social globalization. It is expected that further development of the information and communication technology, including ubiquitous technology, will accelerate the social globalization further in all the aspects of the human society. In this course, we will learn about the basic knowledge of information and communication technologies, and their social and technical infrastructure, as well as how our life, culture, and society are affected by the deployment of various information and communication technologies and diversified information media. We will also learn about the information ethics and security.</p> <p>今日の高度な情報コミュニケーション環境の成立は、社会のグローバル化に不可欠な要因の一つといっても過言ではない。ユビキタス技術をはじめとする情報通信技術のさらなる発達、人間社会のあらゆるレベルでのグローバル化をさらに加速させていくものと予想される。本講義では、情報通信技術の基礎知識を学び、その社会基盤や技術基盤、及び私たちの生活や文化、社会などのグローバル化にどのような形で貢献し、影響を及ぼしてきたかを考えると、情報メディアや情報倫理とセキュリティについても学ぶ。</p>
準備学習時間・具体的内容 / Preparation study time Specific content	<p>Before class, make sure you fully understand the contents of the previous lecture. It takes at least 1.5 hours to review the lecture contents, complete the assignments, and prepare for the next lecture.</p> <p>授業前には、前回の講義内容について十分に理解をしておくこと。講義内容の復習、課題の完成及び次回講義の準備には、1.5時間以上の取組が必要。</p>
フィードバックの要領 / Detail of feedback	<p>Give feedback on the assignment by writing a comment.</p> <p>課題に対し、コメントを記入してフィードバックを行う。</p>
週ごとの授業計画 / Weekly Schedule	<p>Week 1: Introduction 第1週：イントロダクション Student Pre-Class Preparation: Read course descriptions. 予習・復習のポイント：コース概要を読み終えていること。</p> <p>Week 2: What is information /information society? 第2週：情報 / 情報化社会とは Student Pre-Class Preparation: Review the lecture content of Week 1 and complete the assignment. 予習・復習のポイント：第1週の学習内容を復習し、課題を完成しておくこと。</p> <p>Week 3: Social foundations of ubiquitous information society 第3週：ユビキタス情報社会の社会基盤 Student Pre-Class Preparation: Review the lecture content of Week 2. Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline. 予習・復習のポイント：第2週の学習内容を復習し、指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。</p> <p>Week 4: Internet of things (IOT) 第4週：モノのインターネット (IOT) Student Pre-Class Preparation: Investigate the ubiquitous information services over the world. Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline. 予習・復習のポイント：世界各国のユビキタス情報サービスについて調べておくこと。指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。</p> <p>Week 5: Digital transformation (DX)</p>

	<p>第5週：デジタルトランスフォーメーション (DX) Student Pre-Class Preparation: Investigate on the digital transformation (DX) and prepare for the presentation. Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline. 予習・復習のポイント：デジタルトランスフォーメーションについての発表を準備しておくこと。指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。</p> <p>Week 6: Mechanisms of Computers (1) 第6週：コンピュータの仕組み (1) Student Pre-Class Preparation: Review the basic knowledge of the information and communication technology (ICT). Complete the designated assignment. 予習・復習のポイント：情報通信技術の基本知識を復習しておくこと。指定された課題を完成すること。</p> <p>Week 7: Mechanisms of Computers (2) 第7週：コンピュータの仕組み (2) Student Pre-Class Preparation: Review the basic knowledge of computer mechanisms. Complete the designated assignment. 予習・復習のポイント：コンピュータの仕組みについての基本知識を復習しておくこと。指定された課題を完成すること。</p> <p>Week 8: Information network (1) 第8週：情報ネットワーク(1) Student Pre-Class Preparation: Review the basic knowledge of information network. Complete the designated assignment. 予習・復習のポイント：情報ネットワークの基本知識を復習しておくこと。指定された課題を完成すること。</p> <p>Week 9: Information network (2) 第9週：情報ネットワーク(2) Student Pre-Class Preparation: Review the basic knowledge of information network. Complete the designated assignment. 予習・復習のポイント：情報ネットワークの基本知識を復習しておくこと。指定された課題を完成すること。</p> <p>Week 10: Information collecting, processing, and transferring 第10週：情報収集、処理、発信 Student Pre-Class Preparation: Practice information collecting/processing/transferring procedures and prepare for the presentation. Complete the designated assignment. 予習・復習のポイント：情報収集・処理・発信の過程を練習し、発表を準備しておくこと。指定された課題を完成すること。</p> <p>Week 11: Information security 第11週：情報セキュリティ Student Pre-Class Preparation: Check and improve information security measures. Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline. 予習・復習のポイント：自分の情報セキュリティ対策を確認・改善しておくこと。指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。</p> <p>Week 12: Application of ICT in globalization age 第12週：グローバル化時代における情報通信技術の応用 Student Pre-Class Preparation: Practice information collecting/processing/transferring procedures and prepare for the presentation. Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline. 予習・復習のポイント：情報収集・処理・発信の過程を練習し、発表を準備しておくこと。指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。</p> <p>Week 13: Information media 第13週：情報メディア Student Pre-Class Preparation: Investigate and consider on information media. Complete the designated assignment. 予習・復習のポイント：グローバル化時代の情報メディアを考察しておくこと。指定された課題を完成すること。</p> <p>Week 14: Information ethics 第14週：情報倫理 Student Pre-Class Preparation: Investigate and consider on information ethics. Complete the designated assignment. 予習・復習のポイント：グローバル化時代の情報倫理を考察しておくこと。指定された課題を完成すること。</p> <p>Week 15: Review 第15週：総復習 Student Pre-Class Preparation: Review the course contents and prepare for the final examination. 予習・復習のポイント：授業内容を復習し、学期末試験に向けて準備すること。</p>
週ごとの授業計画 2 / Weekly Schedule 2 ※上段、文字数超過分を記載	
教科書 / Textbook	The course materials are available on T-NEXT, or delivered during the class. 授業資料はT-NEXTまたは授業中にて配布する。
指定図書 / Course Readings	特になし None
参考文献 / Reference List	The course materials are available on T-NEXT, or delivered during the class. 授業資料はT-NEXTまたは授業中にて配布する。
評価方法 / Method of Evaluation	Class Participation / 授業参加: 20% Assignments and presentations / 課題及び発表: 20% Review tests / 復習テスト: 30% Final Exam / 学期末試験: 30%

事前履修科目等 / Prerequisite	特になし None		
実務経験 / Work Experiences	有	授業への実務経験の活用 / Practical Contents	海外企業も含めた企業での、ヒューマンインターフェースや人間の三次元視覚システム、脳科学等の研究経験を活かし、グローバル社会に対応するための実践的な情報通信技術の基礎を学ぶ。
留意点 / Additional Information	<p>- Students who would like to register for this course must attend the class in Week 1. 履修希望者が多い場合は抽選を行うため、必ず第1週の授業に出席すること。</p> <p>- The score of each review test and the final exam should be more than the passing score. 単位を取得するには、復習テストと学期末試験ですべて合格点以上を取ること。</p> <p>- The presentations during the classes are compulsory. 授業中でのプレゼンは単位取得に必須である。</p>		
学生による授業評価(VOICE)への 教員からの応答 / Responses to VOICE			

講義年度 / Year	2022年度		
科目名 / Course Title	情報処理I (A)		
英文科目名 / Course Title (Eng.)	Information Processing I (A)		
教員 / Instructor	張 琪 (Zhang, Qi)		
分野 / Division	IS 選択/IS EL	開講学期 / Semester	春学期
配当年次 / Grade	2年	単位数 / Credits	4単位
研究室 / Office	212	連絡先 / E-mail	zhangq@tama.ac.jp
授業で使用する言語 / Language Used in Class	<input checked="" type="checkbox"/> 日本語のみ <input type="checkbox"/> 英語のみ <input type="checkbox"/> 日本語と英語併用（日本語と英語の比率） <input type="checkbox"/> その他外国語		

ディプロマ・ポリシーとの対応 / Relationship with DP	<p>一(1) 知識と理解【グローバル社会に対する理解】</p> <p>一(2) 思考と判断【考え抜く力】</p> <p>一(3) 関心と意欲【社会の発展に貢献する力】</p> <p>◎(4) 表現と技能【役割分担により組織目標の達成に貢献する力】</p> <p>○(5) 高い志【環境対応能力と先進性】</p>
アクティブ・ラーニングの手法 / Methods of Active Learning	<input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> フィールドワーク <input checked="" type="checkbox"/> 実習
到達目標 / Course Goals	<p>This course aims to nurture global human resources who can respond quickly to the development of global information society, with strong execution abilities and skills. The goal of this course is to acquire the efficient skills of word processing software which is one of the basic tools required for the academic studies and various business purposes. Students will acquire the ability of passing the MOS (Microsoft Office Specialist) exam of Word on the general specialist level.</p> <p>本科目はグローバル化、情報化社会の進展に即応して、強い実行力・スキルを備えたグローバル人材を育成することを目的としている。到達目標は、大学の学習生活に不可欠、かつ社会に出てからも活用できる情報処理の基本ツールとされる文書処理ソフトウェアの基本的な操作方法を習得し、さまざまな機能を効果的に使いこなすスキルが身に付けることにより、表現力がある文書を効率よく作成できることである。世界で通じる国際資格MOS（マイクロソフトオフィススペシャリスト）試験のWordスペシャリストレベル（一般レベル）に合格できるレベルに達する。</p>
講義の概要 / Course Description	<p>This course focuses on the literacy of information processing, which is necessary not only in the academic studies during the student lives, such as writing reports or graduation theme, but also for various business activities after students graduate and enter the business society. In this course, students will acquire the skills of using word processing software. They are trained to understand the basic processing methods and acquire the practical skills of Microsoft Word, such as changing sizes and font types of characters, creating and editing tables, printing documents, and so on.</p> <p>この科目では、学生生活でのレポートや卒業論文の作成などに不可欠、かつ社会に出てからもビジネス活動で活用できる情報処理のリテラシー能力を身につける。文書処理ソフトでの情報処理の具体的な操作手法を学ぶ。文字サイズやフォントの変更、表の作成・編集、作成した文書の印刷など、ワードソフトウェアの基本的な編集機能を理解し、スキルを習得する。講習や演習を通じて、MOS資格取得に欠かせない知識を獲得して活用できるように、より深く掘り下げた学習を行う。資格取得することにより、学生がスキル、自信、効率がアップし、学生生活や将来のビジネス日常業務における生産性が高まることにつながる。</p>
準備学習時間・具体的内容 / Preparation study time Specific content	<p>Before class, make sure you fully understand the contents of the previous lecture. It takes at least 3 hours to review the lecture contents, complete the assignments, and prepare for the next lecture.</p> <p>授業前には、前回の講義内容について十分に理解しておくこと。講義内容の復習、課題の完成及び次回講義の準備には、3時間以上の取組が必要。</p>
フィードバックの要領 / Detail of feedback	<p>Give feedback on the assignment by writing a comment.</p> <p>課題に対し、コメントを記入してフィードバックを行う。</p>
週ごとの授業計画 / Weekly Schedule	<p>Week 1: Introduction 第1週：イントロダクション Student Pre-Class Preparation: Have read course descriptions 予習・復習のポイント：シラバスを読んでいること。</p> <p>Week 2: Manage documents #1: Navigate within documents / Format documents ① 第2週：文書の管理 #1: 文書内を移動する/文書の書式を設定する① Student Pre-Class Preparation: Review the lecture content of Week 1 and read Chapter 1 Section 1 to 2 of the textbook. Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline. 予習・復習のポイント：第1週の授業内容を復習し、教科書の第1章第1節から第2節までを読んでおくこと。指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。</p> <p>Week 3: Manage documents #2: Format documents ② / Save and share documents ① 第3週：文書の管理 #2: 文書の書式を設定する②/文書を保存する、共有する① Student Pre-Class Preparation: Review the lecture content of Week 2 and read Chapter 1 Section 2 to 3 of the textbook. Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline. 予習・復習のポイント：第2週の授業内容を復習し、教科書の第1章第2節から第3節までを読んでおくこと。指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。</p> <p>Week 4: Manage documents #3: Save and share documents ② / Inspect documents for issues 第4週：文書の管理 #3: 文書を保存する、共有する②/文書を検査する Student Pre-Class Preparation: Review the lecture content of Week 3 and read Chapter 1 Section 4 of the textbook. Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline. 予習・復習のポイント：第3週の授業内容を復習し、教科書の第1章第3節から第4節までを読んでおくこと。</p>

	<p>指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。</p> <p>Week 5: Insert and format text, paragraphs, and sections: Insert and format text and paragraphs / Create and configure document sections 第5週：文字、段落、セクションの挿入と書式設定: 文字列や段落を挿入する、書式を設定する/文書にセクションを作成する、設定する Student Pre-Class Preparation: Review the lecture content of Week 4 and read Chapter 2 of the textbook. Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline. 予習・復習のポイント：第4週の授業内容を復習し、教科書の第2章を読んでおくこと。 指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。</p> <p>Week 6: Manage tables and lists #1: Create tables / modify tables ① 第6週：表やリストの管理 #1：表を作成する、変更する① Student Pre-Class Preparation: Review the lecture content of Week 5 and read Chapter 3 Section 1 to 2 of the textbook. Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline. 予習・復習のポイント：第5週の授業内容を復習し、教科書の第3章第1節から第2節までを読んでおくこと。 指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。</p> <p>Week 7: Manage tables and lists #2: modify tables ② / Create and modify lists 第7週：表やリストの管理 #2：表を変更する②/リストを作成する、変更する Student Pre-Class Preparation: Review the lecture content of Week 6 and read Chapter 3 Section 2 to 3 of the textbook. Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline. 予習・復習のポイント：第6週の授業内容を復習し、教科書の第3章第2節から第3節までを読んでおくこと。 指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。</p> <p>Week 8: Create and manage references #1: Create and manage reference elements 第8週：参考資料の作成と管理 #1：参照のための要素を作成する、管理する Student Pre-Class Preparation: Review the lecture content of Week 7 and read Chapter 4 Section 1 of the textbook. Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline. 予習・復習のポイント：第7週の授業内容を復習し、教科書の第4章第1節を読んでおくこと。 指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。</p> <p>Week 9: Create and manage references #2: Create and manage reference tables 第9週：参考資料の作成と管理 #2：参照のための一覧を作成する、管理する Student Pre-Class Preparation: Review the lecture content of Week 8 and read Chapter 4 Section 2 of the textbook. Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline. 予習・復習のポイント：第8週の授業内容を復習し、教科書の第4章第2節を読んでおくこと。 指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。</p> <p>Week 10: Insert and format graphic elements #1: Insert illustrations and text boxes / Format illustrations and text boxes ① 第10週：グラフィック要素の挿入と書式設定#1：図やテキストボックスを挿入する/図やテキストボックスを書式設定する① Student Pre-Class Preparation: Review the lecture content of Week 9 and read Chapter 5 Section 1 to 2 of the textbook. Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline. 予習・復習のポイント：第9週の授業内容を復習し、教科書の第5章第1節から第2節までを読んでおくこと。 指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。</p> <p>Week 11: Insert and format graphic elements #2: Format illustrations and text boxes ② / Add text to graphic elements / Modify graphic elements 第11週：グラフィック要素の挿入と書式設定 #2：図やテキストボックスを書式設定する②/グラフィック要素にテキストを追加する/グラフィック要素を変更する Student Pre-Class Preparation: Review the lecture content of Week 10 and read Chapter 5 Section 2 to Chapter 4 Section 2 of the textbook. Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline. 予習・復習のポイント：第10週の授業内容を復習し、教科書の第5章第2節から第4節までを読んでおくこと。 指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。</p> <p>Week 12: Manage document collaboration: Add and manage comments / Manage change tracking 第12週：文書の共同作業の管理： コメントを追加する、管理する/変更履歴を管理する Student Pre-Class Preparation: Review the lecture content of Week 11 and read Chapter 5 Section 2 and 3 of the textbook. Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline. 予習・復習のポイント：第11週の授業内容を復習し、教科書の第6章を読んでおくこと。 指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。</p> <p>Week 13: Overall summary exercises #1: Practice Exam #1 第13週：総まとめ総合演習 #1：模擬試験1回目 Student Pre-Class Preparation: Review the course content and prepare for the final examination. Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline. 予習・復習のポイント：授業内容を復習し、模擬試験1回目に向けて準備すること。 指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。</p> <p>Week 14: Overall summary exercises #2: Practice Exam #2 第14週：総まとめ総合演習 #2：模擬試験2回目 Student Pre-Class Preparation: Review the course content and prepare for the final examination. Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline. 予習・復習のポイント：模擬試験1回目を復習し、模擬試験2回目に向けて準備すること。 指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。</p> <p>Week 15: MOS Examination 第15週：MOS試験 Student Pre-Class Preparation: Review the course content and prepare for MOS examination. 予習・復習のポイント：模擬試験1、2回目及び本科目の全内容を復習し、MOS試験に向けて準備すること。</p>
週ごとの授業計画 2 / Weekly Schedule 2 ※上段、文字数超過分を記載	
教科書 / Textbook	『よくわかるマスター MOS Word 365&2019 対策テキスト&問題集』, FOM出版, 2020年.
指定図書 / Course Readings	MOS攻略問題集Word 365&2019, 佐藤 薫, 日経BP, 2020年.

参考文献 / Reference List	授業中に指定する。		
評価方法 / Method of Evaluation	Participation and assignments / 授業参加及び課題:30% Review tests / 復習テスト: 30% Final Exam / 学期末試験: 40%		
事前履修科目等 / Prerequisite	The "Introduction to Computers" course is a prerequisite for this course. 「コンピューター入門」の単位を取得済みであること。		
実務経験 / Work Experiences	有	授業への実務経験の活用 / Practical Contents	海外企業も含めた企業での、ヒューマンインターフェースや人間の三次元視覚システム、脳科学等の研究経験を活かし、グローバル社会に対応するためのスキルを実践的な観点で学ぶ。
留意点 / Additional Information	<ul style="list-style-type: none"> ・ The score of each review test and the final exam should be more than the passing score. 単位を取得するには、復習テスト及び学期末試験はすべて合格点以上取れること。 ・ Students who would like to register for this course must attend the class in Week 1. 履修希望者は第1週の授業に必ず出席すること。 ・ Students who would remotely take the course should use a Windows PC, on which "Microsoft Office Professional Plus 2019" has been installed. オンライン受講する場合は、Windows PCを使用し、「Microsoft Office Professional Plus 2019」がインストールされていること。 		
学生による授業評価(VOICE)への 教員からの応答 / Responses to VOICE			

講義年度 / Year	2022年度		
科目名 / Course Title	情報処理II (A)		
英文科目名 / Course Title (Eng.)	Information Processing II (A)		
教員 / Instructor	張 琪 (Zhang, Qi)		
分野 / Division	IS 選択/IS EL	開講学期 / Semester	春学期
配当年次 / Grade	2年	単位数 / Credits	4単位
研究室 / Office	212	連絡先 / E-mail	zhangq@tama.ac.jp
授業で使用する言語 / Language Used in Class	<input checked="" type="checkbox"/> 日本語のみ <input type="checkbox"/> 英語のみ <input type="checkbox"/> 日本語と英語併用（日本語と英語の比率） <input type="checkbox"/> その他外国語		

ディプロマ・ポリシーとの対応 / Relationship with DP	<p>一(1) 知識と理解【グローバル社会に対する理解】</p> <p>一(2) 思考と判断【考え抜く力】</p> <p>一(3) 関心と意欲【社会の発展に貢献する力】</p> <p>◎(4) 表現と技能【役割分担により組織目標の達成に貢献する力】</p> <p>○(5) 高い志【環境対応能力と先進性】</p>
アクティブ・ラーニングの手法 / Methods of Active Learning	<input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> フィールドワーク <input checked="" type="checkbox"/> 実習
到達目標 / Course Goals	<p>This course aims to nurture global human resources who can respond quickly to the development of global information society, with strong execution abilities and skills. The goal of this course is to acquire the efficient skills of spreadsheet software which is one of the basic tools required for the academic studies and various business purposes. Students will acquire the ability of passing the MOS (Microsoft Office Specialist) exam of Excel software on the general specialist level. / 本科目はグローバル化、情報化社会の進展に即応して、強い実行力・スキルを備えたグローバル人材を育成することを目的としている。到達目標は、大学の学習生活に不可欠、かつ社会に出てからも活用できる情報処理の基本ツールの一つとされる表計算ソフトウェアの基本的な操作方法を習得し、さまざまな処理・分析方法を使いこなすスキルが身に付けることにより、データを効率よく処理・分析、及びグラフなどで表現できるようになることである。世界で通じる国際資格MOS（マイクロソフトオフィススペシャリスト）試験のExcelスペシャリストレベル（一般レベル）に合格できるレベルに達する。</p>
講義の概要 / Course Description	<p>Spreadsheet is a necessary tool not only for academic studies but also for business society. The ability of summarizing data efficiently, processing them properly, and presenting the results with graphs to make them easy to be understood, is the basic ability for us to live in the formation society. In this course, students will acquire the literacy skills of information processing through learning the usage of spreadsheet software. Students are trained to understand the basic processing methods and acquire the practical skills of Microsoft Excel, such as creating formula and basic functions, setting formats of cells, creating graphs, and so on. / 表計算は学生生活だけではなく、ビジネス社会に必須なツールになっている。データを効率よく纏め、適切に処理した上、グラフなどで分かりやすく表現する能力は情報社会で生きるための基本能力である。この科目では、表計算ソフトでの情報処理の具体的な操作手法を学ぶ。数式や基本的な関数の作成、セルの書式設定、グラフ作成など、エクセルソフトウェアの基本的な操作を理解し、スキルを習得する。講習や演習を通じて、MOS資格取得に欠かせない知識を獲得して活用できるように、より深く掘り下げた学習を行う。資格取得することにより、学生がスキル、自信、効率がアップし、学生生活や将来のビジネス日常業務における生産性が高まることにつながる。</p>
準備学習時間・具体的内容 / Preparation study time Specific content	<p>Before class, make sure you fully understand the contents of the previous lecture. It takes at least 3 hours to review the lecture contents, complete the assignments, and prepare for the next lecture. / 授業前には、前回の講義内容について十分に理解しておくこと。講義内容の復習、課題の完成及び次回講義の準備には、3時間以上の取組が必要。</p>
フィードバックの要領 / Detail of feedback	<p>Give feedback on the assignment by writing a comment. / 課題に対し、コメントを記入してフィードバックを行う。</p>
週ごとの授業計画 / Weekly Schedule	<p>Week 1: Introduction 第1週： イントロダクション Student Pre-Class Preparation: Have read course descriptions 予習・復習のポイント： シラバスを読んでいること。</p> <p>Week 2: Create and manage worksheets and workbooks #1: Navigate within workbooks / Format worksheets & workbooks 第2週： ワークシートやブックの作成と管理 #1: ブック内を移動する/ワークシートやブックの書式を設定する Student Pre-Class Preparation: Review the lecture content of Week 1 and read Chapter 1 Section 1 to 2 of the textbook. Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline. 予習・復習のポイント： 第1週の授業内容を復習し、教科書の第1章第1節から第2節までを読んでおくこと。 指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。</p> <p>Week 3: Create and manage worksheets and workbooks #2: Customize options and views 第3週： ワークシートやブックの作成と管理 #2: オプションと表示をカスタマイズする Student Pre-Class Preparation: Review the lecture content of Week 2 and read Chapter 1 Section 3 of the textbook. Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline. 予習・復習のポイント： 第2週の授業内容を復習し、教科書の第1章第3節を読んでおくこと。 指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。</p> <p>Week 4: Create and manage worksheets and workbooks #3: Configure content for collaboration / Import data into workbooks 第4週： ワークシートやブックの作成と管理 #3: 共同作業のためにコンテンツを設定する/ブックにデータをインポートする Student Pre-Class Preparation: Review the lecture content of Week 3 and read Chapter 1 Section 4 to 5 of the textbook. Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline. 予習・復習のポイント： 第3週の授業内容を復習し、教科書の第1章第4節から第5節までを読んでおくこと。 指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。</p>

<p>Week 5: Manage the data in cells and cell ranges #1: Manipulate data in worksheets / Format cells and ranges ① 第5週：セルやセル範囲のデータの管理 #1：シートのデータを操作する/セルやセル範囲の書式を設定する① Student Pre-Class Preparation: Review the lecture content of Week 4 and read Chapter 2 Section 1 to 2 of the textbook. Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline. 予習・復習のポイント：第4週の授業内容を復習し、教科書の第2章第1節から第2節までを読んでおくこと。 指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。</p> <p>Week 6: Manage the data in cells and cell ranges #2: Format cells and ranges ② 第6週：セルやセル範囲のデータの管理#2：セルやセル範囲の書式を設定する② Student Pre-Class Preparation: Review the lecture content of Week 5 and read Chapter 2 Section 2 of the textbook. Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline. 予習・復習のポイント：第5週の授業内容を復習し、教科書の第2章第2節を読んでおくこと。 指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。</p> <p>Week 7: Manage the data in cells and cell ranges #3: Define and reference named ranges / Summarize data visually ① 第7週：セルやセル範囲のデータの管理 #3：名前付き範囲を定義する、参照する/データを視覚的にまとめる① Student Pre-Class Preparation: Review the lecture content of Week 6 and read Chapter 2 Section 3 to 4 of the textbook. Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline. 予習・復習のポイント：第6週の授業内容を復習し、教科書の第2章第3節から第4節までを読んでおくこと。 指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。</p> <p>Week 8: Manage the data in cells and cell ranges #4: Summarize data visually ② 第8週：セルやセル範囲のデータの管理 #4：データを視覚的にまとめる② Student Pre-Class Preparation: Review the lecture content of Week 7 and read Chapter 2 Section 4 of the textbook. Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline. 予習・復習のポイント：第7週の授業内容を復習し、教科書の第2章第4節を読んでおくこと。 指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。</p> <p>Week 9: Manage tables and table data: Create, format, and modify tables / Filter and sort table data 第9週：テーブルとテーブルのデータの管理：テーブルを作成・変更する、書式設定する/テーブルのデータをフィルターする、並べ替える Student Pre-Class Preparation: Review the lecture content of Week 8 and read Chapter 3 of the textbook. Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline. 予習・復習のポイント：第8週の授業内容を復習し、教科書の第3章を読んでおくこと。 指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。</p> <p>Week 10: Perform operations by using formulas and functions #1: Insert references 第10週：数式や関数を使用した演算の実行 #1：参照を追加する Student Pre-Class Preparation: Review the lecture content of Week 9 and read Chapter 4 Section 1 of the textbook. Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline. 予習・復習のポイント：第9週の授業内容を復習し、教科書の第4章第1節を読んでおくこと。 指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。</p> <p>Week 11: Perform operations by using formulas and functions #2: Calculate and transform data / Format and modify text 第11週：数式や関数を使用した演算の実行 #2：データを計算する、加工する /文字列を変更する、書式設定する Student Pre-Class Preparation: Review the lecture content of Week 10 and read Chapter 4 Section 2 to 3 of the textbook. Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline. 予習・復習のポイント：第10週の授業内容を復習し、教科書の第4章第2節から第3節までを読んでおくこと。 指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。</p> <p>Week 12: Manage graphs: Create graphs / Modify graphs / Format graphs 第12週：グラフの管理：グラフを作成する/グラフを変更する/グラフを書式設定する Student Pre-Class Preparation: Review the lecture content of Week 11 and read Chapter 5 of the textbook. Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline. 予習・復習のポイント：第11週の授業内容を復習し、教科書の第5章を読んでおくこと。 指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。</p> <p>Week 13: Overall summary exercises #1: Practice Exam #1 第13週：総まとめ総合演習 #1：模擬試験1回目 Student Pre-Class Preparation: Review the course content and prepare for the final examination. Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline. 予習・復習のポイント：授業内容を復習し、模擬試験1回目に向けて準備すること。 指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。</p> <p>Week 14: Overall summary exercises #2: Practice Exam #2 第14週：総まとめ総合演習 #2：模擬試験2回目 Student Pre-Class Preparation: Review the course content and prepare for the final examination. Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline. 予習・復習のポイント：模擬試験1回目を復習し、模擬試験2回目に向けて準備すること。 指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。</p> <p>Week 15: MOS Examination 第15週：MOS試験 Student Pre-Class Preparation: Review the course content and prepare for MOS examination. 予習・復習のポイント：模擬試験1、2回目及び本科目の全内容を復習し、MOS試験に向けて準備すること。</p>	
<p>週ごとの授業計画 2 / Weekly Schedule 2 ※上段、文字数超過分を記載</p>	
<p>教科書 / Textbook</p>	<p>『よくわかるマスター MOS Excel 365&2019 対策テキスト&問題集』, FOM出版, 2020年.</p>

指定図書 / Course Readings	MOS攻略問題集Excel 365&2019, 土岐 順子, 日経BP, 2020年.		
参考文献 / Reference List	授業中に指定する		
評価方法 / Method of Evaluation	Participation and assignments / 授業参加及び課題:30% Review tests / 復習テスト: 30% Final Exam / 学期末試験: 40%		
事前履修科目等 / Prerequisite	The "Introduction to Computers" course is a prerequisite for this course. 「コンピューター入門」の単位を取得済みであること。		
実務経験 / Work Experiences	有	授業への実務経験の活用 / Practical Contents	海外企業も含めた企業での、ヒューマンインターフェースや人間の三次元視覚システム、脳科学等の研究経験を活かし、グローバル社会に対応するためのスキルを実践的な観点で学ぶ。
留意点 / Additional Information	<ul style="list-style-type: none"> ・ The score of each review test and the final exam should be more than the passing score. 単位を取得するには、復習テストと学期末試験はすべて合格点以上取れること。 ・ Students who would like to register for this course must attend the class in Week 1. 履修希望者は第1週の授業に必ず出席すること。 ・ Students who would remotely take the course should use a Windows PC, on which "Microsoft Office Professional Plus 2019" has been installed. オンライン受講する場合は、Windows PCを使用し、「Microsoft Office Professional Plus 2019」がインストールされていること。 		
学生による授業評価(VOICE)への 教員からの応答 / Responses to VOICE			

講義年度 / Year	2022年度		
科目名 / Course Title	英文会計基礎		
英文科目名 / Course Title (Eng.)	Fundamental Accounting in English		
教員 / Instructor	エリック ホノベ (Honobe, Erik)		
分野 / Division	共通科目一般 選択/GL EL	開講学期 / Semester	春学期
配当年次 / Grade	2年	単位数 / Credits	4単位
研究室 / Office	202	連絡先 / E-mail	honobe@tama.ac.jp
授業で使用する言語 / Language Used in Class	<input type="checkbox"/> 日本語のみ <input type="checkbox"/> 英語のみ <input checked="" type="checkbox"/> 日本語と英語併用 (日本語50% 英語50%) <input type="checkbox"/> その他外国語		

ディプロマ・ポリシーとの対応 / Relationship with DP	<p>—(1) 知識と理解【グローバル社会に対する理解】</p> <p>◎(2) 思考と判断【考え抜く力】</p> <p>—(3) 関心と意欲【社会の発展に貢献する力】</p> <p>○(4) 表現と技能【役割分担により組織目標の達成に貢献する力】</p> <p>—(5) 高い志【環境対応能力と先進性】</p>
アクティブ・ラーニングの手法 / Methods of Active Learning	<input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実習
到達目標 / Course Goals	<p>The goals of this course are to acquire skills for analyzing and understanding financial statements in English, to become familiar with fundamentals of management accounting and accounting value calculations in English, and to learn how to translate basic accounting concepts from Japanese to English.</p> <p>本講義の目標は英文財務諸表を理解し分析できる能力を取得し、管理会計および原価計算の基本を英語で理解出来るように成り、基本の会計概念の英訳ができるようになることである。</p>
講義の概要 / Course Description	<p>Corporate accounting is a system for representing the economic activities of a firm in monetary terms. For example, one can understand the operating activities of a firm by looking at its financial statements. In this course, we learn how to analyze basic principles of the financial statements of a firm and how to read financial statements in English. Also, to further our understanding of these concepts, examples of the accounting transactions of a firm are simulated during the lectures.</p> <p>企業会計は、企業の経済活動を貨幣価値で表現するための仕組みである。企業の財務諸表を見ることで、企業がどのような事業活動を行っているかを理解することができる。本講義では、企業における財務会計の基本的な考え方や英文財務諸表の見方・分析方法を学ぶ。また、授業の中で企業における取引の設例による演習を行うことで理解を深める。</p>
準備学習時間・具体的内容 / Preparation study time Specific content	<p>Before each class, students are to read the textbook, assigned readings and others (3 hours needed).</p> <p>・教科書や指定図書、等を事前に読んでおくこと (3時間を要する)。</p>
フィードバックの要領 / Detail of feedback	<p>Feedback is provided through grades of assignments, short tests and examinations.</p> <p>課題、小テスト、試験を採点してしてフィードバックを行う。</p>
週ごとの授業計画 / Weekly Schedule	<p>Week 1: Chapter 1: Introduction 第1週：第1章 基本原則 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 1 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第1章</p> <p>Week 2: Chapter 2: Balance Sheet Changes; Income Measurement 第2週：第2章、前半 貸借対照表の変化：利益の測定 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 2 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第2章、前半</p> <p>Week 3: Chapter 3: Accounting Records and System 第3週：第3章、後半 貸借対照表の変化：利益の測定 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 3 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第3章、後半</p> <p>Week 4: Chapter 4, first half: Revenues and Monetary Assets 第4週：第4章、前半 収益と貨幣制資産 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 4, first half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第4章、前半</p> <p>Week 5: Chapter 4, second half: Revenues and Monetary Assets 第5週：第4章、後半 収益と貨幣制資産 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 4, second half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第4章、後半</p> <p>Week 6: Chapter 5, first half: Expense Measurement; The Income Statement 第6週：第5章、前半 費用の測定：損益計算書 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 5, first half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第5章、前半</p> <p>Week 7: Chapter 5, second half: Expense Measurement; The Income Statement</p>

	<p>第7週：第5章、後半 費用の測定：損益計算書 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 5, second half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第5章、後半</p> <p>Week 8: Chapter 6, first half: Inventories and Cost of Sales 第8週：第6章、前半 棚卸資産と売上原価 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 6, first half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第6章、前半</p> <p>Week 9: Chapter 6, second half: Inventories and Cost of Sales 第9週：第6章、後半 棚卸資産と売上原価 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 6, second half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第6章、後半</p> <p>Week 10: Chapter 7, first half: Noncurrent Assets and Depreciation 第10週：第7章、前半 固定資産と減価償却 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 7, first half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第7章、前半</p> <p>Week 11: Chapter 7, second half: Noncurrent Assets and Depreciation 第11週：第7章、後半 固定資産と減価償却 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 7, second half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第7章、後半</p> <p>Week 12: Chapter 8, first half: Liabilities and Equity 第12週：第8章、前半 負債および純資産の部 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 8, first half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第8章、前半</p> <p>Week 13: Chapter 8, second half: Liabilities and Equity 第13週：第8章、後半 負債および純資産の部 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 8, second half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第8章、後半</p> <p>Week 14: Chapter 9, first half: Statement of Cash Flows 第14週：第9章、前半 キャッシュフロー計算書 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 9, first half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第9章、前半</p> <p>Week 15: Chapter 9, second half: Statement of Cash Flows 第15週：第9章、後半 キャッシュフロー計算書 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 9, second half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第9章、後半</p>		
週ごとの授業計画 2 / Weekly Schedule 2 ※上段、文字数超過分を記載			
教科書 / Textbook	会計学入門〈第5版〉桜井 久勝(著) 出版社：日本経済新聞出版; 第5版 (2018)		
指定図書 / Course Readings	John Wild, Ken Shaw (2018). Fundamental Accounting Principles (24th Edition). McGraw-Hill.		
参考文献 / Reference List	None in particular. 特になし		
評価方法 / Method of Evaluation	Participation / 授業参加: 20% Assignments / 課題: 20% Midterm Exam / 中間試験: 30% Final Exam / 期末試験: 30%		
事前履修科目等 / Prerequisite	None in particular. 特になし		
実務経験 / Work Experiences	有	授業への実務経験の活用 / Practical Contents	企業におけるビジネスアナリスト経験を活かし、実践的な会計論を指導。
留意点 / Additional Information	None in particular. 特になし		
学生による授業評価(VOICE)への 教員からの応答 / Responses to VOICE			

講義年度 / Year	2022年度		
科目名 / Course Title	金融論		
英文科目名 / Course Title (Eng.)	Theory of Finance		
教員 / Instructor	エリック ホノベ (Honobe, Erik)		
分野 / Division	IS 選択/IS EL	開講学期 / Semester	春学期
配当年次 / Grade	2年	単位数 / Credits	4単位
研究室 / Office	202	連絡先 / E-mail	honobe@tama.ac.jp
授業で使用する言語 / Language Used in Class	<input type="checkbox"/> 日本語のみ <input type="checkbox"/> 英語のみ <input checked="" type="checkbox"/> 日本語と英語併用 (日本語50% 英語50%) <input type="checkbox"/> その他外国語		

ディプロマ・ポリシーとの対応 / Relationship with DP	<p>—(1) 知識と理解【グローバル社会に対する理解】</p> <p>◎(2) 思考と判断【考え抜く力】</p> <p>○(3) 関心と意欲【社会の発展に貢献する力】</p> <p>—(4) 表現と技能【役割分担により組織目標の達成に貢献する力】</p> <p>—(5) 高い志【環境対応能力と先進性】</p>
アクティブ・ラーニングの手法 / Methods of Active Learning	<input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実習
到達目標 / Course Goals	<p>Our main goal in Theory of Finance is to understand the financial situation of a firm from the point of view of funding from banks and stockholders. Other goals include to acquire basic concepts regarding financial markets, such as common stock, long-term bonds, currency exposure and others, and to apply our understanding of these concepts to financial examples of actual companies.</p> <p>金融論は会社の経営状態を資金の観点から把握する学問である。基礎知識の習得と実際の証券市場及び証券市場からみた経済について理解することにある。株式・債券・為替など証券金融市場について基礎知識を習得し、経済活動や企業行動の実際の動きに対する理解を深め基本的な概念を身につける。</p>
講義の概要 / Course Description	<p>In this course, students are introduced to the financial world. We learn how financial markets work, how corporate bonds and stocks are issued, and how large companies aim at finding a balance between large profits and the risk of going bankrupt. Also, we learn how large companies manage their money and debt, and how companies decide to invest in new projects such as modernizing their equipment, building new branches and new factories, or starting a new line of products. Finally, we look at how companies attempt to attract more stockholders by giving them high dividend payments and other such benefits.</p> <p>本講義は金融市場の構成、社債券や株式発行等の金融の基礎を学習する。大手企業の資産と負債の管理方法、設備投資や新支店・工場の建設、新商品の生産などの企画に投資する意思決定を学び、大手企業がどのような方法で高利益と倒産のリスク回避のバランスを見極めるか等も学ぶ。講義後半には、株主からの継続的な資金投資を受けるための高い配当金や株主の特別待遇の方針を学習する。</p>
準備学習時間・具体的内容 / Preparation study time Specific content	<p>Before each class, students are to read the textbook, assigned readings and others (3 hours needed).</p> <p>・教科書や指定図書、等を事前に読んでおくこと (3時間を要する)。</p>
フィードバックの要領 / Detail of feedback	<p>Feedback is provided through grades of assignments, short tests and examinations.</p> <p>課題、小テスト、試験を採点してしてフィードバックを行う。</p>
週ごとの授業計画 / Weekly Schedule	<p>Week 1: Chapter 1: Finance and the Financial Manager 第1週：第1章: ファイナンスと財務担当者 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 1 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第1章</p> <p>Week 2: Chapter 2, first half: Present Values, the Objectives of the Firm, and Corporate Governance 第2週：第2章、前半: 現在価値、企業の目的とコーポレート・ガバナンス Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 2, first half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第2章、前半</p> <p>Week 3: Chapter 2, second half: Present Values, the Objectives of the Firm, and Corporate Governance 第3週：第2章、後半: 現在価値、企業の目的とコーポレート・ガバナンス Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 2, second half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第2章、後半</p> <p>Week 4: Chapter 3, first half: How to Calculate Present Values 第4週：第3章、前半: 現在価値の計算 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 3, first half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第3章、前半</p> <p>Week 5: Chapter 3, second half: How to Calculate Present Values 第5週：第3章、後半: 現在価値の計算 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 3, second half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第3章、後半</p> <p>Week 6: Chapter 4, first half: Valuing Bonds 第6週：第4章、前半: 債権の評価 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 4, first half</p>

	<p>予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第4章、前半</p> <p>Week 7: Chapter 4, second half: Valuing Bonds 第7週：第4章、後半: 債権の評価 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 4, second half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第4章、後半</p> <p>Week 8: Chapter 7, first half: Making Investment Decisions with the Net Present Value Rule 第8週：第7章、前半: 純現在価値ルールによる投資判断 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 7, first half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第7章、前半</p> <p>Week 9: Chapter 7, second half: Making Investment Decisions with the Net Present Value Rule 第9週：第7章、後半: 純現在価値ルールによる投資判断 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 7, second half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第7章、後半</p> <p>Week 10: Chapter 15, first half: An Overview of Corporate Financing 第10週：第15章、前半: 企業の資金調達概要 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 15, first half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第15章、前半</p> <p>Week 11: Chapter 15, second half: An Overview of Corporate Financing 第11週：第15章、後半: 企業の資金調達概要 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 15, second half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第15章、後半</p> <p>Week 12: Chapter 16, first half: How Corporations Issue Securities 第12週：第16章、前半: 企業はどのように証券を発行するのか Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 16, first half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第16章、前半</p> <p>Week 13: Chapter 16, second half: How Corporations Issue Securities 第13週：第16章、後半: 企業はどのように証券を発行するのか Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 16, second half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第16章、後半</p> <p>Week 14: Chapter 17, first half: Payout Policy 第14週：第17章、前半 ペイアウト政策 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 17, first half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第17章、前半</p> <p>Week 15: Chapter 17, second half: Payout Policy 第15週：第17章、後半 ペイアウト政策 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 17, second half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第17章、後半</p>		
<p>週ごとの授業計画 2 / Weekly Schedule 2 ※上段、文字数超過分を記載</p>			
<p>教科書 / Textbook</p>	<p>本合曉詩『英語で学ぶコーポレートファイナンス入門』第2版、中央経済社、2019年</p>		
<p>指定図書 / Course Readings</p>	<p>Brealey, Myers, et al. (2019). Principles of Corporate Finance (13th ed.). McGraw-Hill.</p>		
<p>参考文献 / Reference List</p>	<p>None in particular. 特になし</p>		
<p>評価方法 / Method of Evaluation</p>	<p>Participation / 授業参加: 20% Assignments / 課題: 20% Midterm Exam / 中間試験: 30% Final Exam / 期末試験: 30%</p>		
<p>事前履修科目等 / Prerequisite</p>	<p>None in particular. 特になし</p>		
<p>実務経験 / Work Experiences</p>	<p>有</p>	<p>授業への実務経験の活用 / Practical Contents</p>	<p>企業におけるビジネスアナリスト経験を活かし、実践的な会計論を指導。</p>
<p>留意点 / Additional Information</p>	<p>None in particular. 特になし</p>		
<p>学生による授業評価(VOICE)への教員からの応答 / Responses to VOICE</p>			

講義年度 / Year	2022年度		
科目名 / Course Title	国際会計論		
英文科目名 / Course Title (Eng.)	International Accounting		
教員 / Instructor	エリック ホノベ (Honobe, Erik)		
分野 / Division	IS 選択/IS EL	開講学期 / Semester	秋学期
配当年次 / Grade	2年	単位数 / Credits	4単位
研究室 / Office	202	連絡先 / E-mail	honobe@tama.ac.jp
授業で使用する言語 / Language Used in Class	<input type="checkbox"/> 日本語のみ <input type="checkbox"/> 英語のみ <input checked="" type="checkbox"/> 日本語と英語併用 (日本語50% 英語50%) <input type="checkbox"/> その他外国語		

ディプロマ・ポリシーとの対応 / Relationship with DP	<p>—(1) 知識と理解【グローバル社会に対する理解】</p> <p>◎(2) 思考と判断【考え抜く力】</p> <p>—(3) 関心と意欲【社会の発展に貢献する力】</p> <p>○(4) 表現と技能【役割分担により組織目標の達成に貢献する力】</p> <p>—(5) 高い志【環境対応能力と先進性】</p>
アクティブ・ラーニングの手法 / Methods of Active Learning	<input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実習
到達目標 / Course Goals	<p>Internationalization is a current of modern society. It permeates, needless to say, politics and culture, and has repercussions in the world of accounting. In this course, our main goal is to master principles involved in preparing and presenting financial statements based on international standards. Also, we aim at becoming aware of the role and importance of such financial statements when considering concepts such as accuracy in financial reporting and its regulatory systems, efficient capital markets, and the information flow in market economies. 国際化は現代社会の潮流である。この流れは、政治や文化は言うに及ばず、会計の世界にも及んでいる。本授業では、国際基準の財務諸表の作成が要請される背景や作成原理、表示方法をマスターすることを目標とする。授業目標は財務諸表制度が公正かつ健全な資本市場の形成とともに市場経済基盤の確立のため、いかに重要な役割を担っているかを受講者が認識するように努力するところにある。</p>
講義の概要 / Course Description	<p>In this course, students develop skills necessary to assess the business performance of international companies by analyzing and interpreting their financial statements. We focus on cash liquidity, inventory turnover, income tax shield, investment in assets, issuance of debt, and other key factors in assessing a company's management efficiency and profitability. In particular, we learn not only how financial statements are generated, but also, and more importantly, how differences in accounting methods can affect a company's reported financial condition, results of operations, cash flows and profitability ratios.</p> <p>本講義では、学生が企業の財務諸表を的確に分析・解釈し、その企業の業績を評価するための必要なスキルを身につける。具体的に、「貸借対照表」「損益計算書」「キャッシュフロー計算書」の分析を実際の会社の財務諸表を用いながら学びます。企業の効率や収益性を評価するための主な要因、例えば、支払能力、在庫回転率、所得税、資産投資、社債発行などに焦点を当てる。また、財務諸表の作成方法だけではなく、会計方法の違いがいかに経営業績、収益性比率、キャッシュフロー等に影響を与えるかという事も学習する。</p>
準備学習時間・具体的内容 / Preparation study time Specific content	<p>Before each class, students are to read the textbook, assigned readings and others (3 hours needed).</p> <p>・教科書や指定図書、等を事前に読んでおくこと (3時間を要する)。</p>
フィードバックの要領 / Detail of feedback	<p>Feedback is provided through grades of assignments, short tests and examinations.</p> <p>課題、小テスト、試験を採点してしてフィードバックを行う。</p>
週ごとの授業計画 / Weekly Schedule	<p>Week 1: Chapter 1: Financial Statement Analysis: An Introduction 第1週： 第1章: 財務諸表分析入門 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 1 予習・復習のポイント： 学生は事前に読んでおく事: 第1章</p> <p>Week 2: Chapter 2, first half: Financial Reporting Mechanics 第2週： 第2章の前半: 財務報告の仕組み Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 2, first half 予習・復習のポイント： 学生は事前に読んでおく事: 第2章の前半</p> <p>Week 3: Chapter 2, second half: Financial Reporting Mechanics 第3週： 第2章の後半: 財務報告の仕組み Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 2, second half 予習・復習のポイント： 学生は事前に読んでおく事: 第2章の後半</p> <p>Week 4: Chapter 4, first half: Understanding the Income Statement 第4週： 第4章の前半: 損益計算書の理解 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 4, first half 予習・復習のポイント： 学生は事前に読んでおく事: 第4章の前半</p> <p>Week 5: Chapter 4, second half: Understanding the Income Statement 第5週： 第4章の後半: 損益計算書の理解 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 4, second half 予習・復習のポイント： 学生は事前に読んでおく事: 第4章の後半</p> <p>Week 6: Chapter 5, first half: Understanding the Balance Sheet</p>

	<p>第6週：第5章の前半:貸借対照表の理解 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 5, first half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事:第5章の前半</p> <p>Week 7: Chapter 5, second half: Understanding the Balance Sheet 第7週：第5章の後半:貸借対照表の理解 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 5, second half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事:第5章の後半</p> <p>Week 8: Chapter 6, first half: Understanding the Cash Flow Statement 第8週：第6章の前半:キャッシュフロー計算書の理解 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 6, first half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事:第6章の前半</p> <p>Week 9: Chapter 6, second half: Understanding the Cash Flow Statement 第9週：第6章の後半:キャッシュフロー計算書の理解 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 6, second half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事:第6章の後半</p> <p>Week 10: Chapter 7, first half: Financial Analysis Techniques 第10週：第7章の前半:財務分析の手法 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 7, first half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事:第7章の前半</p> <p>Week 11: Chapter 7, second half: Financial Analysis Techniques 第11週：第7章の後半:財務分析の手法 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 7, second half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事:第7章の後半</p> <p>Week 12: Chapter 10, first half: Inventories 第12週：第10章の前半:棚卸資産 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 10, first half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事:第10章の前半</p> <p>Week 13: Chapter 10, second half: Inventories 第13週：第10章の後半:棚卸資産 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 10, second half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事:第10章の後半</p> <p>Week 14: Chapter 12, first half: Income Taxes 第14週：第12章の前半:法人税 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 12, first half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事:第12章の前半</p> <p>Week 15: Chapter 12, second half: Income Taxes 第15週：第12章の後半:法人税 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 12, second half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事:第12章の後半</p>		
週ごとの授業計画2 / Weekly Schedule 2 ※上段、文字数超過分を記載			
教科書 / Textbook	財務会計・入門〔第14版〕 桜井 久勝(著), 須田 一幸(著) 出版社:有斐閣;第14版(2021)		
指定図書 / Course Readings	Kieso, D. & Weygandt, J. & Warfield, T (2019). Intermediate Accounting (17th ed.).Wiley.		
参考文献 / Reference List	None in particular. 特になし		
評価方法 / Method of Evaluation	Participation / 授業参加: 20% Assignments / 課題: 20% Midterm Exam / 中間試験: 30% Final Exam / 期末試験: 30%		
事前履修科目等 / Prerequisite	None in particular. 特になし		
実務経験 / Work Experiences	有	授業への実務経験の活用 / Practical Contents	企業におけるビジネスアナリスト経験を活かし、実践的な会計論を指導。
留意点 / Additional Information	None in particular. 特になし		
学生による授業評価(VOICE)への教員からの応答 / Responses to VOICE			

講義年度 / Year	2022年度		
科目名 / Course Title	多国籍企業会計		
英文科目名 / Course Title (Eng.)	Accounting for Multinational Firms		
教員 / Instructor	エリック ホノベ (Honobe, Erik)		
分野 / Division	IS 選択/IS EL	開講学期 / Semester	春学期
配当年次 / Grade	2年	単位数 / Credits	4単位
研究室 / Office	202	連絡先 / E-mail	honobe@tama.ac.jp
授業で使用する言語 / Language Used in Class	<input type="checkbox"/> 日本語のみ <input type="checkbox"/> 英語のみ <input checked="" type="checkbox"/> 日本語と英語併用 (日本語50% 英語50%) <input type="checkbox"/> その他外国語		

ディプロマ・ポリシーとの対応 / Relationship with DP	<ul style="list-style-type: none"> —(1) 知識と理解 【グローバル社会に対する理解】 ◎(2) 思考と判断 【考え抜く力】 —(3) 関心と意欲 【社会の発展に貢献する力】 ○(4) 表現と技能 【役割分担により組織目標の達成に貢献する力】 —(5) 高い志 【環境対応能力と先進性】
アクティブ・ラーニングの手法 / Methods of Active Learning	<input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実習
到達目標 / Course Goals	<p>With the increasing number of firms expanding their overseas operations and the continuing unification of capital markets from countries around the world, there is a growing need for corporate information with better transparency and clearer criteria of comparison across countries. The goals of this course are to analyze how financial reporting standards employed by multinational firms are part of a process aiming for global corporate standards of a higher quality overall, as well as to understand financial risk and its underlying principles for portfolio management, derivative products, and option pricing.</p> <p>企業の海外事業展開や各国資本市場の統合によって、より比較可能で、透明性の高い情報が要求されるようになった。当講義の目標は多国籍企業に適用される財務報告基準が、高品質のグローバル基準に向けて調整過程であることを解説し、金融のリスクについて理解し、ポートフォリオ理論、金融派生商品、オプション価格決定についての基礎を理解することである。</p>
講義の概要 / Course Description	<p>In this course, we learn about the theory, reasoning, application and quantitative aspects of accounting problems and financial management issues faced by multinational firms. In particular, we analyze international accounting standards in relation with basic items crucial to multinational firms such as tangible fixed assets, inventory and financial products, as well as accounting for process in international management such as currency conversion. Finally, currency options and currency swaps are also covered.</p> <p>多国籍企業が直面し解決しなければならない会計問題や財務管理課題に関する理論・学説及び実務・計数的手法を身に付ける。特に、外貨換算会計、国際管理会計に伴い、多国籍企業にとって基本的な重要項目である有形固定資産・棚卸資産・金融商品に関する国際会計基準を分析する。また、通貨の選択権取引とスワップ取引も網羅される。</p>
準備学習時間・具体的内容 / Preparation study time Specific content	<p>Before each class, students are to read the textbook, assigned readings and others (3 hours needed).</p> <p>・教科書や指定図書、等を事前に読んでおくこと (3時間を要する)。</p>
フィードバックの要領 / Detail of feedback	<p>Feedback is provided through grades of assignments, short tests and examinations.</p> <p>課題、小テスト、試験を採点してしてフィードバックを行う。</p>
週ごとの授業計画 / Weekly Schedule	<p>Week 1: Chapter 1, Introduction 第1週：第1章 序論 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 1 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第1章</p> <p>Week 2: Chapter 2, first half, Determination of Exchange Rates 第2週：第2章、前半 為替相場の決定 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 2, first half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第2章、前半</p> <p>Week 3: Chapter 2, second half, Determination of Exchange Rates 第3週：第2章、後半 為替相場の決定 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 2, second half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第2章、後半</p> <p>Week 4: Chapter 4, first half, Currency Forecasting 第4週：第4章、前半 通貨の予測 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 4, first half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第4章、前半</p> <p>Week 5: Chapter 4, second half, Currency Forecasting 第5週：第4章、後半 通貨の予測 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 4, second half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第4章、後半</p> <p>Week 6: Chapter 5, first half, Country Risk Analysis 第6週：第5章、前半 カントリー・リスク分析 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 5, first half</p>

	<p>予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第 5 章、前半</p> <p>Week 7: Chapter 5, second half, Country Risk Analysis 第 7 週：第 5 章、後半 カントリー・リスク分析 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 5, second half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第 5 章、後半</p> <p>Week 8: Chapter 7, first half, The Foreign Exchange Market 第 8 週：第 7 章、前半 外国為替市場 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 7, first half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第 7 章、前半</p> <p>Week 9: Chapter 7, second half, The Foreign Exchange Market 第 9 週：第 7 章、後半 外国為替市場 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 7, second half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第 7 章、後半</p> <p>Week 10: Chapter 8, first half, Currency and Options Market 第 1 0 週：第 8 章、前半 通貨と選択権取引の市場 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 8, first half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第 8 章、前半</p> <p>Week 11: Chapter 8, second half, Currency and Options Market 第 1 1 週：第 8 章、後半 通貨と選択権取引の市場 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 8, second half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第 8 章、後半</p> <p>Week 12: Chapter 9, first half, Swap and Interest Rate Derivatives 第 1 2 週：第 9 章、前半 スワップ取引と金利デリバティブ Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 9, first half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第 9 章、前半</p> <p>Week 13: Chapter 9, second half, Swap and Interest Rate Derivatives 第 1 3 週：第 9 章、後半 スワップ取引と金利デリバティブ Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 9, second half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第 9 章、後半</p> <p>Week 14: Chapter 12, first half: International Financing and National Capital Markets 第 1 4 週：第 1 2 章、前半 国際金融と国内資本市場 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 12, first half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第 1 2 章、前半</p> <p>Week 15: Chapter 12, second half: International Financing and National Capital Markets 第 1 5 週：第 1 2 章、後半 国際金融と国内資本市場 Student Pre-Class Preparation: Students read Chapter 12, second half 予習・復習のポイント：学生は事前に読んでおく事: 第 1 2 章、後半</p>		
<p>週ごとの授業計画 2 / Weekly Schedule 2 ※上段、文字数超過分を記載</p>			
<p>教科書 / Textbook</p>	<p>財務会計・入門〔第14版〕 桜井 久勝(著), 須田 一幸(著) 出版社: 有斐閣; 第14版 (2021)</p>		
<p>指定図書 / Course Readings</p>	<p>Shapiro, Alan C. et al. (2019). Multinational Financial Management, (11th ed.). Wiley.</p>		
<p>参考文献 / Reference List</p>	<p>None in particular. 特になし</p>		
<p>評価方法 / Method of Evaluation</p>	<p>Participation / 授業参加: 20% Assignments / 課題: 20% Midterm Exam / 中間試験: 30% Final Exam / 期末試験: 30%</p>		
<p>事前履修科目等 / Prerequisite</p>	<p>None in particular. 特になし</p>		
<p>実務経験 / Work Experiences</p>	<p>有</p>	<p>授業への実務経験の活用 / Practical Contents</p>	<p>企業におけるビジネスアナリスト経験を活かし、実践的な会計論を指導。</p>
<p>留意点 / Additional Information</p>	<p>None in particular. 特になし</p>		
<p>学生による授業評価(VOICE)への教員からの応答 / Responses to VOICE</p>			

講義年度 / Year	2022年度		
科目名 / Course Title	キャリア開発論 (A)(読み替え科目名：キャリア形成論※2021年度以前入学生対象)		
英文科目名 / Course Title (Eng.)	Career Development Theory (A) (Replacement Course Title : Career Development ※For students enrolled before 2021)		
教員 / Instructor	竹内 一真 (Takeuchi, Kazuma)		
分野 / Division	共通科目一般 選択/GL EL	開講学期 / Semester	春学期
配当年次 / Grade	1年	単位数 / Credits	4単位
研究室 / Office	304	連絡先 / E-mail	takeuchi-k@tama.ac.jp
授業で使用する言語 / Language Used in Class	<input checked="" type="checkbox"/> 日本語のみ <input type="checkbox"/> 英語のみ <input type="checkbox"/> 日本語と英語併用 (日本語と英語の比率) <input type="checkbox"/> その他外国語		

ディプロマ・ポリシーとの対応 / Relationship with DP	<ul style="list-style-type: none"> —(1) 知識と理解【グローバル社会に対する理解】 ○(2) 思考と判断【考え抜く力】 ◎(3) 関心と意欲【社会の発展に貢献する力】 —(4) 表現と技能【役割分担により組織目標の達成に貢献する力】 —(5) 高い志【環境対応能力と先進性】
アクティブ・ラーニングの手法 / Methods of Active Learning	<input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実習
到達目標 / Course Goals	<ul style="list-style-type: none"> - To learn key skills for taking control of current and future career development. - To develop self-awareness and discover personal strengths through feedback from group work. - To get acquainted with the essential competencies of: hope, self-reflection, self-clarity, visioning, goal setting and planning, implementing and adapting. These are described in detail. ・キャリア形成に必要な鍵となるスキルを学び、社会の発展に貢献する力を育成する。 ・グループワークを通して自己認識や個人の強みを探り、高い志の育成を図る ・キャリア形成に必要な考え抜く力を身につける。
講義の概要 / Course Description	<p>When you consider about your future career, it is based on a way of your thinking for working and living in your life. In order for you to build and improve your career, you have to understand yourself as a first step: What are you good at? What do you want to do? What do you think is worth doing? In this course, you will be asking yourself these questions, with the assistance of a personality test and other means, so as to know what you want to be in future. Further, you will work out what you need to do in order to become what you want to be, connecting your study at this university with your pursuit of a career. The course consists of fairly interactive lectures, workshops and group work.</p> <p>自分にとってのキャリアを考える時、そのベースとなるのは、働くことや生きることについての考え方である。キャリアを積み、キャリアアップするためには、何が得意で、何をしたいのか、何をやる事に価値を見いだすのかなど、まず自分について良く知ることである。この授業では、性格テストや様々な方法を使って、将来自分がなりたい自分を探す。さらに、自分が望む自分になるためにすべき事やキャリア形成のためにSGSで学ぶべき事などを学習する。授業は、各自が授業課題準備をしてきた上で、講義、実習、グループワークを通じて行う。</p>
準備学習時間・具体的内容 / Preparation study time Specific content	<p>Each class has a prep assignment to fill out a sheet to think about your career (takes 3 hours).</p> <p>毎回の授業でキャリアを考えるためのシートを記入する予習課題がある (3時間を要する)</p>
フィードバックの要領 / Detail of feedback	<p>Provide feedback on the career design sheet.</p> <p>キャリアデザインシートに対して、フィードバックを行う</p>
週ごとの授業計画 / Weekly Schedule	<p>Week 1: Course Orientation 第1週：コースオリエンテーション Student Pre-Class Preparation: Have read course description 予習・復習のポイント：授業概要をよく読んでくること</p> <p>Week 2: Introduction 第2週：序論 Student Pre-Class Preparation: Summarize the previous class's essential points 予習・復習のポイント：前回の講義のポイントをまとめておく</p> <p>Week 3: Adolescent and Identity 第3週：青年期とアイデンティティ Student Pre-Class Preparation: Writing worksheet : Your special interests 予習・復習のポイント：ワークシート記入：いま、気になっていること</p> <p>Week 4: Growth and Identity 第4週：成長とアイデンティティ Student Pre-Class Preparation: Writing worksheets : Who am I ? 予習・復習のポイント：ワークシート記入：私は誰？</p> <p>Week 5: Past and Identity 第5週：過去とアイデンティティ Student Pre-Class Preparation: Writing worksheet : What is your motivation ? 予習・復習のポイント：ワークシート記入：モチベーションは何？</p> <p>Week 6: Write Your Career Design Sheet (1) 第6週：キャリアデザインシート作成 (1) Student Pre-Class Preparation: Summarize the main points of the classes so far.</p>

	<p>予習・復習のポイント：これまでの講義のポイントをまとめておく</p> <p>Week 7: Modern Society and Income 第7週：現代社会と収入 Student Pre-Class Preparation: Writing worksheet： How much can you earn 予習・復習のポイント：ワークシート記入：あなたはいくら稼ぐ？</p> <p>Week 8: Modern Society and Ability 第8週：現代社会と能力 Student Pre-Class Preparation: Writing worksheet： Competence analysis 予習・復習のポイント：ワークシート記入：コンピテンス分析</p> <p>Week 9: Modern Society and Work 第9週：現代社会と労働 Student Pre-Class Preparation: Writing worksheet： Thinking your work style 予習・復習のポイント：ワークシート記入：ワークスタイルを考えよう</p> <p>Week 10: Modern Society and Employment 第10週：現代社会と就職 Student Pre-Class Preparation: Writing worksheet： What is your motivation？ 予習・復習のポイント：ワークシート記入：モチベーションは何？</p> <p>Week 11: Modern Society and Job 第11週：現代社会と職業 Student Pre-Class Preparation: Writing worksheet： Linking motivation and job 予習・復習のポイント：ワークシート記入：モチベーションと職業を結びつけよう</p> <p>Week 12: Modern Society and Entrepreneurship 第12週：現代社会と起業 Student Pre-Class Preparation: Writing worksheet： A history of your No.1 company 予習・復習のポイント：ワークシート記入：あなたのナンバーワン企業の歴史</p> <p>Week 13: Modern Society and Money 第13週：現代社会とお金 Student Pre-Class Preparation: Writing worksheet： How do you spend 100 million yen 予習・復習のポイント：ワークシート記入：1億円はどう使う？</p> <p>Week 14: Target Management and Self-actualization 第14週：目標管理と自己実現 Student Pre-Class Preparation: Writing worksheet： Set your goals for college. 予習・復習のポイント：ワークシート記入：大学での目標を立てよう</p> <p>Week 15: Write Your Career Design Sheet (2) 第15週：キャリアデザインシート作成（2） Student Pre-Class Preparation: Summarize the main points of the classes so far. 予習・復習のポイント：これまでの講義のポイントをまとめておく</p>		
週ごとの授業計画 2 / Weekly Schedule 2 ※上段、文字数超過分を記載			
教科書 / Textbook	None in particular 特になし		
指定図書 / Course Readings	To be announced in class. Weekly assignments will be given in the class. 週ごとの課題は授業中に提供される。		
参考文献 / Reference List	None in particular 特になし		
評価方法 / Method of Evaluation	Class Performance / 授業内活動: 20% Reflection Paper / 授業のリフレクション: 40% Career Design Sheet / キャリアデザインシート: 40%		
事前履修科目等 / Prerequisite	None in particular 特になし		
実務経験 / Work Experiences	有	授業への実務経験の活用 / Practical Contents	複数大学でのキャリア指導経験を活かし、実践的・効果的な授業を行う。
留意点 / Additional Information	None in particular 特になし		
学生による授業評価(VOICE)への 教員からの応答 / Responses to VOICE			

講義年度 / Year	2022年度		
科目名 / Course Title	国際教養特別講義Ⅱ（国際政治）		
英文科目名 / Course Title (Eng.)	Special Lectures for International Studies II		
教員 / Instructor	新美 潤 (Niimi, Jun)		
分野 / Division	IS 選択/IS EL	開講学期 / Semester	秋学期
配当年次 / Grade	2年	単位数 / Credits	4単位
研究室 / Office	Dean's Office	連絡先 / E-mail	niimi@tama.ac.jp
授業で使用する言語 / Language Used in Class	<input checked="" type="checkbox"/> 日本語のみ <input type="checkbox"/> 英語のみ <input type="checkbox"/> 日本語と英語併用（日本語と英語の比率） <input type="checkbox"/> その他外国語		

ディプロマ・ポリシーとの対応 / Relationship with DP	<p>◎(1) 知識と理解【グローバル社会に対する理解】</p> <p>一(2) 思考と判断【考え抜く力】</p> <p>○(3) 関心と意欲【社会の発展に貢献する力】</p> <p>一(4) 表現と技能【役割分担により組織目標の達成に貢献する力】</p> <p>一(5) 高い志【環境対応能力と先進性】</p>
アクティブ・ラーニングの手法 / Methods of Active Learning	<input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実習
到達目標 / Course Goals	<p>The goals are, firstly, to obtain basic understanding of the current important issues on international politics and diplomacy. Secondly, to nurture ability to analyze daily international issues by oneself.</p> <p>国際政治上の主要問題の概要、並びに背後の外交について基礎的理解を有し、日々の国際社会の動きについて、自ら考察・判断する能力を養うことを目指す。</p>
講義の概要 / Course Description	<p>In the first part of the class, a lecture will be given, based upon the experience of the lecturer in diplomacy, for the understanding of the current important issues such as the nuclear development of Iran and North Korea. In second part, a discussion or debate will be held under some theme related to the class.</p> <p>授業の前半は、イラン・北朝鮮の核開発問題等、国際政治上の主要問題について、外交に従事した経験を踏まえ、解説する。後半は、講義の内容に関連したテーマを設定し、全員で討論する。討論の形式は、受講生の数等に応じ決定。</p>
準備学習時間・具体的内容 / Preparation study time Specific content	<p>Pre-class preparation: A summary will be distributed for each class in advance. Please read it through and check on key issues with internet and so on (3 hours)</p> <p>講義概要を事前に配布するので、これに目を通し、重要事項についてウィキペディア、外務省ホームページ等で事前に調べておく（予習。3時間）</p>
フィードバックの要領 / Detail of feedback	<p>小論文に対し、コメントを記入してフィードバックを行う。</p> <p>Feedback will be carried out by returning the submitted short essays with comments.</p>
週ごとの授業計画 / Weekly Schedule	<p>Week 1: Introduction 第1週：イントロダクション Student Pre-Class Preparation: Have read course syllabus 予習・復習のポイント：シラバスに目を通しておくこと。</p> <p>Week 2: 第2週：イランを巡る問題と中東情勢（その1）Iran and Middle East(Part1) Student Pre-Class Preparation: Have read lecture summary 予習・復習のポイント：講義概要に目を通しておくこと</p> <p>Week 3: 第3週：イランを巡る問題と中東情勢（その2）Iran and Middle East (Part2) Student Pre-Class Preparation: Have read lecture summary 予習・復習のポイント：講義概要に目を通しておくこと</p> <p>Week 4: 第4週：イランを巡る問題と中東情勢（その3）Iran and Middle East (Part3) Student Pre-Class Preparation: Have read lecture summary 予習・復習のポイント：講義概要に目を通しておくこと</p> <p>Week 5: 第5週：イランを巡る問題と中東情勢（その4）Iran and Middle East (Part4) Student Pre-Class Preparation: Have read lecture summary 予習・復習のポイント：講義概要に目を通しておくこと</p> <p>Week 6: 第6週：米国の政治・外交（その1）Politics and Diplomacy of U.S.A (Part1) Student Pre-Class Preparation: Have read lecture summary 予習・復習のポイント：講義概要に目を通しておくこと</p> <p>Week 7: 第7週：米国の政治・外交（その2）Politics and Diplomacy of U.S.A (Part 2) Student Pre-Class Preparation: Have read lecture summary</p>

	<p>予習・復習のポイント：講義概要に目を通しておくこと</p> <p>Week 8: 第8週： 中間試験 Mid-term examination</p> <p>Week 9: 第9週： 米国の政治・外交（その3） Politics and Diplomacy of U.S.A (Part3) Student Pre-Class Preparation: Have read lecture summary 予習・復習のポイント：講義概要に目を通しておくこと</p> <p>Week 10: 第10週： 東アジアの情勢と日本の安全保障政策（その1） Situation in East Asia and Security Policy of Japan (Part1) Student Pre-Class Preparation: Have read lecture summary 予習・復習のポイント：講義概要に目を通しておくこと</p> <p>Week 11: 第11週： 東アジアの情勢と日本の安全保障政策（その2） Situation in East Asia and Security Policy of Japan (Part2) Student Pre-Class Preparation: Have read lecture summary 予習・復習のポイント：講義概要に目を通しておくこと</p> <p>Week 12: 第12週： 欧州の情勢（その1） Situation in Europe (Part1) Student Pre-Class Preparation: Have read lecture summary 予習・復習のポイント：講義概要に目を通しておくこと</p> <p>Week 13: 第13週： 欧州の情勢（その2） Situation in Europe (Part2) Student Pre-Class Preparation: Have read lecture summary 予習・復習のポイント：講義概要に目を通しておくこと</p> <p>Week 14: 第14週： ロシア情勢と日露関係 Russia and Japan Student Pre-Class Preparation: Have read lecture summary 予習・復習のポイント：講義概要に目を通しておくこと</p> <p>Week 15: 第15週： アフリカの情勢 Situation in Africa Student Pre-Class Preparation: Have read lecture summary 予習・復習のポイント： 講義概要に目を通しておくこと</p>	
週ごとの授業計画 2 / Weekly Schedule 2 ※上段、文字数超過分を記載		
教科書 / Textbook	None. Instead a summary will be distributed for each class. It is desirable that students bring world atlas for class. なし。代わりに講義概要を配布する。また、世界地図帳を常時授業に持参することが望ましい。	
指定図書 / Course Readings	World Atlas(No designation for publisher) International Law Documents (Yuhikaku) 世界地図帳（高校の地理の授業で使用したもので可。出版社は問わず） 国際条約集（有斐閣）	
参考文献 / Reference List	None なし	
評価方法 / Method of Evaluation	Class participation / 平常点: 30% Mid-term examination or report/ 中間考査: 30%（考査の形式を筆記試験、レポート等のような形式にするかは、受講生の受講形態等に応じて決定） Final examination or report / 学期末考査: 40%（同上）	
事前履修科目等 / Prerequisite	None なし	
実務経験 / Work Experiences	有	<p>授業への実務経験の活用 / Practical Contents</p> <p>1979年外務省に入省。外交官として、海外では英国、スイス、ケニア、フランス、イラン、ロシア、タイ、米国（在ロサンゼルス総領事）、ポルトガル（特命全権大使）の各国に勤務。本邦では外務本省にて総括審議官等様々なポストを経験すると共に、警察庁、経済産業省、衆議院事務局にても勤務。豊富な海外駐在経験と行政における実務経験を活かして、国際政治や国際法、国際機関等の仕組みや動向について講義を行う。</p>
留意点 / Additional Information	The course emphasizes active learning not only for lecture but also discussion. Please be prepared to speak. 授業前半の講義においても、アクティブ・ラーニング、すなわち双方向で開講されることから、履修生は一方向的に聴講するだけでなく、発言も求められることを想定のこと。	
学生による授業評価(VOICE)への教員からの応答 / Responses to VOICE		

講義年度 / Year	2022年度		
科目名 / Course Title	国際法と国際機関		
英文科目名 / Course Title (Eng.)	International Law and Organizations		
教員 / Instructor	新美 潤 (Niimi, Jun)		
分野 / Division	IS 選択/IS EL	開講学期 / Semester	春学期
配当年次 / Grade	2年	単位数 / Credits	4単位
研究室 / Office	学科長室	連絡先 / E-mail	niimi@tama.ac.jp
授業で使用する言語 / Language Used in Class	<input checked="" type="checkbox"/> 日本語のみ <input type="checkbox"/> 英語のみ <input type="checkbox"/> 日本語と英語併用（日本語と英語の比率） <input type="checkbox"/> その他外国語		

ディプロマ・ポリシーとの対応 / Relationship with DP	<p>◎(1) 知識と理解【グローバル社会に対する理解】</p> <p>○(2) 思考と判断【考え抜く力】</p> <p>－(3) 関心と意欲【社会の発展に貢献する力】</p> <p>－(4) 表現と技能【役割分担により組織目標の達成に貢献する力】</p> <p>－(5) 高い志【環境対応能力と先進性】</p>
アクティブ・ラーニングの手法 / Methods of Active Learning	<input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実習
到達目標 / Course Goals	<p>国際法の基礎について学び、今日の様々な分野における国際条約が日本の政策、国益、国民の生活にどのように関わっているか、理解・判断する能力を養う。</p> <p>The goals are, firstly to obtain basic understanding of international law. Secondly, to nurture ability to understand how international treaties affect the policies, national interest and the people's daily life of Japan.</p>
講義の概要 / Course Description	<p>授業の前半は、国際法の基礎事項、並びに、安全保障、経済等様々な分野における重要な条約について、外交に従事した経験を踏まえ、解説する。後半は、講義の内容に関連したテーマを設定し、グループ討論、もしくは小論文作成を行う。</p> <p>In the first part of the class, a lecture will be given, based upon the experience of the lecturer in diplomacy, for the basic understanding of international law and important treaties in various areas such as security and economy. In the second part, students will engage in active learning such as group discussion and writing short essays under some theme related to the class.</p>
準備学習時間・具体的内容 / Preparation study time Specific content	<p>教科書を事前に予習し、必要に応じ、インターネット等で重要事項を調べておく（予習。3時間）</p> <p>Please read the textbook in advance and check on key issues with internet and so on (3 hours)</p>
フィードバックの要領 / Detail of feedback	<p>小論文に対し、コメントを記入してフィードバックを行う。</p> <p>Feedback will be carried out by returning the submitted short essays with comments.</p>
週ごとの授業計画 / Weekly Schedule	<p>Week 1: Introduction 第1週： イントロダクション Student Pre-Class Preparation: Have read course syllabus 予習・復習のポイント：シラバスに目を通しておくこと</p> <p>Week 2: 第2週：国際法の主体、国家の主権 Subject of international law. Sovereignty of state. Student Pre-Class Preparation: Have read textbook 予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと</p> <p>Week 3: 第3週：国際法の存在形式、国内的实施、国際的实施 Types of international law. Execution of international law. Student Pre-Class Preparation: Have read textbook 予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと</p> <p>Week 4: 第4週：領域 Territory of state Student Pre-Class Preparation: Have read textbook 予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと</p> <p>Week 5: 第5週：海洋・南極・空・宇宙（その1） Ocean, Antarctic ,Sky ,Space (Part 1) Student Pre-Class Preparation: Have read textbook 予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと</p> <p>Week 6: 第6週：海洋・南極・空・宇宙（その2） Ocean, Antarctic, Sky, Space(Part 2) Student Pre-Class Preparation: Have read textbook 予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと</p> <p>Week 7: 第7週：人権 Human rights Student Pre-Class Preparation: Have read textbook</p>

	<p>予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと</p> <p>Week 8: 第8週：中間試験 Mid-term examination</p> <p>Week 9: 第9週：刑事 Criminal matters Student Pre-Class Preparation: Have read textbook 予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと</p> <p>Week 10: 第10週：環境 Environment Student Pre-Class Preparation: Have read textbook 予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと</p> <p>Week 11: 第11週：経済（その1）Economy(Part 1) Student Pre-Class Preparation: Have read textbook 予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと</p> <p>Week 12: 第12週：経済（その2）Economy(Part 2) Student Pre-Class Preparation: Have read textbook 予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと</p> <p>Week 13: 第13週：国際連合 United Nations Student Pre-Class Preparation: Have read textbook 予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと</p> <p>Week 14: 第14週：安全保障（その1）Security(Part 1) Student Pre-Class Preparation: Have read textbook 予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと</p> <p>Week 15: 第15週：安全保障（その2）Security(Part 2) Student Pre-Class Preparation: Have read textbook 予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと</p>	
週ごとの授業計画 2 / Weekly Schedule 2 ※上段、文字数超過分を記載		
教科書 / Textbook	玉田大・水島朋則・山田卓平『国際法』有斐閣ストゥディア Yuuhikaku Sutudhia "Kokusaihou"(Yuuhikaku)	
指定図書 / Course Readings	岩沢雄司・植木俊哉・中谷和弘『国際条約集 2021年版』（有斐閣） International Law Documents (Yuuhikaku)	
参考文献 / Reference List	世界地図帳（中学・高校の地理の授業で使用したもので可。出版社は問わず） World Atlas(No designation for publisher)	
評価方法 / Method of Evaluation	Class participation/平常点：30% Mid-term examination or report/中間考査：30%（考査の形式を筆記試験、レポート等のような形式にするかは、受講生の受講形態等に応じて決定） Final examination or report/学期末考査：40%（同上）	
事前履修科目等 / Prerequisite	None なし	
実務経験 / Work Experiences	有	<p>授業への実務経験の活用 / Practical Contents</p> <p>1979年外務省に入省。外交官として、海外では英国、スイス、ケニア、フランス、イラン、ロシア、タイ、米国（在ロサンゼルス総領事）、ポルトガル（特命全権大使）の各国に勤務。本邦では外務本省にて総括審議官等様々なポストを経験すると共に、警察庁、経済産業省、衆議院事務局にても勤務。豊富な海外駐在経験と行政における実務経験を活かして、国際政治や国際法、国際機関等の仕組みや動向について講義を行う。</p>
留意点 / Additional Information	The course emphasizes active learning not only for lecture but also discussion. Please be prepared to speak. 授業前半の講義においても、アクティブ・ラーニング、すなわち双方向で開講されることから、履修生は一方向的に聴講するだけでなく、発言も求められることを想定のこと。	
学生による授業評価(VOICE)への教員からの応答 / Responses to VOICE		

講義年度 / Year	2022年度		
科目名 / Course Title	環境保全入門 (A)		
英文科目名 / Course Title (Eng.)	Introduction to Environmental Protection (A)		
教員 / Instructor	橋詰 博樹 (Hashizume, Hiroki)		
分野 / Division	共通科目 コア/GL Core	開講学期 / Semester	春学期
配当年次 / Grade	1年	単位数 / Credits	2単位
研究室 / Office	204	連絡先 / E-mail	hashizume@tama.ac.jp
授業で使用する言語 / Language Used in Class	<input type="checkbox"/> 日本語のみ <input type="checkbox"/> 英語のみ <input checked="" type="checkbox"/> 日本語と英語併用 (日本語50% 英語50%) <input type="checkbox"/> その他外国語		

ディプロマ・ポリシーとの対応 / Relationship with DP	<p>○(1) 知識と理解【グローバル社会に対する理解】</p> <p>一(2) 思考と判断【考え抜く力】</p> <p>◎(3) 関心と意欲【社会の発展に貢献する力】</p> <p>一(4) 表現と技能【役割分担により組織目標の達成に貢献する力】</p> <p>一(5) 高い志【環境対応能力と先進性】</p>
アクティブ・ラーニングの手法 / Methods of Active Learning	<input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実習
到達目標 / Course Goals	<p>1. 我が国と国際社会の基本的課題である環境問題の現状・科学的原因・社会的構造、環境保全の基本的考え方について、持続可能な成長の理念の下で理解すること。</p> <p>2. 自らのライフスタイルや社会構造等を批判的に見る能力、対策を考える基礎的能力を身に付けること。 ・日本及び世界の環境汚染の原因・構造、現状と課題。 ・環境保全、持続可能な成長の基本的考え方。 ・政策の基本的枠組み(条約、法律、条令、自主取組等)。 ・制度的対策、技術的対策の現状。</p> <p>3. 関連資格 ・ECO検定(環境社会検定試験)東京商工会議所</p> <p>1. To understand situation, causes and structure of current environmental problems and basic ideas of environmental protection under the idea of sustainable development.</p> <p>2. To develop ability to critically review our own professional and personal life style as well as to formulate environmental policies. - Situation, scientific causes and social structure of current environmental problems, and countermeasures on them in Japan and in the world. - Basic approach to environmental protection and sustainable development - Framework of environmental policy (conventions, national laws, local regulations, voluntary initiatives, etc.) - Current institutional and technical measures of environmental protection</p> <p>3. Related certificate - Eco Kentei (certification test for environmental specialists), provided by Tokyo Chamber of Commerce</p>
講義の概要 / Course Description	<p>本コースは、水資源、水質、大気質、自然環境、地球温暖化、廃棄物・リサイクル、化学物質、放射線を含め、現代社会の最重要課題の一つである環境問題を概説する。日本及び世界の環境の現状を紹介するとともに、環境保全の政策や各主体による取組み等について、わかり易い事例として日本におけるものを中心に論じる。</p> <p>配布資料・参考図書・スライド等を用いた講義を中心に実施し、クラス内で適宜議論を行う。</p> <p>なお、本コースは、以降の学期で行われる環境関連の他の2コースに繋がる入門編でもある。</p> <p>This course outlines one of the most important issues in the contemporary society, "environment" including water resources, water quality, air quality, natural environment, climate change, waste management and recycling, chemical substances, and radiation. It introduces present pollution situations both in Japan and in the world. It also discusses governmental policies and various stakeholders' activities for environmental protection, particularly in Japan, which will be easier for students in Japan to understand.</p> <p>This is mostly a lecture course using handouts, reference materials, slides, etc. with occasional discussions in the class.</p> <p>This course is an introduction to other two courses related to environmental management in the following semesters.</p>
準備学習時間・具体的内容 / Preparation study time Specific content	<p>①事前配布(又はT-nextに掲載する配布予定)のhandout等を事前に読んでおくこと(0.5時間を要する)。</p> <p>②講義後の振り返りシートreaction paperの作成と内容の復習(1時間を要する)</p> <p>(1) Read handouts provided physically or electronically on T-next in advance (needs 0.5 hr)</p> <p>(2) Review the class using a reaction paper sheet provided (needs 1 hr)</p>
フィードバックの要領 / Detail of feedback	<p>各週のリアクションペーパーの提出と添削、並びに次週における解説</p> <p>Reaction paper sheets submitted are returned with comments in the next class together with re-explanation of the main issues of the previous class.</p>
週ごとの授業計画 / Weekly Schedule	<p>第1週：オリエンテーション、イントロダクション 予習・復習のポイント：コース紹介を読んでおくこと Week 1: Orientation, introduction Student Pre-Class Preparation: Have read course descriptions</p> <p>第2週：環境保全の基本的考え方(1) 予習・復習のポイント：電子版で事前提供する資料 Week 2: Basic ideas of environmental protection (1) Student Pre-Class Preparation: Readings electronically provided in advance</p> <p>第3週：環境保全の基本的考え方(2)、放射線 予習・復習のポイント：電子版で事前提供する資料 Week 3: Basic ideas of environmental protection (2), radiation Student Pre-Class Preparation: Readings electronically provided in advance</p>

第4週：自然環境、生物多様性
 予習・復習のポイント：電子版で事前提供する資料
 Week 4: Natural environment and biological diversity
 Student Pre-Class Preparation: Readings electronically provided in advance

第5週：水資源
 予習・復習のポイント：電子版で事前提供する資料
 Week 5: Water resources
 Student Pre-Class Preparation: Readings electronically provided in advance

第6週：水質保全(1)
 予習・復習のポイント：電子版で事前提供する資料
 Week 6: Water quality (1)
 Student Pre-Class Preparation: Readings electronically provided in advance

第7週：水質保全(2)
 予習・復習のポイント：電子版で事前提供する資料
 Week 7: Water quality (2)
 Student Pre-Class Preparation: Readings electronically provided in advance

第8週：廃棄物処理(1)
 予習・復習のポイント：電子版で事前提供する資料
 Week 8: Waste management (1)
 Student Pre-Class Preparation: Readings electronically provided in advance

第9週：廃棄物処理 (2)、リサイクル (1)
 予習・復習のポイント：電子版で事前提供する資料
 Week 9: Waste management (2), recycling (1)
 Student Pre-Class Preparation: Readings electronically provided in advance

第10週：リサイクル (2)、化学物質
 予習・復習のポイント：電子版で事前提供する資料
 Week 10: Recycling (2), chemical substances
 Student Pre-Class Preparation: Readings electronically provided in advance

第11週：大気保全 (1)
 予習・復習のポイント：電子版で事前提供する資料
 Week 11: Air quality (1)
 Student Pre-Class Preparation: Readings electronically provided in advance

第12週：大気保全(2)
 予習・復習のポイント：電子版で事前提供する資料
 Week 12: Air quality (2)
 Student Pre-Class Preparation: Readings electronically provided in advance

第13週：気候変動の科学
 予習・復習のポイント：電子版で事前提供する資料
 Week 13: Science of climate change
 Student Pre-Class Preparation: Readings electronically provided in advance

Week 14: Policy on climate change (1)
 第14週：気候変動対策の政策(1)
 Student Pre-Class Preparation: Readings electronically provided in advance
 予習・復習のポイント：電子版で事前提供する資料

第15週：気候変動対策の政策(2)
 予習・復習のポイント：電子版で事前提供する資料
 Week 15: Policy on climate change (2)
 Student Pre-Class Preparation: Readings electronically provided in advance

・各週の内容、順番が入れ替わるなどがある。
 - Contents and order of the classes subject to change.

週ごとの授業計画 2 / Weekly Schedule 2 ※上段、文字数超過分を記載	
教科書 / Textbook	なし (ハンドアウトを毎回用意する) Nothing (handouts are provided for each class)
指定図書 / Course Readings	- 環境省『環境白書：循環型社会白書／生物多様性白書（令和3年版）』日経印刷 Retrieved from http://www.env.go.jp/policy/hakusyo/index.html - Ministry of the Environment, Japan (2021). Annual Report on the Environment, the Sound Material-Cycle Society, and the Biodiversity in Japan, Retrieved from http://www.env.go.jp/en/wpaper/ - United Nations Environment Program. (2020). "Global Environment Outlook 6 (GEO 6)"
参考文献 / Reference List	- 東京商工会議所編著『ECO検定公式テキスト第8版』2021年1月 日本能率協会マネジメントセンター
評価方法 / Method of Evaluation	・学期末試験: 60% Semester-end exam ・復習のための小テスト (毎週) : 20% Quiz ・Discussion & debate : 20%

事前履修科目等 / Prerequisite	なし None		
実務経験 / Work Experiences	有	授業への実務経験の活用 / Practical Contents	厚生労働省・環境省・世界保健機関WHO等において廃棄物・リサイクル、水質管理・大気保全、地球温暖化対策等の環境保全・行政、また途上国協力に従事した経験を活かし、国際的な視点も含め様々な環境問題に実践的なアプローチを行う。
留意点 / Additional Information	<p>・いずれの授業も主に日本語で行うが、いずれの学期においても英語での授業を希望する者は、担当教員に相談すること。英語での特別クラスの手配がある。履修言語を選択できるので、語学力要件を付さない。</p> <p>・基本的に対面授業とする。</p> <p>・受講人数に特段の制限を設けない。</p> <p>- Each classes will be conducted mostly in Japanese. Students who want a class in English in either semester, consult the instructor. A special class in English may be arranged.</p> <p>- No language proficiency requirement.</p> <p>- The class will be conducted on-campus.</p>		
学生による授業評価(VOICE)への教員からの応答 / Responses to VOICE			

講義年度 / Year	2022年度		
科目名 / Course Title	環境政策		
英文科目名 / Course Title (Eng.)	Environmental Policy		
教員 / Instructor	橋詰 博樹 (Hashizume, Hiroki)		
分野 / Division	IS 選択/IS EL	開講学期 / Semester	秋学期
配当年次 / Grade	2年	単位数 / Credits	4単位
研究室 / Office	204	連絡先 / E-mail	hashizume@tama.ac.jp
授業で使用する言語 / Language Used in Class	<input type="checkbox"/> 日本語のみ <input type="checkbox"/> 英語のみ <input checked="" type="checkbox"/> 日本語と英語併用 (日本語60% 英語40%) <input type="checkbox"/> その他外国語		

ディプロマ・ポリシーとの対応 / Relationship with DP	<p>一(1) 知識と理解 【グローバル社会に対する理解】</p> <p>一(2) 思考と判断 【考え抜く力】</p> <p>〇(3) 関心と意欲 【社会の発展に貢献する力】</p> <p>一(4) 表現と技能 【役割分担により組織目標の達成に貢献する力】</p> <p>◎(5) 高い志 【環境対応能力と先進性】</p>
アクティブ・ラーニングの手法 / Methods of Active Learning	<input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実習
到達目標 / Course Goals	<p>1. 今日の/新たな環境上の政策課題を把握し、対策を検討・推進する政策手法を身に付ける。</p> <p>2. 今日のグローバル～ローカルな課題を解析し、政策を推進する手法を身につける。</p> <p>1. To acquire ability to understand current/emerging environmental problems and to plan and promote policies on them.</p> <p>2. To develop ability to analyze global to local issues and to formulate policies to cope with them.</p>
講義の概要 / Course Description	<p>持続可能な社会の形成は、地球規模から地域・コミュニティ規模のあらゆるレベルで今日の最大の政策課題だがこのコースでは、その実現に向け、国際条約/法律/地方条例といった法制度、補助金、基準、アセスメント、自主的活動等の環境管理のための様々な対策/政策手法の考え方や、また、これらに関する関係者の役割等を学ぶことを主眼とし、「環境保全入門」の政策展開編という性格を持つ。授業方法としては関連資料配布を伴う講義形式のものに加え、各問題をテーマとした討議/発表方式を多用する。藤沢市等の地元自治体、環境関連団体や企業等からの講師招聘 (日本語で行われる場合がある) も行う。</p> <p>Creation of a sustainable society is the biggest challenge for international communities to local government /community these days. This course targets at learning policies and tools for environmental management, including institutional measures such as conventions, laws and local regulations and other environmental management measures such as subsidies, normative standards, assessment and voluntary actions as well as roles of various stakeholders. This is a course to elaborate policy aspects of the issues covered in "Introduction to Environmental Protection".</p> <p>This course includes distribution of variety of materials, group discussions and presentations by students as well as lectures by guest speakers from local governments, environmental organizations and enterprises. (Presentation by guests may be conducted in Japanese.)</p>
準備学習時間・具体的内容 / Preparation study time Specific content	<p>①事前配布 (又はT-nextに掲載する配布予定) のhandout 等を事前に読んでおくこと (2時間を要する)。なおこれには、学期内に行う発表 presentation の準備時間 (10時間程度) を含む。</p> <p>②講義後の振り返りシート reaction paper の作成と内容の復習、指定図書の読書など (1時間を要する)</p> <p>(1) Read handouts provided physically or electronically on T-next in advance (needs 2 hr). It includes 10 hours of preparation for presentation scheduled in mid-end semester.</p> <p>(2) Review the class using a reaction paper sheet provided (needs 1 hr)</p>
フィードバックの要領 / Detail of feedback	<p>各週のリアクションペーパーの提出と添削、並びに次週における解説</p> <p>Reaction paper sheets submitted are returned with comments in the next class together with re-explanation of the main issues of the previous class.</p>
週ごとの授業計画 / Weekly Schedule	<p>- Contents and order of the classes subject to change.</p> <p>・各週の内容、順番が入れ替わること等がある。</p> <p>Week 1: Introduction 第1週: インタロダクション Student Pre-Class Preparation: Have read course descriptions 予習・復習のポイント: コース紹介を読んでおくこと</p> <p>Week 2: Principles of environmental protection, regulatory measures 第2週: 環境保全の基本理念、規制的手法 Student Pre-Class Preparation: Readings electronically provided in advance 予習・復習のポイント: 電子版で事前提供する資料の予習</p> <p>Week 3: Environmental standards 第3週: 環境の基準の考え方 Student Pre-Class Preparation: Readings electronically provided in advance 予習・復習のポイント: 電子版で事前提供する資料の予習</p> <p>Week 4: Workshop (1): Water quality standards 第4週: ワークショップ(1): 水質基準 Student Pre-Class Preparation: Readings electronically provided in advance 予習・復習のポイント: 電子版で事前提供する資料の予習</p> <p>Week 5: Environmental policy in a local government and community activities 第5週: 自治体の環境政策と住民活動</p>

	<p>Student Pre-Class Preparation: Readings electronically provided in advance 予習・復習のポイント：電子版で事前提供する資料の予習</p> <p>Week 6: Radiation, radioactive remediation 第6週：放射能汚染、除染 Student Pre-Class Preparation: Readings electronically provided in advance 予習・復習のポイント：電子版で事前提供する資料の予習</p> <p>Week 7: Economic tools (1): Subsidy, levy 第7週：経済的手法(1)：補助金、料金 Student Pre-Class Preparation: Readings electronically provided in advance 予習・復習のポイント：電子版で事前提供する資料の予習</p> <p>Week 8: Economic tools (2): Emissions trade, environment tax 第8週：経済的手法(2)：排出量取引、環境税 Student Pre-Class Preparation: Readings electronically provided in advance 予習・復習のポイント：電子版で事前提供する資料の予習</p> <p>Week 9: Workshop (2): Polluter Pays Principle 第9週：ワークショップ(2)：汚染者負担原則 Student Pre-Class Preparation: Readings electronically provided in advance 予習・復習のポイント：電子版で事前提供する資料の予習</p> <p>Week10: Biological diversity 第10週：生物学的多様性 Student Pre-Class Preparation: Readings electronically provided in advance 予習・復習のポイント：電子版で事前提供する資料の予習</p> <p>Week 11: Business and environment 第11週：ビジネスと環境 Student Pre-Class Preparation: Readings electronically provided in advance 予習・復習のポイント：電子版で事前提供する資料の予習</p> <p>Week 12: Environment and economy 第12週：環境と経済 Student Pre-Class Preparation: Readings electronically provided in advance 予習・復習のポイント：電子版で事前提供する資料の予習</p> <p>Week 13: Emerging issues 第13週：新たな課題 Student Pre-Class Preparation: Readings electronically provided in advance 予習・復習のポイント：電子版で事前提供する資料の予習</p> <p>Week 14: Workshop (3-1), presentation 第14週：ワークショップ(3-1)、発表 Student Pre-Class Preparation: Review the course materials, preparation for presentation 予習・復習のポイント：コース全体の復習</p> <p>Week 15: Workshop (3-2), presentation 第15週：ワークショップ(3-2)、発表 Student Pre-Class Preparation: Review the course materials, preparation for presentation 予習・復習のポイント：コース全体の復習</p>		
<p>週ごとの授業計画 2 / Weekly Schedule 2 ※上段、文字数超過分を記載</p>			
<p>教科書 / Textbook</p>	<p>なし None</p>		
<p>指定図書 / Course Readings</p>	<p>環境省『環境白書：循環型社会白書／生物多様性白書（令和3年版）』日経印刷 - Ministry of the Environment, Japan (2021). Annual Report on the Environment, the Sound Material-Cycle Society, and the Biodiversity in Japan, 2021</p>		
<p>参考文献 / Reference List</p>	<p>倉坂秀史 『環境政策論 第3版』2014年 信山社 - United Nations Environment Program. (2019). “Global Environment Outlook 6 (GEO 6)”</p>		
<p>評価方法 / Method of Evaluation</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・取組姿勢、討議: 20% ・復習のための小テスト: 20% ・発表: 25% ・学期末試験（多人数の場合）又はレポート提出: 35% <ul style="list-style-type: none"> - Performance in class including discussion and debate: 20% - Quizzes: 20% - Presentation: 25% - Semester-end exam (if large class) or report/essay assignment: 35% 		
<p>事前履修科目等 / Prerequisite</p>	<p>環境保全入門の単位を取得していることが望ましいが、必須とはしない。 Credit in Introduction to Environmental Protection is desirable, but not required.</p>		
<p>実務経験 / Work Experiences</p>	<p>有</p>	<p>授業への実務経験の活用 / Practical Contents</p>	<p>厚生労働省・環境省・世界保健機関WHO等において廃棄物・リサイクル、水質管理・大気保全、地球温暖化対策等の環境保全・行政、また途上国協力を従事した経験を活かし、国際的な視点も含め様々な環境問題に実践的なアプローチを行う。</p>

留意点 / Additional Information	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英語を主言語とする学生がいればその能力に応じた日本語：英語率とし、日本語学生が相当数いる中では日本語最小／英語最大のケースで6：4程度。 - Depending on Japanese capacity of English oriented students, ENG : JPN may be up to 4:6 with much more Japanese students in class. ・ 本科目は履修学生の構成に応じて、英語、日本語の両言語で行う。外部講師による講義は日本語で行われることがある。発表は、英語での視覚資料の利用等、英語で理解できるものでなければならない。 - With English oriented students, the course will be conducted in both Japanese and English. Guest speakers may not speak English, though. Students are requested to make presentation understandable for English speakers with visual aids, etc.
学生による授業評価(VOICE)への教員からの応答 / Responses to VOICE	

講義年度 / Year	2022年度		
科目名 / Course Title	経営学入門		
英文科目名 / Course Title (Eng.)	Introduction to Management		
教員 / Instructor	芦田 尚道 (Ashida, Hisamichi)		
分野 / Division	共通科目一般 選択/GL EL	開講学期 / Semester	春学期
配当年次 / Grade	1年	単位数 / Credits	4単位
研究室 / Office		連絡先 / E-mail	ashida@tama.ac.jp
授業で使用する言語 / Language Used in Class	<input type="checkbox"/> 日本語のみ <input type="checkbox"/> 英語のみ <input checked="" type="checkbox"/> 日本語と英語併用 (日本語85% 英語15%) <input type="checkbox"/> その他外国語		

ディプロマ・ポリシーとの対応 / Relationship with DP	<p>◎(1) 知識と理解【グローバル社会に対する理解】</p> <p>○(2) 思考と判断【考え抜く力】</p> <p>－(3) 関心と意欲【社会の発展に貢献する力】</p> <p>－(4) 表現と技能【役割分担により組織目標の達成に貢献する力】</p> <p>－(5) 高い志【環境対応能力と先進性】</p>
アクティブ・ラーニングの手法 / Methods of Active Learning	<input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実習
到達目標 / Course Goals	<p>To know the range of topics treated in management.</p> <p>To know the fundamental ideas and theories in management.</p> <p>To understand strategy and organization in management.</p> <p>To know how management can help you to understand familiar problems.</p> <p>・経営学が扱う問題の範囲を知ること。</p> <p>・経営学の基本的な考え方や理論を知ること。</p> <p>・経営における「戦略」と「組織」を理解すること。</p> <p>・経営学によってどのように身近な問題を分析することができるかを知ること。</p>
講義の概要 / Course Description	<p>In this course, students learn basics of management. We aim to acquire knowledge about basic concepts to be able to abstract innumerable, variable, complex, and individual phenomena about enterprises and other organizations. And this course introduces actual cases of organizations. And students make reports with logicity and concreteness supported by deep commitment to this course, and get overall comments about reports.</p> <p>このコースでは、経営学の基礎を学ぶ。現代の企業やそれ以外の組織にまつわる無数、多様、複雑、個別具体的な現象を、抽象化して理解できるようになるために、経営学の基本的な概念についての知識修得を目指す。また、企業などの組織の活動の具体的な事例についても紹介する。なお受講生には授業期間内にレポートを作成していただく。レポートでは論理性と具体性、及び本講義へのコミットメントの深さが問われる。レポートには最後に全体講評を行う。</p>
準備学習時間・具体的内容 / Preparation study time Specific content	<p>In this course, members need enough understanding about points of the last class on every class, and need more than 3 hours of review and preparation each week.</p> <p>授業には、前回の講義内容について十分に理解をしたうえで臨んで下さい。講義内容の復習と次回講義の準備には、3時間以上の取組が必要となります。</p>
フィードバックの要領 / Detail of feedback	<p>Members can submit reaction papers at each class, and teacher replies by the next class. And teacher comments on member's reports comprehensively at the last class, and if members need detailed comments, teacher gives advices about reports individually.</p> <p>各授業ではリアクションペーパーによって質問を受け付け、次回の授業で可能な限り回答する。授業期間内レポートに対しては、最後の授業までに全体講評を行うが、希望者には個別講評も行う。</p>
週ごとの授業計画 / Weekly Schedule	<p>Week 1: Introduction 第1週： イントロダクション Student Pre-Class Preparation: Have read course descriptions 予習・復習のポイント： シラバスを読んで頂くこと。</p> <p>Week 2: About Strategy 第2週： 戦略とは Student Pre-Class Preparation: Have read the chapter 1 of textbook 予習・復習のポイント： 教科書第1章を読んでいること。</p> <p>Week 3: About Differentiation 第3週： 差別化とは Student Pre-Class Preparation: Have read the chapter 2 of textbook 予習・復習のポイント： 教科書第2章を読んでいること。</p> <p>Week 4: About Business System 第4週： ビジネスシステムとは Student Pre-Class Preparation: Have read the chapter 3 of textbook 予習・復習のポイント： 教科書第3章を読んでいること。</p> <p>Week 5: About Diversification 第5週： 多角化とは Student Pre-Class Preparation: Have read the chapter 4 of textbook 予習・復習のポイント： 教科書第4章を読んでいること。</p> <p>Week 6: About Restructuring 第6週： リストラクチャリングとは</p>

	<p>Student Pre-Class Preparation: Have read the chapter 5 of textbook 予習・復習のポイント：教科書第5章を読んでいること。</p> <p>Week 7: About Internationalization 第7週：国際化とは Student Pre-Class Preparation: Have read the chapter 6 of textbook 予習・復習のポイント：教科書第6章を読んでいること。</p> <p>Week 8: About Capital Structure 第8週：資本構造とは Student Pre-Class Preparation: Have read the chapter 7 of textbook 予習・復習のポイント：教科書第7章を読んでいること。</p> <p>Week 9: About Employment Structure 第9週：雇用構造とは Student Pre-Class Preparation: Have read the chapter 8 of textbook 予習・復習のポイント：教科書第8章を読んでいること。</p> <p>Week 10: About Organization and Individual 第10週：組織と個人について Student Pre-Class Preparation: Have read the chapter 9 of textbook 予習・復習のポイント：教科書第9章を読んでいること。</p> <p>Week 11: About Structure of Organization 第11週：組織構造とは Student Pre-Class Preparation: Have read the chapter 10 of textbook 予習・復習のポイント：教科書第10章を読んでいること。</p> <p>Week 12: About Incentive System 第12週：インセンティブシステムとは Student Pre-Class Preparation: Have read the chapter 11 of textbook 予習・復習のポイント：教科書第11章を読んでいること。</p> <p>Week 13: About Planning and Control of Organization, and about “Glocal” business in Kanagawa 第13週：組織の計画とコントロールとは、及び神奈川県グローバル企業について Student Pre-Class Preparation: Have read the chapter 12 of textbook 予習・復習のポイント：教科書第12章を読んでいること。</p> <p>Week 14: About Management Philosophy and Organizational Culture 第14週：経営理念・組織文化とは Student Pre-Class Preparation: Have read the chapter 13 of textbook 予習・復習のポイント：教科書第13章を読んでいること。</p> <p>Week 15: About Leadership 第15週：リーダーシップとは Student Pre-Class Preparation: Have read the chapter 14 of textbook 予習・復習のポイント：教科書第14章を読んでいること。</p>		
週ごとの授業計画 2 / Weekly Schedule 2 ※上段、文字数超過分を記載			
教科書 / Textbook	伊丹敬之・加護野忠男『ゼミナール経営学入門（第3版）』日経BPM（日本経済新聞出版本部）、2003年		
指定図書 / Course Readings	Assigned during the classes. 講義中に指定する。		
参考文献 / Reference List	Assigned during the classes. 講義中に指定する。		
評価方法 / Method of Evaluation	Learning Attitude / 学修態度: 5% Report / レポート: 20% Final-examination / 学期末試験: 75%		
事前履修科目等 / Prerequisite	None 特になし		
実務経験 / Work Experiences	有	授業への実務経験の活用 / Practical Contents	企業における勤務経験や具体的な営業経験を生かし、現代企業における業務の進め方や組織における人間の関係性のあり方、リーダー・フォロワー双方の立場からのより良い協働関係の構築の仕方、および実際の販売活動における企業と顧客との関係の前提的な仕組みや良好な協力関係の構築の仕方を、実例に即して紹介している。
留意点 / Additional Information	None 特になし		
学生による授業評価(VOICE)への教員からの応答 / Responses to VOICE			

講義年度 / Year	2022年度		
科目名 / Course Title	マーケティング論		
英文科目名 / Course Title (Eng.)	Theory of Marketing		
教員 / Instructor	芦田 尚道 (Ashida, Hisamichi)		
分野 / Division	IS 選択/IS EL	開講学期 / Semester	秋学期
配当年次 / Grade	3年	単位数 / Credits	4単位
研究室 / Office		連絡先 / E-mail	ashida@tama.ac.jp
授業で使用する言語 / Language Used in Class	<input type="checkbox"/> 日本語のみ <input type="checkbox"/> 英語のみ <input checked="" type="checkbox"/> 日本語と英語併用 (日本語85% 英語15%) <input type="checkbox"/> その他外国語		

ディプロマ・ポリシーとの対応 / Relationship with DP	<p>◎(1) 知識と理解 【グローバル社会に対する理解】</p> <p>○(2) 思考と判断 【考え抜く力】</p> <p>－(3) 関心と意欲 【社会の発展に貢献する力】</p> <p>－(4) 表現と技能 【役割分担により組織目標の達成に貢献する力】</p> <p>－(5) 高い志 【環境対応能力と先進性】</p>
アクティブ・ラーニングの手法 / Methods of Active Learning	<input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実習
到達目標 / Course Goals	<p>To understand some basic concepts on marketing.</p> <p>To understand basic way of thinking for marketing.</p> <p>To understand the system and structure of Principle of marketing.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マーケティングの基礎的な概念を理解すること。 ・マーケティングの基本的な考え方を理解すること。 ・マーケティング論の体系と構造を理解すること。
講義の概要 / Course Description	<p>In this course, we study method of thinking about market on marketing and theories of consumer behavior, enterprises' new product development, and strategic marketing. And, supposing customers in ongoing and specific relationship, we study marketing theories about structuring of bases of interaction. And this course introduces actual cases of organizations. And students make reports with logicity and concreteness supported by deep commitment to this course, and get overall comments about reports.</p> <p>本講義ではまず、マーケティングにおける市場の捉え方、消費者行動や企業の新製品開発活動、戦略的マーケティングに関する理論について講義する。さらに、継続的な関係にある顧客を想定したうえで、販売側と顧客との相互作用の基盤づくりに関するマーケティング理論を学ぶ。また、企業などの組織の活動の具体的な事例についても紹介していく。なお受講生には授業期間内にレポートを作成していただく。レポートでは論理性と具体性、及び本講義へのコミットメントの深さが問われる。レポートには最後に全体講評を行なう。</p>
準備学習時間・具体的内容 / Preparation study time Specific content	<p>In this course, members need enough understanding about points of the last class on every class, and need more than 3 hours of review and preparation each week.</p> <p>授業には、前回の講義内容について十分に理解をしたうえで臨んで下さい。講義内容の復習と次回講義の準備には、3時間以上の取組が必要となります。</p>
フィードバックの要領 / Detail of feedback	<p>Members can submit reaction papers at each class, and teacher replies by the next class. And teacher comments on member's reports comprehensively at the last class, and if members need detailed comments, teacher gives advices about reports individually.</p> <p>各授業ではリアクションペーパーによって質問を受け付け、次回の授業で可能な限り回答する。授業期間内レポートに対しては、最後の授業までに全体講評を行うが、希望者には個別講評も行う。</p>
週ごとの授業計画 / Weekly Schedule	<p>Week 1: Perspective of Principle of marketing. 第1週：マーケティング論の全体像 Student Pre-Class Preparation: Have read course descriptions. 予習・復習のポイント：「シラバス」を読むこと。</p> <p>Week 2: The logic of marketing. 第2週：マーケティングの考え方 Student Pre-Class Preparation: Have read the chapter 1 of textbook, paying attention to the relationship between marketing and market. 予習・復習のポイント：「マーケティングにおける市場の捉え方」に着目しつつ、教科書第1章を読むこと。</p> <p>Week 3: Product differentiation. 第3週：製品差別化 Student Pre-Class Preparation: Have read the chapter 2 of textbook, paying attention to variety of product differentiation. 予習・復習のポイント：様々な「製品差別化の仕方」に着目しつつ、教科書第2章を読むこと。</p> <p>Week 4: Market segmentation. 第4週：市場細分化 Student Pre-Class Preparation: Have read the chapter 3 of textbook, paying attention to methods and standards of market segmentation. 予習・復習のポイント：「市場細分化の方法と基準」に着目しつつ、教科書第3章を読むこと。</p> <p>Week 5: Product life cycle. 第5週：製品ライフサイクル Student Pre-Class Preparation: Have read the chapter 4 of textbook, paying attention to definition of product life cycle. 予習・復習のポイント：「製品ライフサイクルの定義と各段階の特徴」に着目しつつ、教科書第4章を読むこと。</p> <p>Week 6: Consumer behavior. 第6週：消費者行動 Student Pre-Class Preparation: Have read the chapter 5 of textbook, paying attention to characteristic of Principle of consumer behavior and consumers' decision-making process of purchase.</p>

	<p>予習・復習のポイント：「消費者行動論の特徴」と「消費者の購買意思決定プロセス」に着目しつつ、教科書第5章を読むこと。</p> <p>Week7: New product development. 第7週：新製品開発 Student Pre-Class Preparation: Have read the chapter 6 of textbook, paying attention to decision-making process on new product development. 予習・復習のポイント：「新製品開発での意思決定プロセス」に着目しつつ、教科書第6章を読むこと。</p> <p>Week 8: Marketing mix. 第8週：マーケティング・ミックス Student Pre-Class Preparation: Have read the chapter 7 of textbook, paying attention to 4P. 予習・復習のポイント：「マーケティングの4P」に着目しつつ、教科書第7章を読むこと。</p> <p>Week 9: Principle of strategic marketing. 第9週：戦略的マーケティング論 Student Pre-Class Preparation: Have read the chapter 8 of textbook, paying attention to product portfolio, basic strategy of marketing, and so on. 予習・復習のポイント：「製品ポートフォリオ」「マーケティングの基本戦略」に着目しつつ、教科書第8章を読むこと。</p> <p>Week 10: Theories about relationship on marketing. 第10週：マーケティングにおける関係の理論 Student Pre-Class Preparation: Have read the chapter 10 of textbook, paying attention to differences in 2 types of marketing. 予習・復習のポイント：「2タイプのマーケティングの違い」に着目しつつ、教科書第10章を読むこと。</p> <p>Week11: Structuring of marketing channel. 第11週：チャネル関係の構築 Student Pre-Class Preparation: Have read the chapter 11 of textbook, paying attention to types of marketing channel and methods of channel management. 予習・復習のポイント：「チャネルの類型」「チャネル管理方法」に着目しつつ、教科書第11章を読むこと。</p> <p>Week 12: Ashida's experience of marketing and sales. 第12週：芦田のマーケティング・営業経験 Student Pre-Class Preparation: Have read materials. 予習・復習のポイント：事前に配布する資料を読むこと。</p> <p>Week 13: Structuring of relations with consumer. 第13週：営業活動による顧客関係の構築 Student Pre-Class Preparation: Have read the chapter 12 of textbook, paying attention to activities, management, and process reform of sales. 予習・復習のポイント：「営業の活動、管理、プロセス革新」に着目しつつ、教科書第12章を読むこと。</p> <p>Week 14: Marketing and change of environment.(1) 第14週：マーケティングと環境変化(1) Student Pre-Class Preparation: Have read the chapter 13 of textbook, paying attention to influential changes of environment for evolution of marketing. 予習・復習のポイント：「マーケティングの進化にとって重要な環境変化」に着目しつつ、教科書第13章を読んでくること。</p> <p>Week 15: Marketing and change of environment.(2) 第15週：マーケティングと環境変化(2) Student Pre-Class Preparation: Have read the chapter 13 of textbook, paying attention to influential changes of environment for evolution of marketing. 予習・復習のポイント：「マーケティングの進化にとって重要な環境変化」に着目しつつ、教科書第13章を読んでくること。</p>			
週ごとの授業計画 2 / Weekly Schedule 2 ※上段、文字数超過分を記載				
教科書 / Textbook	高嶋克義・桑原秀史『現代マーケティング論』有斐閣、2008年			
指定図書 / Course Readings	Assigned during the classes. 講義中に指定する。			
参考文献 / Reference List	Assigned during the classes. 講義中に指定する。			
評価方法 / Method of Evaluation	Learning Attitude / 学修態度: 5% Report / レポート: 25% Final-examination / 学期末試験: 70%			
事前履修科目等 / Prerequisite	None. 特になし。			
実務経験 / Work Experiences	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 10%;">有</td> <td style="width: 40%;">授業への実務経験の活用 / Practical Contents</td> <td style="width: 50%;">企業における勤務経験や具体的な営業経験を生かし、現代企業における業務の進め方や組織における人間の関係性のあり方、リーダー・フォロワー双方の立場からのより良い協働関係の構築の仕方、および実際の販売活動における企業と顧客との関係の前提的な仕組みや良好な協力関係の構築の仕方を、実例に即して紹介している。</td> </tr> </table>	有	授業への実務経験の活用 / Practical Contents	企業における勤務経験や具体的な営業経験を生かし、現代企業における業務の進め方や組織における人間の関係性のあり方、リーダー・フォロワー双方の立場からのより良い協働関係の構築の仕方、および実際の販売活動における企業と顧客との関係の前提的な仕組みや良好な協力関係の構築の仕方を、実例に即して紹介している。
有	授業への実務経験の活用 / Practical Contents	企業における勤務経験や具体的な営業経験を生かし、現代企業における業務の進め方や組織における人間の関係性のあり方、リーダー・フォロワー双方の立場からのより良い協働関係の構築の仕方、および実際の販売活動における企業と顧客との関係の前提的な仕組みや良好な協力関係の構築の仕方を、実例に即して紹介している。		
留意点 / Additional Information	None. 特になし。			
学生による授業評価(VOICE)への教員からの応答 / Responses to VOICE				

講義年度 / Year	2022年度		
科目名 / Course Title	日本の法律 (A)		
英文科目名 / Course Title (Eng.)	Japanese Law (A)		
教員 / Instructor	金井 憲一郎 (Kanai, Kenichiro)		
分野 / Division	共通科目一般 選択/GL EL	開講学期 / Semester	春学期
配当年次 / Grade	1年	単位数 / Credits	4単位
研究室 / Office		連絡先 / E-mail	kanai@tama.ac.jp
授業で使用する言語 / Language Used in Class	<input checked="" type="checkbox"/> 日本語のみ <input type="checkbox"/> 英語のみ <input type="checkbox"/> 日本語と英語併用 (日本語と英語の比率) <input type="checkbox"/> その他外国語日本語のみ		

ディプロマ・ポリシーとの対応 / Relationship with DP	<p>◎(1) 知識と理解【グローバル社会に対する理解】</p> <p>○(2) 思考と判断【考え抜く力】</p> <p>－(3) 関心と意欲【社会の発展に貢献する力】</p> <p>－(4) 表現と技能【役割分担により組織目標の達成に貢献する力】</p> <p>－(5) 高い志【環境対応能力と先進性】</p>
アクティブ・ラーニングの手法 / Methods of Active Learning	<p><input checked="" type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/>グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/>プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/>フィールドワーク</p> <p><input type="checkbox"/>実習</p> <p>履修者が30人以上となった場合は困難を伴うが、ディスカッションは、毎回の授業の出席確認を兼ねて行う。毎回、一週間の間に原則として日本社会において生じた法律問題(ただし、授業で言及した諸法に限る)につき教員との対話を行うことに注力している。「わかりません」や黙秘権の行使は原則として受け付けない。この教員との対話が、当該年度授業の授業参加態度としての評価項目となることに留意して欲しい。ディベートについては、過年度において具体的には夫婦同姓か別姓か、女性に対する再婚禁止期間の合憲性について行った学期もあるが、当該学期の履修者の学力・理解力、法的思考を基礎にしたコミュニケーション能力を観察したうえで授業の進展を考慮してその実施の要不要を判断することとしたい。</p>
到達目標 / Course Goals	<p>- To help students recognize accurately the issues of Japanese society.</p> <p>- To help students recognize accurately what is legally problematic as to the issue.</p> <p>- To help students understand what legal thoughts are</p> <p>- To encourage students to consider the issues of Japanese society and work on legal solution.</p> <p>- To give students the opportunities to share their conclusions with others and seek to convince them.</p> <p>この授業の目的は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の社会が抱える問題を適切に認識すること、 ・この問題のどこが法的に問題かを的確に把握すること、 ・法的にものを考えること(法的な思考)とは何かを理解すること、 ・日本の社会が抱える問題を自らの思考を通じて法的に解決を試みること、 ・自らが得られた結論を他者に示し、納得を得ること、 <p>である。</p> <p>Recognizing the importance of legally resolving legal issues in Japan, what is "thinking and thinking" in order to resolve legal issues in the increasingly complex modern Japanese society in the future? That is, we aim to acquire a strong and sustainable thinking ability to keep thinking about them. The global perspective will be even stronger from the perspective of "Japanese law." Knowing "Japanese law" is also essential for living in Japan in a global society.</p> <p>日本における法律問題を法的に解決することの重要性を認識し、将来にわたって、より複雑化する現代日本社会における法的諸問題を解決していくために「考える、考え抜く」とはどのようなことであり、それらを考え続けるという強固かつ持続的な思考力を体得することを目指す。グローバルな視点は、「日本の法律」という切り口から、更により強いものになるだろう。「日本の法律」を知ることは、グローバルな社会における日本で生活するために必要不可欠でもある。</p>
講義の概要 / Course Description	<p>This course will study Japanese law as one of the solutions to the issues after recognizing the problems of Japanese society. It is not sufficient to 'know' or 'learn' written laws as apparently written laws can not cover all the incidents and events which can occur in Japanese society. Written laws are merely clues to solution to the problems occurring in Japanese society and therefore 'interpretation of laws' is needed as the solution to the problems. The laws are interpreted and applied for the concrete problems, and through the process of 'application of laws' new and unwritten laws will be created. 'Interpretation and application of laws' will require 'legal thoughts'.</p> <p>This course will introduce students to 'unwritten laws' created through solution of problems, as well as 'legal thoughts' in addition to 'written laws'.</p> <p>この授業では、日本の社会が抱える問題を適切に把握し、その問題解決の手法の一つとして法律を学ぶ。「法律を学ぶ」といっても、単に「書かれている」法律を「知っている」あるいは「覚えている」だけでは不十分であり、問題解決にはおぼつかない。「書かれている」法律が社会の全ての事象を描き尽くすことができないことを考えてみれば、それは当然であろう。法律に書かれているのは、社会に存在する問題の解決の緒(いとぐち)に過ぎず、その解答は読めば分かるというものではない。そこで、問題解決の手法としての法律の「解釈」が必要となる。事実としての具体的問題に、法律を「解釈」し、そして「適用」する。この「適用」の過程を通じて新しい見えない法律が作り出される。ただ、この「解釈」・「適用」は無原則になされるのではない。この背景には「法的思考」なるものが存在する。</p> <p>この授業を通じて、「書かれている」法律を知るだけでなく、問題解決を通じて導き出されてきた「書かれていない」法律やその背景となっている「法的思考」の一端にぜひ触れてもらいたい。</p>
準備学習時間・具体的内容 / Preparation study time Specific content	<p>いかなる新聞、いかなるテレビ、いかなるラジオ、いかなるネットニュースでもかまわないが(できるだけ新聞であることが望ましい。ネット情報についてはその信頼性の疑わしいものも見受けられるので、あまり推奨できない。)、毎日30分(授業から授業までの一週間で計210分)日本の法律に関連する報道(とりわけ、政治の動き、社会的出来事の掲載される社会面)にアクセスし、次の授業までにその情報を開陳できるようにすること(それを発言していただくことを出席確認を兼ねて行う)。それらの情報がこれまでの授業とどう関連するか考えてみることも望みたい。教科書を読み、レジュメや配付資料に目を通すことはもちろんである。</p> <p>2021年11月30日の本シラバス修正時点においても、世界中において新型コロナウイルスによる感染症がパンデミックとなっている。現在生存している人類の誰一人経験したことのない危機的状況下にある。世界史を紐解けば、ペスト、スペイン風邪、最近もエボラ出血熱等人間の生命を脅かす疫病と人類は向き合ってきた。このようなピンチをチャンスに変える絶好の機会と前向きに考えつつ、法をめぐる問題を考える必要があ</p>

	<p>る。例えば、新型コロナウイルス感染症対応等のための特別措置法に基づく緊急事態宣言やその効果は、法律問題、とりわけ憲法のそれに他ならない。今学期も、この点をも掘り下げながら、具体的に考えていきたい。</p> <p>It can be any newspaper, any television, any radio, any net news (preferably newspapers as much as possible, and we do not recommend it as much as the reliability of online information is questionable), but 30 minutes daily (A total of 210 minutes per week from class to class) You can access news reports related to Japanese law (especially political movements, social aspects where social events are posted) and disclose the information by the next class. (Do not have them say it as a confirmation of attendance). Of course, you should read the textbooks and read the resumes and handouts.</p> <p>Even at the time of this syllabus revision on November 30, 2021, infectious diseases caused by the new coronavirus are pandemics all over the world. It is in a crisis situation that no one living human beings has ever experienced. Looking at world history, humankind has faced life-threatening plagues such as plague, the Spanish flu, and recently Ebola. It is necessary to think positively about the issue of law while thinking positively that it is a great opportunity to turn such a pinch into an opportunity. For example, The state of emergency based on the Act on Special Measures for Coronavirus Infectious Diseases and its effects are nothing but legal issues, especially those of the Constitution. In this semester as well, I would like to delve into this point and think concretely.</p>
<p>フィードバックの要領 / Detail of feedback</p>	<p>レポートに対して、コメントを付してフィードバックを行う。</p> <p>Give feedback on the report with comments.</p>
<p>週ごとの授業計画 / Weekly Schedule</p>	<p>第1週: ガイダンス 講義の進め方や評価方法、予習・復習のポイント等、本講義を受講するにあたっての基本的事項についての説明を行う。具体的には、以下のようである。本講義は、日本語により行うこととし、大きく分けて民法を中心とした法学概論と憲法の二つに分解される。前者においては、山田卓生『法学入門 社会生活と法』(信山社、2013年)を下敷きにしなが、その重要ポイントを中心に法のイメージを持っていただく。教員は民法学を専門としていることから、それを中心に説示する。民法は、「日常生活の基礎法」であり、きわめて重要な位置を諸君の人生の様々なステージにおいて占めていることを浮き彫りにしたい。その後、それら民法を中心にした法のイメージを前提とし、憲法の重要ポイントにつき、主として渋谷秀樹『憲法への招待(新版)』(岩波新書、2014年)により講義を行う。なお、この本を事前に読んでいただき、レポートを書いていただくことを予定している。その結果を後半の憲法の説示に反映させる予定である。その点で、前者のテキストは、30回の講義全体に折に触れて読み返す必要があり、後者は、レポート作成、ならびに後半に授業にて使用する。時間があれば、前半と後半の間に小テストを実施することも考えている。しかし、下記の次週以降は、あくまでも一応のスケジュールであり、参加者の年次、理解度や学習の進展を考慮して、その都度の変更もあり得ることに留意して欲しい。ちなみに、昨年度は30回の講義のうち、20回を法学、10回を憲法の講義にその時間を割り当てた。本講義にとって有益な法律問題がタイムリーに発生した場合、相当程度の時間を割き、参加者諸君にできるだけ具体的な法へのイメージを持っていただくような講義を展開したい。法学の理解にはある程度のテクニカル・ターム、論理的な文章に慣れていただく必要がある(法学は、専門性のきわめて高い応用科目であるので、1年生の受講はその性質や内容からして相当ハードで、独学が難しい学問分野であることを認識しておいて欲しい)。重要ポイントは何度も繰り返す等わかり易い講義を心掛けるが、参加者の相当程度の予習・復習等自学も求められる。参加者におかれては、臆せず、小さなことでも良いので、疑問や質問を携えて授業に出席して欲しい。質問は大歓迎である。細かい点にこだわらず、広い視野から法、憲法のイメージをつかむことに努めつつ、授業中は自分でノートやメモをとる習慣もつけて欲しい。結局は、この作業によって、一定程度の文章作成能力が培われることになる。また、後者の憲法の改正論議もさることながら、民法も、大きな改正が2020年以降相次いでなされている。債権法、相続法、そして、成人年齢が18歳になること(2022年4月1日施行)等がそれである。それらについても、その重要性に鑑み、それらの説示に相応の時間を割くことになるだろう。平成末から令和になった最近程、受講生にとっても重要な基本的法律の改正がなされている時期はないといってよい。繰り返すが、次週以降のスケジュールはあくまでも予定であることに留意されたい。</p> <p>なお、授業の仕方は、第1週の講義の受講生の数を見ながら考えたい。何故なら、本講義は出席確認を兼ねて、復習事項や日々生起しているニュース、当該授業プロパーのこと等を問う等した対話形式を導入した講義を行っているからである。本講義は受講生の「考える力」を養うこと、法律学という学問の性質上の二つの理由から、一方通行の講義は適切ではないと考えている。昨年度も、授業とゼミナールの双方の性質を有する講義であったことを付言したい。いずれにせよ、対話形式の授業は、参加人数次第である。これまでに約50人の履修者があったことがあったが、この人数だと授業は一方通行に傾きがちになる。可能な限りインタラクティブな授業を展開ができるよう努めたい。</p> <p>第2週: 社会生活における法/法の存在形態/法と裁判/法は誰がつくるのか 予習・復習のポイント: 事前に該当箇所を読んでおくこと。山田卓生『法学入門 社会生活と法』1～4</p> <p>第3週: 法の種類(1)―民事法と刑事法/法の種類(2)―公法と私法/法の種類(3)―実体法と手続法/法の種類(4)―国家法と自治法 予習・復習のポイント: 事前に該当箇所を読んでおくこと。山田卓生『法学入門 社会生活と法』5～8</p> <p>第4週: 法の解釈/法と法律家/法の順守/法の衝突 予習・復習のポイント: 事前に該当箇所を読んでおくこと。山田卓生『法学入門 社会生活と法』9～12</p> <p>第5週: 法と道徳/法と常識/法と社会変動 予習・復習のポイント: 事前に該当箇所を読んでおくこと。山田卓生『法学入門 社会生活と法』13～15</p> <p>第6週: 財産の法/家族の法/刑罰と法/行政と法/国際関係と法 予習・復習のポイント: 事前に該当箇所を読んでおくこと。山田卓生『法学入門 社会生活と法』16～20</p> <p>第7週: これまでのまとめを行い、それを前提として民法等の法律と憲法との繋がり、憲法の基本概念について説明していく。 予習・復習のポイント: 事前に該当箇所を読んでおくこと。山田卓生『法学入門 社会生活と法』、渋谷秀樹『憲法への招待(新版)』</p> <p>第8週: 憲法と立憲主義 第7週までの、法というもののイメージを前提として、本週以降は、憲法と、主として民法との違いを常に意識しながら講義を行っていく。具体的には、憲法の判例でありながら、民法にも関連する判例を特に意識的に取り上げていく。憲法の理解においては、生きた法ともいべき判例がとりわけ重要だからである。憲法については、103箇条であることから、そのすべてについてまずはどのような内容の規定があるのかに留意しつつ、説示する。そのうえで、憲法とはそもそも何かに関連する立憲主義の概念、制限規範の概念等憲法の原理にどのようなものがあるかについて講義する。これら憲法の原理を知ることが、現在、国会で行われている「憲法改正問題」にアプローチするための出発点であるからである。この憲法に通底する原理の理解には、相応の時間を要するので、その後の講義はより重点を絞った形での、個別論点につき概説することになろう。最終的には、憲法の条文にどのようなことが書かれているかを知り、その構成や体系を知ることが最も肝要である。憲法学は、法律学の中でも最も難解かつ深遠な学問分野であり、憲法の原理の理解を前提として、諸君が社会人になっても、考え続けるべき対象であるということができよう。 予習・復習のポイント: 事前に該当箇所を読んでおくこと。渋谷秀樹『憲法への招待(新版)』第1章</p> <p>第9週: 人権とはそもそも何か 予習・復習のポイント: 事前に該当箇所を読んでおくこと。渋谷秀樹『憲法への招待(新版)』第2章</p> <p>第10週: どのような人権が保障されるのか 予習・復習のポイント: 事前に該当箇所を読んでおくこと。渋谷秀樹『憲法への招待(新版)』第3章</p>

第11週：どのような人権が保障されるのか
 予習・復習のポイント：事前に該当箇所を読んでおくこと。渋谷秀樹『憲法への招待(新版)』第3章

第12週：どのような人権が保障されるのか、政府を動かす原理は何か
 予習・復習のポイント：事前に該当箇所を読んでおくこと。渋谷秀樹『憲法への招待(新版)』第3章～第4章

第13週：政府を動かす原理は何か、政府の活動内容は具体的にどのようなものか
 予習・復習のポイント：事前に該当箇所を読んでおくこと。渋谷秀樹『憲法への招待(新版)』第4章～第5章

第14週:政府の活動内容は具体的にどのようなものか
 予習・復習のポイント:事前に該当箇所を読んでおくこと。渋谷秀樹『憲法への招待(新版)』第5章

第15週:第8週以降の復習を行い、合わせて全講義全体の総まとめを行う。
 予習・復習のポイント:これまでの授業で説示のあった重要ポイントにつきノートやレジュメを読み直しておくこと。山田卓生『法学入門 社会生活と法』、渋谷秀樹『憲法への招待(新版)』

週ごとの授業計画 2 / Weekly
 Schedule 2 ※上段、文字数超過
 分を記載

Week 1: Guidance We will explain the basic matters for taking this lecture, such as how to proceed with the lecture, evaluation method, points for preparation and review. Specifically, it is as follows. This lecture will be given in Japanese and can be broadly divided into two parts: an introduction to law centered on civil law and the Constitution. In the former case, based on Takao Yamada's "Introduction to Law, Social Life and Law" (Shinzansha Publisher, 2013), you will have an image of law focusing on its important points. Since the teacher specializes in civil law, I will mainly explain it. I would like to highlight that civil law is the "basic law of everyday life" and occupies a very important position at various stages of your life. After that, based on the image of the law centered on those civil laws, lectures will be given mainly on the important points of the Constitution by Hideki Shibutani's "Invitation to the Constitution (New Edition)" (Iwanami Shinsho, 2014). We plan to have you read this book in advance and write a report. The results will be reflected in the latter half of the constitutional instruction. In that respect, the former text needs to be read back from time to time throughout the 30 lectures, and the latter will be used in report writing and in class later. If I have time, I'm thinking of doing a quiz between the first half and the second half. However, please note that the schedule for the following weeks and beyond is just a tentative schedule, and may change each time, taking into consideration the participants' year, understanding, and progress in learning. By the way, last year, of the 30 lectures, 20 were allocated to law and 10 to constitutional lectures. If a legal problem that is useful for this lecture occurs in a timely manner, I would like to devote a considerable amount of time to the lecture so that the participants can have an image of the law as concretely as possible. To understand law, it is necessary to familiarize yourself with some technical terms and logical sentences (because law is a highly specialized applied subject, first grade students should take it because of its nature and content. Please be aware that it is a very hard and difficult academic field to study on your own). The important point is to try to make the lecture easy to understand, such as repeating it many times, but it is also required for the participants to self-study such as preparation and review. Participants should not be afraid and even small things are fine, so please attend the class with questions and questions. Questions are welcome. I would like you to get into the habit of taking notes and memos yourself during class while trying to grasp the image of the law and the constitution from a broad perspective without being particular about the details. In the end, this work will cultivate a certain level of writing ability. In addition to the latter debate on the revision of the Constitution, the Civil Code has undergone major revisions since 2020. These include the credit law, the inheritance law, and the adult age of 18 (enforced April 1, 2022). Again, given their importance, they will spend a reasonable amount of time on their instructions. It can be said that there has never been a time when the basic laws, which are important for students, have been amended as recently as the reiya began at the end of Heisei. Again, keep in mind that the schedule for the next week and beyond is just a plan. In addition, I would like to think about how to teach while looking at the number of students in the first week's lecture. This is because this lecture also serves as a confirmation of attendance, and introduces a dialogue format that asks about review items, daily news, and the class proper. I think that this lecture is not appropriate for one-way lectures because of the two reasons of cultivating the "thinking power" of the students and the nature of the academic field of law. I would like to add that last year as well, the lecture had the characteristics of both a class and a seminar. In any case, interactive lessons depend on the number of participants. So far, there have been about 50 students, but with this number of students, classes tend to be one-way. I would like to try to develop interactive lessons as much as possible.

Week 2: Law / Law Existence Form / Law and Trial / Who Creates Law in Social Life? Points for preparation and review: Read the relevant part in advance. Takao Yamada "Introduction to Law" Social Life and Law "1-4

Week 3: Types of Law (1) -Civil Law and Criminal Law / Types of Law (2) -Public Law and Private Law / Types of Law (3) -Substantive Law and Procedure Law / Types of Law (4) -National law and local autonomy law Points for preparation and review: Read the relevant part in advance. Takao Yamada "Introduction to Law" Social Life and Law 5-8

Week 4: Interpretation of Law / Law and Lawyer / Compliance with Law / Clash of Law Points for preparation and review: Read the relevant part in advance. Takao Yamada "Introduction to Law" Social Life and Law 9-12

Week 5: Law and Morality / Law and Common Sense / Law and Social Change Points for preparation and review: Read the relevant part in advance. Takao Yamada "Introduction to Law: Social Life and Law" 13-15

Week 6: Property Law / Family Law / Punishment and Law / Administration and Law / International Relations and Law Points for preparation and review: Read the relevant part in advance. Takao Yamada "Introduction to Law: Social Life and Law" 16-20

Week 7: Summarize the past, and on the premise of that, the connection between other laws such as civil law and the Constitution, and the basic concept of the Constitution. I will explain. Points for preparation and review: Read the relevant part in advance. Takao Yamada "Introduction to Law: Social Life and Law", Hideki Shibutani "Invitation to the Constitution (New Edition)"

Week 8: Constitution and Constitutionalism Based on the image of law until the 7th week, from this week onward, lectures will be given while always being aware of the difference between the Constitution and mainly civil law. Specifically, we will consciously take up judicial precedents related to civil law, even though they are constitutional judicial precedents. This is because judicial precedents, which can be called living law, are particularly important in understanding the Constitution. Since there are 103 articles in the Constitution, I will explain all of them, paying attention to what kind of provisions there are. After that, I will give a lecture on what the principles of the Constitution are, such as the concept of constitutionalism and the concept of restrictive norms, which are related to what the Constitution is in the first place. This is because knowing these principles of the Constitution is the starting point for approaching the "constitutional amendment issue" currently being held in the Diet. It will take some time to understand the principles underlying this Constitution, so subsequent lectures will outline individual issues in a more focused manner. Ultimately, it is most important to know what is written in the text of the Constitution, and to know its structure and system. Constitutional law is the most esoteric and profound discipline in law, and it can be said that even if you become a member of society, you should continue to think about it, given an understanding of the principles of the Constitution. Points for preparation and review: Read the relevant part in advance. Hideki Shibutani "Invitation to the Constitution (New Edition)" Chapter 1

Week 9: What are human rights in the first place? Points for preparation and review: Read the relevant part in advance. Hideki Shibutani "Invitation to the Constitution (New Edition)" Chapter 2

Week 10: What kind of human rights are guaranteed? Points for preparation and review: Read the relevant part in advance. Hideki Shibutani

	<p>"Invitation to the Constitution (New Edition)" Chapter 3</p> <p>Week 11: What kind of human rights are guaranteed? Points for preparation and review: Read the relevant part in advance. Hideki Shibutani "Invitation to the Constitution (New Edition)" Chapter 3</p> <p>Week 12: What human rights are guaranteed and what are the principles that move the government? Points for preparation and review: Read the relevant part in advance. Hideki Shibutani "Invitation to the Constitution (New Edition)" Chapters 3-4</p> <p>Week 13: What are the principles that move the government, and what are the specific activities of the government? Points for preparation and review: Read the relevant part in advance. Hideki Shibutani "Invitation to the Constitution (New Edition)" Chapters 4-5</p> <p>Week 14: What exactly is the government's activity? Points for preparation / review: Read the relevant part in advance. Hideki Shibutani "Invitation to the Constitution (New Edition)" Chapter 5</p> <p>Week 15: Review week 8 and beyond, and summarize all lectures. Preparation / review points: Reread the notes and resumes for the important points that were explained in the previous lessons. Takao Yamada "Introduction to Law: Social Life and Law", Hideki Shibutani "Invitation to the Constitution (New Edition)"</p>		
教科書 / Textbook	<p>山田卓生『法学入門 社会生活と法』信山社、2013年 渋谷秀樹『憲法への招待(新版)』岩波新書、2014年</p>		
指定図書 / Course Readings	<p>List of weekly readings will be given in the class 芦部信喜 高橋和之補訂『憲法(第七版)』(岩波書店、2019年) 西原博史編『教職課程のための憲法入門(第二版)』(弘文堂、2019年) 緒方桂子・豊島明子・長谷河亜希子編『日本の法 第2版』(日本評論社、2020年) 大村敦志『生活民法入門』(東京大学出版会、2003年) 初宿正典・高橋正俊・米沢広一・棟居快行編『いちばんやさしい憲法入門 第6版』(有斐閣、2020年)</p>		
参考文献 / Reference List	<p>日々の新聞朝刊・夕刊各紙。ちなみに、多摩大学グローバルスタディーズ学部の図書館には、日経新聞、朝日新聞、読売新聞が所蔵されている。</p> <p>Daily newspaper morning and evening newspapers. By the way, the library of the Faculty of Global Studies, Tama University holds the Nikkei, Asahi, and Yomiuri newspapers.</p>		
評価方法 / Method of Evaluation	<p>Class participation / 平常点: 10% (本学の6回ルールによる。原則として、診断書を繰り返し出すことで、例えば、診断書を7回出した場合、単位を認めるかは、それまでの授業参加態度やレポート評価等総合的に判断するので、ケースバイケースと理解されたい。毎週2時限続きの授業であるので、一週間欠席すると相当程度授業が展開し、毎学期、レポート提出期限後に授業に出席されなくなる方がいるが、非常に残念である。)</p> <p>Class performance and Report / 授業参加態度: レポート: 40% (授業参加態度とは、具体的には発言内容による。)</p> <p>Final examination / 学期末試験: 50%</p> <p>2021年11月30日現在の本シラバス作成時点では、新型コロナウイルスの終息が見通せず、場合によっては学期末試験が実施できない可能性もあり、その場合は上記レポートと授業における平常点(発言)、その他小テスト等行うことも検討している旨留意されたい。新型コロナウイルスによる感染症パンデミックの状況次第では、それぞれの評価の割合も多少変化させざるを得ない場合もあることから、レポート、平常点、小テスト、発言他授業に真剣に取り組むことをお願いしたい(学期末試験が実施できない場合は、レポート50%、授業での発言・コメント・質問・小テスト他50%で評価する)。</p>		
事前履修科目等 / Prerequisite	<p>本学1年生必修科目である、「日本語文章表現法」の講義を事前あるいは同時並行に履修することが望ましい。日本語の表現方法の知識がないと、法律用語等技術的なタームを用いた条文、裁判例、教科書等を理解することに加え、論理的な文章を書くことが難しいからである。日本史、世界史、文学等幅広い教養科目を履修することは、法という抽象的な世界(特に、どのように法が生成されてきたか)を知るために必要な知識の源ともいえるべきものであり、それらに対する関心を持つことも求められる。</p> <p>It is desirable to take a lecture on "Japanese Sentence Expression", which is a compulsory subject of this university, in advance or in parallel. This is because without knowledge of how to express Japanese, it is difficult to write logical sentences in addition to understanding articles, judicial precedents, textbooks, etc. that use technical terms such as legal terms. Taking a wide range of liberal arts subjects such as Japanese history, world history, and literature is a source of knowledge necessary to know the abstract world of law (especially how law was generated). And it is also required to have an interest in them.</p>		
実務経験 / Work Experiences	有	授業への実務経験の活用 / Practical Contents	企業における法務を中心とした総務・人事等総務全般の実務経験を活かし、日本社会のいかなる場面でどのような法律が解釈・適用され、実社会における諸問題が法的にどのように解決されているのか、反面において解決されない問題点としてどのような諸問題が残されているのかにつき、それぞれの具体例も示示することに留意することとしたい。
留意点 / Additional Information	<p>In this course, we intend to regularly touch upon up-to-date information on the current state of the law and its enforcement (and, in particular, the constitution and its proposed revisions, which have been subject to abundant discussion over the past few years). While taking this course, and even after having taken it, it will be crucial for students to pay attention to news on a daily basis, be it through the television, the radio, the internet, the newspapers or any other media.</p> <p>実際の法運用状況(特に、近時、憲法改正等憲法に関する議論が盛んに行われています)については、その都度アップ・ツー・デイトな情報を講義において触れることに意を用いたいと考えている。本講義受講中、そして受講後においても、テレビ・ラジオ・インターネット・新聞如何なる媒体でもかまわないので、日々の政治関連のニュース等に注意を払うことが重要である。</p>		
学生による授業評価(VOICE)への教員からの応答 / Responses to VOICE			

講義年度 / Year	2022年度		
科目名 / Course Title	コンピューター入門 (X1)		
英文科目名 / Course Title (Eng.)	Introduction to Computers (X1)		
教員 / Instructor	浅原 房夫 (Asahara, Fusao)		
分野 / Division	共通科目一般 選択/GL EL	開講学期 / Semester	春学期
配当年次 / Grade	1年	単位数 / Credits	2単位
研究室 / Office		連絡先 / E-mail	asahara-f@tama.ac.jp
授業で使用する言語 / Language Used in Class	<input checked="" type="checkbox"/> 日本語のみ <input type="checkbox"/> 英語のみ <input type="checkbox"/> 日本語と英語併用 (日本語と英語の比率) <input type="checkbox"/> その他外国語		

ディプロマ・ポリシーとの対応 / Relationship with DP	<p>◎(1) 知識と理解 【グローバル社会に対する理解】</p> <p>一(2) 思考と判断 【考え抜く力】</p> <p>一(3) 関心と意欲 【社会の発展に貢献する力】</p> <p>○(4) 表現と技能 【役割分担により組織目標の達成に貢献する力】</p> <p>一(5) 高い志 【環境対応能力と先進性】</p>
アクティブ・ラーニングの手法 / Methods of Active Learning	<input type="checkbox"/> マークディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> フィールドワーク <input checked="" type="checkbox"/> 実習
到達目標 / Course Goals	<p>The course aim to equip students with the basic computer skills and knowledge necessary for the curriculums of this university, and after graduation when they are employed. The aim of this lecture is that, by the end of the semester, students not only become knowledgeable of how to use a computer without any problems for submitting future reports and making presentations in their 2nd year, but also to have sufficient IT skills to help people around them.</p> <p>大学生として必要なパソコンの操作を教えます。</p> <p>とにかくパソコンに慣れること、必要な知識をどんどん増やしていくことに努めます。</p> <p>ただし、入学時のパソコン知識が不十分でもかまいません。</p> <p>2年生以降の学習、就職に必要な基礎的なパソコンスキルを身につけること、就職活動、就職後のパソコン使用に不便がないレベルを目標にします。</p>
講義の概要 / Course Description	<p>Students will learn these practical computer skills by working on the actual computer.</p> <p>Computer Skills: Operation of the keyboard, essay and business document writing using Microsoft Word, creating and editing charts on Microsoft Excel, processing data and creating graphs on Excel, presentation using Microsoft PowerPoint, using emails both on Google Chrome.</p> <p>プリントやパソコンのファイル (T-NEXTで配布) を使って、教員の模範操作を見て、同じ操作をするという実習です。毎回、その繰り返しです。できるだけパソコンに触る。同じような操作を繰り返して慣れるという実習中心の授業です。</p> <p>パソコン (Windows) の基本操作から始まり、さまざまなソフトウェアは実際に操作して学びます。授業で扱うソフトウェアはブラウザ (Google Chrome) 文書作成 (Word)、表計算 (Excel)、プレゼンテーション (スライド作成) (PowerPoint) などです。それに加えて、キーボードのタイピング (e-Typing) の訓練もします。メール (多摩大Gmail) についても学びます。大人としてビジネスマナーに適ったメール作成を学びます。</p>
準備学習時間・具体的内容 / Preparation study time Specific content	<p>You will need to prepare and review at home, about 3 hours per week.</p> <p>Please be sure to bring your Tama University password to the first class.</p> <p>At home, all you need to do is to do the practice the files distributed by your teacher on T-NEXT as assignments.</p> <p>週3時間程度の自宅での予習・復習の時間が必要です。</p> <p>初回の授業では多摩大学のパスワードを必ず持ってきてください。</p> <p>初回から、多摩大学の学習管理システム (T-NEXT) を使い、メール (多摩大Gmail) の設定をします。宿題である課題提出もありますが、それが復習になるので、課題以外の復習はいりません。すべての課題をやれば、十分な学習ができたこととなりますが、課題は多いので、全部やるのはたいへんです。そこで提出自由の課題も用意しました。提出自由の課題は課題を提出しなくても単位を落とすということにはなりません。提出すると評価が上がります。</p>
フィードバックの要領 / Detail of feedback	<p>Each week, you will create files in the lab and submit it as an attachment by email. You will also write your impressions of each class.</p> <p>Questions can be asked at the end of the class. You can also come to the computer lab after class that day to ask questions and receive guidance directly from your teacher..</p> <p>毎週、実習で課題 (ファイル) を作成し、それを添付書類にして、メールで提出します。授業の感想も毎回書くこととなります。質問は授業の最後の時間でできます。その日の授業後にパソコン演習室に来て、講師に直接、質問をして、指導を受けることもできます。</p>
週ごとの授業計画 / Weekly Schedule	<p>Week 1: T-NEXT and Tama University Gmail</p> <p>第1週: T-NEXTと多摩大Gmail</p> <p>Students will learn to submit class materials and assignments on T-NEXT. Set up a signature in Gmail. Learn to compose, send and receive emails (To, CC, BCC).</p> <p>T-NEXTでの授業資料、課題提出を学びます。</p> <p>また、多摩大Gmailに署名の設定をします。メールの作成、送受信 (To,CC,BCC) を学びます。</p> <p>Week 2: touch type</p> <p>第2週: タイピング</p> <p>Touch typing is "typing quickly, accurately, and without looking at the keyboard.</p> <p>タッチタイピングを学びます。「キーボードを見ないで、正確に、早く打つ」ことです。</p> <p>Week 3: Make documents</p> <p>第3週: 文書作成</p> <p>Microsoft Word. You will learn the ordinary method to input characters, not in the style you might have taught yourself.</p> <p>文書作成ソフト (Word) で文書作成を学びます。</p> <p>Week 4: Make various documents</p> <p>第4週: 文書編集</p>

	<p>Learn to edit a variety of documents. さまざまな文書の編集を学びます。</p> <p>Week 5: Use of documents 第5週：文書の活用 用途の異なる文書を画像編集やレイアウト機能を活用して作成します。 Students create documents for different purposes by using image editing and layout functions.</p> <p>Week 6: Introduction to Spreadsheets 第6週：表計算入門 Learn the basic operations of spreadsheet software (Microsoft Excel). Create a table. 表計算ソフト（Excel）の基礎的な操作を学びます。表を作成します。</p> <p>Week 7: Basics of Spreadsheets 第7週：表計算基礎 Learn table design functions and create fine 30tables. 表のデザイン機能を学び、レイアウトのきれいな表を作成します。</p> <p>Week 8: Use of spreadsheets 第8週：表計算活用 Students will learn mathematical expressions and basic functions. 数式や基礎的な関数を学びます。</p> <p>Week 9: Graphing of Spreadsheets 第9週：表計算グラフ作成 Learn to create various types of graphs. いろいろなグラフの作成を学びます。</p> <p>Week 10: Advanced use of spreadsheets 第10週：表計算応用 Learn complex formulas and advanced functions. 複雑な数式や高度な関数を学びます。</p> <p>Week 11: Database 第11週：表計算データベース Students will learn to use spreadsheets as database. データベースとしての表計算ソフトの利用を学びます。</p> <p>Week 12: Basic presentation 第12週：プレゼンテーション基本 Learn the basics of Presentation and how to use PowerPoint. スライド作成の基礎を学びます。PowerPointの操作方法を学びます。</p> <p>Week 13: Use of Presentation 第13週：プレゼンテーション応用 Create expressive Presentation. 表現力のあるスライドを作成します。</p> <p>Week 14: Use of multiple applications 第14週：複数のソフトの活用 We will learn how to use the various software we have learned so far in conjunction with each other. これまで学んだいろいろなソフトを連動した使い方を学びます。</p> <p>Week 15: Re-check your skills 第15週：復習 Assignments will be handed out and students will be checked to see where they did not study sufficiently. We will also discuss how to study in the future and introduce the computer certification exams (MOS). 課題を配布して、十分に勉強できなかったところがどこかをチェックします。 また、今後の学習のしかたおよびパソコンの資格試験（MOS）の紹介をします。</p>
週ごとの授業計画 2 / Weekly Schedule 2 ※上段、文字数超過分を記載	
教科書 / Textbook	<p>No Textbook. Handouts will be distributed. If you are absent, I will place the printouts in PDF format in the class materials on T-NEXT so that you can do some study at home. I will also distribute the files used for the weekly practice in the class materials on T-NEXT. 教科書はありません。 プリントを配布します。欠席した場合は、T-NEXTの授業資料にプリントをPDFで置いておくので、自宅である程度の学習ができます。 また、毎週の実習に使うファイルをT-NEXTの授業資料で配付します。 課題もT-NEXTの課題提出を使います。</p>
指定図書 / Course Readings	None. 特にありません。
参考文献 / Reference List	<p>None. 特にありません。 Depending on the student's question, we introduce different fields. For example, if the question is "I want to take a certification exam," we will introduce reference books in that field. If the question is "I want to learn more about programming, which I learned in high school information processing," we will introduce books according to the programming language learned in high school. 学生の質問に応じて、分野ごとに紹介します。例えば「資格試験を受験したい」という質問がその分野の参考書を、「高校の情報処理で学んだプログラミングをもっと学びたい」ということなら、高校の時に学んだプログラミング言語にあわせて、書籍を紹介します。</p>
評価方法 / Method of Evaluation	<p>Class Participation 40% ※You have to send an email with the file you created in the exercise as an attachment. This is the evaluation of that file. Tasks: 30%</p>

	<p>※Create files by homework and send it to the T-NEXT assignment submission. Final exam: 30%</p> <p>平常点 40%</p> <p>※出席点ではなく、毎回授業後に実習で作成したファイルを添付書類にして、メールを送ります。そのファイルの評価です。 ※たとえば体調不良などで欠席した場合でも、授業資料を見て課題を作成すれば、一定の評価します。</p> <p>課題 30%</p> <p>※宿題として自宅でやる課題です。T-NEXTの課題提出でファイル送信をします。 定期試験 30% ※学期末試験をおこないます。</p>		
事前履修科目等 / Prerequisite	None. ありません。		
実務経験 / Work Experiences	有	授業への実務経験の活用 / Practical Contents	IT企業において、ITコンサルタント、企業のホームページ制作業務を担当してきた経験を 生かして、実践的なコンピューターリテラシーを伝授する。
留意点 / Additional Information	None. 特にありません。		
学生による授業評価(VOICE)への 教員からの応答 / Responses to VOICE			

講義年度 / Year	2022年度		
科目名 / Course Title	情報処理I (B)		
英文科目名 / Course Title (Eng.)	Information Processing I (B)		
教員 / Instructor	浅原 房夫 (Asahara, Fusao)		
分野 / Division	IS 選択/IS EL	開講学期 / Semester	秋学期
配当年次 / Grade	2年	単位数 / Credits	4単位
研究室 / Office	212	連絡先 / E-mail	asahara-f@tama.ac.jp
授業で使用する言語 / Language Used in Class	<input checked="" type="checkbox"/> 日本語のみ <input type="checkbox"/> 英語のみ <input type="checkbox"/> 日本語と英語併用（日本語と英語の比率） <input type="checkbox"/> その他外国語		

ディプロマ・ポリシーとの対応 / Relationship with DP	<p>一(1) 知識と理解【グローバル社会に対する理解】</p> <p>一(2) 思考と判断【考え抜く力】</p> <p>一(3) 関心と意欲【社会の発展に貢献する力】</p> <p>◎(4) 表現と技能【役割分担により組織目標の達成に貢献する力】</p> <p>○(5) 高い志【環境対応能力と先進性】</p>
アクティブ・ラーニングの手法 / Methods of Active Learning	<input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> フィールドワーク <input checked="" type="checkbox"/> 実習
到達目標 / Course Goals	<p>This course aims to nurture global human resources who can respond quickly to the development of global information society, with strong execution abilities and skills. The goal of this course is to acquire the efficient skills of word processing software which is one of the basic tools required for the academic studies and various business purposes. Students will acquire the ability of passing the MOS (Microsoft Office Specialist) exam of Word on the general specialist level.</p> <p>本科目はグローバル化、情報化社会の進展に即応して、強い実行力・スキルを備えたグローバル人材を育成することを目的としている。到達目標は、大学の学習生活に不可欠、かつ社会に出てからも活用できる情報処理の基本ツールとされる文書処理ソフトウェアの基本的な操作方法を習得し、さまざまな機能を効果的に使いこなすスキルが身に付けることにより、表現力がある文書を効率よく作成できることである。世界で通じる国際資格MOS（マイクロソフトオフィススペシャリスト）試験のWordスペシャリストレベル（一般レベル）に合格できるレベルに達する。</p>
講義の概要 / Course Description	<p>This course focuses on the literacy of information processing, which is necessary not only in the academic studies during the student lives, such as writing reports or graduation theme, but also for various business activities after students graduate and enter the business society. In this course, students will acquire the skills of using word processing software. They are trained to understand the basic processing methods and acquire the practical skills of Microsoft Word, such as changing sizes and font types of characters, creating and editing tables, printing documents, and so on.</p> <p>この科目では、学生生活でのレポートや卒業論文の作成などに不可欠、かつ社会に出てからもビジネス活動で活用できる情報処理のリテラシー能力を身につける。文書処理ソフトでの情報処理の具体的な操作手法を学ぶ。文字サイズやフォントの変更、表の作成・編集、作成した文書の印刷など、ワードソフトウェアの基本的な編集機能を理解し、スキルを習得する。講習や演習を通じて、MOS資格取得に欠かせない知識を獲得して活用できるように、より深く掘り下げた学習を行う。資格取得することにより、学生がスキル、自信、効率がアップし、学生生活や将来のビジネス日常業務における生産性が高まることにつながる。</p>
準備学習時間・具体的内容 / Preparation study time Specific content	<p>Before class, make sure you fully understand the contents of the previous lecture. It takes at least 3 hours to review the lecture contents, complete the assignments, and prepare for the next lecture.</p> <p>授業前には、前回の講義内容について十分に理解しておくこと。講義内容の復習、課題の完成及び次回講義の準備には、3時間以上の取組が必要。</p>
フィードバックの要領 / Detail of feedback	<p>Give feedback on the assignment by writing a comment.</p> <p>課題に対し、コメントを記入してフィードバックを行う。</p>
週ごとの授業計画 / Weekly Schedule	<p>Week 1: Introduction 第1週：イントロダクション Student Pre-Class Preparation: Have read course descriptions 予習・復習のポイント：シラバスを読んでいること。</p> <p>Week 2: Manage documents #1: Navigate within documents / Format documents ① 第2週：文書の管理 #1: 文書内を移動する/文書の書式を設定する① Student Pre-Class Preparation: Review the lecture content of Week 1 and read Chapter 1 Section 1 to 2 of the textbook. Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline. 予習・復習のポイント：第1週の授業内容を復習し、教科書の第1章第1節から第2節までを読んでおくこと。指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。</p> <p>Week 3: Manage documents #2: Format documents ② / Save and share documents ① 第3週：文書の管理 #2: 文書の書式を設定する②/文書を保存する、共有する① Student Pre-Class Preparation: Review the lecture content of Week 2 and read Chapter 1 Section 2 to 3 of the textbook. Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline. 予習・復習のポイント：第2週の授業内容を復習し、教科書の第1章第2節から第3節までを読んでおくこと。指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。</p> <p>Week 4: Manage documents #3: Save and share documents ② / Inspect documents for issues 第4週：文書の管理 #3: 文書を保存する、共有する②/文書を検査する Student Pre-Class Preparation: Review the lecture content of Week 3 and read Chapter 1 Section 4 of the textbook. Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline. 予習・復習のポイント：第3週の授業内容を復習し、教科書の第1章第3節から第4節までを読んでおくこと。</p>

	<p>指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。</p> <p>Week 5: Insert and format text, paragraphs, and sections: Insert and format text and paragraphs / Create and configure document sections 第5週：文字、段落、セクションの挿入と書式設定: 文字列や段落を挿入する、書式を設定する/文書にセクションを作成する、設定する Student Pre-Class Preparation: Review the lecture content of Week 4 and read Chapter 2 of the textbook. Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline. 予習・復習のポイント：第4週の授業内容を復習し、教科書の第2章を読んでおくこと。 指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。</p> <p>Week 6: Manage tables and lists #1: Create tables / modify tables ① 第6週：表やリストの管理 #1：表を作成する、変更する① Student Pre-Class Preparation: Review the lecture content of Week 5 and read Chapter 3 Section 1 to 2 of the textbook. Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline. 予習・復習のポイント：第5週の授業内容を復習し、教科書の第3章第1節から第2節までを読んでおくこと。 指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。</p> <p>Week 7: Manage tables and lists #2: modify tables ② / Create and modify lists 第7週：表やリストの管理 #2：表を変更する②/リストを作成する、変更する Student Pre-Class Preparation: Review the lecture content of Week 6 and read Chapter 3 Section 2 to 3 of the textbook. Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline. 予習・復習のポイント：第6週の授業内容を復習し、教科書の第3章第2節から第3節までを読んでおくこと。 指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。</p> <p>Week 8: Create and manage references #1: Create and manage reference elements 第8週：参考資料の作成と管理 #1：参照のための要素を作成する、管理する Student Pre-Class Preparation: Review the lecture content of Week 7 and read Chapter 4 Section 1 of the textbook. Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline. 予習・復習のポイント：第7週の授業内容を復習し、教科書の第4章第1節を読んでおくこと。 指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。</p> <p>Week 9: Create and manage references #2: Create and manage reference tables 第9週：参考資料の作成と管理 #2：参照のための一覧を作成する、管理する Student Pre-Class Preparation: Review the lecture content of Week 8 and read Chapter 4 Section 2 of the textbook. Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline. 予習・復習のポイント：第8週の授業内容を復習し、教科書の第4章第2節を読んでおくこと。 指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。</p> <p>Week 10: Insert and format graphic elements #1: Insert illustrations and text boxes / Format illustrations and text boxes ① 第10週：グラフィック要素の挿入と書式設定#1：図やテキストボックスを挿入する/図やテキストボックスを書式設定する① Student Pre-Class Preparation: Review the lecture content of Week 9 and read Chapter 5 Section 1 to 2 of the textbook. Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline. 予習・復習のポイント：第9週の授業内容を復習し、教科書の第5章第1節から第2節までを読んでおくこと。 指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。</p> <p>Week 11: Insert and format graphic elements #2: Format illustrations and text boxes ② / Add text to graphic elements / Modify graphic elements 第11週：グラフィック要素の挿入と書式設定 #2：図やテキストボックスを書式設定する②/グラフィック要素にテキストを追加する/グラフィック要素を変更する Student Pre-Class Preparation: Review the lecture content of Week 10 and read Chapter 5 Section 2 to Chapter 4 Section 2 of the textbook. Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline. 予習・復習のポイント：第10週の授業内容を復習し、教科書の第5章第2節から第4節までを読んでおくこと。 指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。</p> <p>Week 12: Manage document collaboration: Add and manage comments / Manage change tracking 第12週：文書の共同作業の管理： コメントを追加する、管理する/変更履歴を管理する Student Pre-Class Preparation: Review the lecture content of Week 11 and read Chapter 5 Section 2 and 3 of the textbook. Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline. 予習・復習のポイント：第11週の授業内容を復習し、教科書の第6章を読んでおくこと。 指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。</p> <p>Week 13: Overall summary exercises #1: Practice Exam #1 第13週：総まとめ総合演習 #1：模擬試験1回目 Student Pre-Class Preparation: Review the course content and prepare for the final examination. Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline. 予習・復習のポイント：授業内容を復習し、模擬試験1回目に向けて準備すること。 指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。</p> <p>Week 14: Overall summary exercises #2: Practice Exam #2 第14週：総まとめ総合演習 #2：模擬試験2回目 Student Pre-Class Preparation: Review the course content and prepare for the final examination. Complete the designated assignment and submit it from T-Next by the deadline. 予習・復習のポイント：模擬試験1回目を復習し、模擬試験2回目に向けて準備すること。 指定された課題を完成し、提出期限までにT-Nextから提出すること。</p> <p>Week 15: MOS Examination 第15週：MOS試験 Student Pre-Class Preparation: Review the course content and prepare for MOS examination. 予習・復習のポイント：模擬試験1、2回目及び本科目の全内容を復習し、MOS試験に向けて準備すること。</p>
週ごとの授業計画 2 / Weekly Schedule 2 ※上段、文字数超過分を記載	
教科書 / Textbook	『よくわかるマスター MOS Word 365&2019 対策テキスト&問題集』, FOM出版, 2020年.
指定図書 / Course Readings	MOS攻略問題集Word 365&2019, 佐藤 薫, 日経BP, 2020年.

参考文献 / Reference List	授業中に指定する。		
評価方法 / Method of Evaluation	Participation and assignments / 授業参加及び課題:30% Review tests / 復習テスト: 30% Final Exam / 学期末試験: 40%		
事前履修科目等 / Prerequisite	The "Introduction to Computers" course is a prerequisite for this course. 「コンピューター入門」の単位を取得済みであること。		
実務経験 / Work Experiences	有	授業への実務経験の活用 / Practical Contents	IT企業において、ITコンサルタント、企業のホームページ制作業務を担当してきた経験を 生かして、実践的なコンピューターリテラシーを伝授する。
留意点 / Additional Information	<p>The score of each review test and the final exam should be more than the passing score. 単位を取得するには、復習テスト及び学期末試験はすべて合格点以上取れること。</p> <p>Students who would like to register for this course must attend the class in Week 1. 履修希望者は第1週の授業に必ず出席すること。</p> <p>Students who would remotely take the course should use a Windows PC, on which "Microsoft Office Professional Plus 2019" has been installed. オンライン受講する場合は、Windows PCを使用し、「Microsoft Office Professional Plus 2019」がインストールされていること。</p>		
学生による授業評価(VOICE)への 教員からの応答 / Responses to VOICE			

講義年度 / Year	2022年度		
科目名 / Course Title	コミュニケーション (A)		
英文科目名 / Course Title (Eng.)	Communication (A)		
教員 / Instructor	萩原 浩一 (Hagiwara, Hirokazu)		
分野 / Division	HM 選択/HM EL	開講学期 / Semester	春学期
配当年次 / Grade	3年	単位数 / Credits	4単位
研究室 / Office		連絡先 / E-mail	hagiwara@tama.ac.jp
授業で使用する言語 / Language Used in Class	<input checked="" type="checkbox"/> 日本語のみ <input type="checkbox"/> 英語のみ <input type="checkbox"/> 日本語と英語併用 (日本語と英語の比率) <input type="checkbox"/> その他外国語		

ディプロマ・ポリシーとの対応 / Relationship with DP	<ul style="list-style-type: none"> —(1) 知識と理解【グローバル社会に対する理解】 —(2) 思考と判断【考え抜く力】 ◎(3) 関心と意欲【社会の発展に貢献する力】 —(4) 表現と技能【役割分担により組織目標の達成に貢献する力】 ○(5) 高い志【環境対応能力と先進性】
アクティブ・ラーニングの手法 / Methods of Active Learning	<input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実習
到達目標 / Course Goals	<p>To help students understand and learn the issues below and acquire 'enhanced powers of expression', and then learn to give appealing presentations.</p> <ul style="list-style-type: none"> - Self-expression---how to express himself/herself - The power of speech represents the lifestyle - The words of speech can appeal to listeners - Respect is the basics of communication - Communication with which people feel happy - People can foster rich humanity by way of communication <p>この講義の目的は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己表現力、自分をどのように表現できるか。 ・話す力は、人間の生き方(人生)をあらわしている。 ・話し手の言葉は、聴き手の心に訴える。 ・人への敬意が、コミュニケーションの基本。 ・それぞれが幸福を感じるコミュニケーション。 ・コミュニケーションを通じ、人間性を磨くことができる。 ・日本のことに興味をもつ。 ・正しい日本語能力を高める。 <p>などを学び、理解し、「鍛えられた表現力」を身につけ、魅力的なプレゼンテーションができることを目指す。</p>
講義の概要 / Course Description	<p>In our current global society, sophisticated communication skills are needed today more than ever. It is important to build a good and positive human relation in order to enhance communication ability. This course will provide an introduction of communication and then explore it with an emphasis on practice and in-class performance. It also aims to enhance students' communication ability in Japanese language. This course will focus on lectures by communication professionals such as radio DJs, TV DJs, and Events MCs.</p> <p>グローバル社会の現代ほど、コミュニケーションの技術が求められている時代はない。コミュニケーション力を高めるために大切なことは、質の高い素晴らしい人間関係を築いていくことである。コミュニケーションの基礎から発展し、実技・実践を伴いながら進めていく。併せて、日本語の表現力を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラジオ番組のDJ & パーソナリティー、テレビ番組のキャスター&ナビゲーター、イベントなどのMCから学ぶコミュニケーション講座。
準備学習時間・具体的内容 / Preparation study time Specific content	<ul style="list-style-type: none"> ・ Read the textbook in advance. (1 hour) ・ Be sure to check events such as news in Japan and abroad every day to know the current social situation. (Check with terrestrial TV programs and radio programs, not information such as smartphones) (1.5 hours) ・ Pronunciation / vocal practice (0.5 hours) ・ 教科書は、事前に読んでおくこと。(1時間) ・ 毎日、日本国内&海外のニュースなどの出来事を必ずチェックして、現在社会の状況について知っておくこと。(スマホなどの情報ではなく、地上波のテレビ番組、ラジオ番組でチェックする)(1、5時間) ・ 発音・発声練習(0、5時間)
フィードバックの要領 / Detail of feedback	<p>The Instructor will give feedback on subjects and others.</p> <p>課題等に対しては、フィードバックをします。</p>
週ごとの授業計画 / Weekly Schedule	<p>Week 1: Orientation</p> <p>第1週: オリエンテーション</p> <p>予習・復習のポイント: 講義概要を事前に読むこと。何事にも興味を持ち、目標を持って、前向きに講義に臨むこと。発声練習・発音練習。フリートーク・アドリブ他。</p> <p>Students Pre-Class Preparation: Read the lecture outline in advance. Be interested in everything, have goals, and attend lectures positively. Vocalization practice / pronunciation practice. Free talk ad lib and others.</p> <p>Week 2: Basic technology for speaking 1</p> <p>第2週: 話すための基礎技術1</p> <p>予習・復習のポイント: 発声練習・発音練習。教科書の指示したところを事前に読んでくること。スポーツ新聞を読む。フリートーク・アドリブ他。</p> <p>Student Pre-Class Preparation: Vocalization practice / pronunciation practice. Read in advance what the textbook says. Read a sports newspaper. Free talk ad lib and others.</p>

Week 3: Basic technology for speaking 1

第3週：話すための基礎技術2

予習・復習のポイント：発声練習・発音練習。教科書の指示したところを事前に読んでくること。新聞（朝刊）を読む。フリートーク・アドリブ他。

Student Pre-Class Preparation: Vocalization practice / pronunciation practice. Read in advance what the textbook says. Read the newspaper (morning edition). Free talk ad lib and others.

Week 4: Basic technology of listening ability 1

第4週：聴く力の基礎技術1

予習・復習のポイント：発声練習・発音練習。教科書の指示したところを事前に読んでくること。ラジオ番組・ラジオCMを聴く。フリートーク・アドリブ他。

Student Pre-Class Preparation: Vocalization practice / pronunciation practice. Read in advance what the textbook says. Listen to radio programs and commercials. Free talk ad lib and others.

Week 5: Basic technology of listening ability 2

第5週：聴く力の基礎技術2

予習・復習のポイント：発声練習・発音練習。教科書の指示したところを事前に読んでくること。テレビ番組・テレビCMを視る。フリートーク・アドリブ他。

Student Pre-Class Preparation: Vocalization practice / pronunciation practice. Read in advance what the textbook says. Watch TV programs and commercials. Free talk ad lib and others.

Week 6: Modern language circumstances

第6週：現代ことば事情

予習・復習のポイント：発声練習・発音練習。教科書の指示したところを事前に読んでくること。新聞（夕刊）を読む。新聞チラシ広告を読む。フリートーク・アドリブ他。

Student Pre-Class Preparation: Vocalization practice / pronunciation practice. Read in advance what the textbook says. Read the newspaper (evening edition). Read newspaper leaflet advertisements. Free talk ad lib and others.

Week 7: Honorific expressions

第7週：敬語表現

予習・復習のポイント：発声練習・発音練習。教科書の指示したところを事前に読んでくること。もし家にあれば、中学校の国語の教科書「敬語」のところを読んでくること。クレーム処理のコミュニケーション、フリートーク・アドリブ他。

Student Pre-Class Preparation: Vocalization practice / pronunciation practice. Read in advance what the textbook says. If you have the junior high school national language textbook, read the "Honorifics". Claim processing communication, Free talk ad lib and others.

Week 8: Intermediate review

第8週：中間復習

予習・復習のポイント：発声練習・発音練習。教科書の今まで学んだところを、もう一度読んでくること。クレーム処理のコミュニケーション、フリートーク・アドリブ他。

Student Pre-Class Preparation: Vocalization practice / pronunciation practice. Reread what you have learned so far in the textbook. Claim processing communication, Free talk ad lib and others.

Week 9: Private Speaking & Public Speaking 1

第9週：プライベートスピーキング&パブリックスピーキング1

予習・復習のポイント：発声練習・発音練習。教科書の指示したところを事前に読んでおくこと。自分の長所・短所などをわかりやすくまとめておくこと。現在の政治状況を確認しておくこと。新聞（朝刊・夕刊）を読む。フリートーク・アドリブ他。

Student Pre-Class Preparation: Vocalization practice / pronunciation practice. Read in advance what the textbook says. Summarize your strengths and weaknesses in an easy-to-understand manner. Check the current political situation. Read newspapers (morning and evening editions). Free talk ad lib and others.

Week 10: Private Speaking & Public Speaking 2

第10週：プライベートスピーキング&パブリックスピーキング2

予習・復習のポイント：発声練習・発音練習。教科書の指示したところを事前に読んでおくこと。自分の趣味・特技などをわかりやすくまとめておくこと。現在の経済状況を確認しておくこと。新聞（朝刊・夕刊）を読む。フリートーク・アドリブ他。

Student Pre-Class Preparation: Vocalization practice / pronunciation practice. Read in advance what the textbook says. Summarize your hobbies and special skills in an easy-to-understand manner. Check the current economic situation. Read newspapers (morning and evening editions). Free talk ad lib and others.

Week 11: Presentation 1

第11週：プレゼンテーション1

予習・復習のポイント：発声練習・発音練習。教科書の指示したところを事前に読んでおくこと。タウン誌・タウン新聞を読む。市町村の広報紙を読む。自分の住んでいる（または故郷の）市町村について学んでおくこと。【市町村の観光PRトーク】

Student Pre-Class Preparation: Vocalization practice / pronunciation practice. Read in advance what the textbook says. Read town magazines and town newspapers. Read the public relations paper of the municipality. Learn about the city you live in (or your hometown). [Municipal tourism PR talk]

Week 12: Presentation 2

第12週：プレゼンテーション2

予習・復習のポイント：発声練習・発音練習。教科書の指示したところを事前に読んでおくこと。情報誌を読む。都道府県の広報紙を読む。自分の住んでいる（または故郷の）都道府県について学んでおくこと。【都道府県の観光PRトーク】、フリートーク・アドリブ他。

Student Pre-Class Preparation: Vocalization practice / pronunciation practice. Read in advance what the textbook says. Read an information magazine. Read the prefectural public relations paper. Learn about the prefecture in which you live (or your hometown). [Prefecture Tourism PR Talk] Free talk ad lib and others.

Week 13: Communication 1

第13週：コミュニケーション1

予習・復習のポイント：発声練習・発音練習。教科書の指示したところを事前に読んでおくこと。テレビ番組（旅行番組・対談番組・インタビュー番組など）を視る。【日本の観光PRトーク】他。

Student Pre-Class Preparation: Vocalization practice / pronunciation practice. Read in advance what the textbook says. Watch TV programs (travel programs, talk shows, interview programs, etc.). [Japanese tourism PR talk] and others.

Week 14: Communication 2

第14週：コミュニケーション2

予習・復習のポイント：発声練習・発音練習。教科書の指示したところを事前に読んでおくこと。ラジオ番組を聴く。専門雑誌などを読む。【自分の好きな国・興味のある国の観光PRトーク】フリートーク・アドリブ他。

	<p>Student Pre-Class Preparation: Vocalization practice / pronunciation practice. Read in advance what the textbook says. Listen to a radio program. Read specialized magazines. [Tourism PR talk for your favorite country / country you are interested in] Free talk ad lib and others.</p> <p>Week 15: Summary 第15週：まとめ 予習・復習のポイント：発声練習・発音練習。教科書の今まで学んだところを、じっくり何回も読んでくること。フリートーク・アドリブのまとめ他。 自分の故郷（住んでいるところ）、市町村、都道府県、日本国内、世界各国・地域の観光について（予習・復習）学んで、観光PRトークのまとめ。</p> <p>Student Pre-Class Preparation: Vocalization practice / pronunciation practice. Read the textbooks you have learned so far over and over again. Learn about tourism in your hometown (where you live), municipalities, prefectures, Japan, countries and regions around the world (preparation / review), and summarize the tourism PR talk.</p>		
週ごとの授業計画 2 / Weekly Schedule 2 ※上段、文字数超過分を記載			
教科書 / Textbook	櫻井弘著【人を巻き込むコミュニケーション技術~その気にさせる仕事のさばき方~】		
指定図書 / Course Readings	無し None		
参考文献 / Reference List	無し None		
評価方法 / Method of Evaluation	Class Participation (class attitude, things left behind, speaking ability, presentation ability, etc.) 50% Submissions (large reports, small reports, etc.) 50% 平常点（授業態度、忘れ物、発言力、発表力など）50% 提出物（大レポート、小レポートなど）50%		
事前履修科目等 / Prerequisite	無し None		
実務経験 / Work Experiences	有	授業への実務経験の活用 / Practical Contents	ラジオ番組でのDJ & パーソナリティ & テレビ番組キャスター & MC、各企業・団体のPR大使、タレント等としての経験を活かし、実践的なコミュニケーションのスキルについて学ぶ。
留意点 / Additional Information	<p>This course will be conducted in Japanese. It is conducted in an analog format class.</p> <ul style="list-style-type: none"> For whatever reason, you cannot take this course unless you have pre-entry. You cannot take this class unless you attend both of the first classes (April 7). The maximum number of students is 35. (Because there is not enough time for everyone to give a speech during class time.) As a general rule, you should not be absent, but it is not possible until 3 days, and it will be [up to 3 times] out of 30 classes. If you are late, you will be treated as absent. Private language is strictly prohibited. (Do not bother other students.) Students who fall asleep will be forced to leave the room. During class, use of smartphones and mobile phones is prohibited, and you should put it in your bag. (If you can't keep this, you will fail) There is no test. The Instructor will evaluate the speech in the class. Submit the small report (scheduled each time) and the large report 3 times, and the impression of the guest lecturer (scheduled 2 times). If you do not submit all of them, you will fail. Be sure to buy the textbook. Bring it every time. If you do not purchase it, you will fail. Instructions will be given for the contents and details of TV programs, radio programs, newspapers, magazines, etc. Keep the promise. Special lectures by guest lecturers are also planned. Exiting during class is prohibited. (Permission system only in case of poor physical condition) Observe good manners. <p>★ Be sure to bring writing utensils and notebooks. ★ In the case of online lessons or combined online lessons and face-to-face lessons, the weekly lesson plan will be changed.</p> <p>本科目の講義は日本語で行う。 アナログ形式の授業で行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> どんな理由でも、プレエントリーをしていないと履修できません。 初回の4月7日木曜日の1限2限の両方の授業に出席しないと、どんな理由に関係なく、この授業は履修できません。 履修者は35名までとする。（授業時間内に全員にスピーチの時間が取れないため。） 欠席は原則としてしないのが当たり前ですが、3日まで可能ではなく、30回の授業の内、【3回まで】とします。 遅刻は、欠席扱いになる。 私語は厳禁。（まわりの学生に迷惑をかけること。） 居眠りする学生は退室させます。 授業中、スマホ、携帯電話の使用禁止、バックの中にしまうこと。（これ守れないと不合格） 試験は行いません。授業でのスピーチの点数、小レポート（毎回予定）と大レポートを3回提出と、ゲスト講師（2回予定）の感想文を提出、全部提出しないと不合格。 教科書は必ず購入のこと。毎回持参。購入無いは、不合格。 テレビ番組、ラジオ番組、新聞、雑誌などの内容・詳細については、その都度指示する。 約束事を守る。 ゲスト講師の特別講義も予定。 授業中の退室は禁止。（体調不良の場合のみ許可制） 礼儀マナーを守ること。 <p>★筆記用具、ノートを必ず用意してください。 ★オンライン授業、またはオンライン授業・対面式授業併用の場合は、週の授業計画が変更になります。</p>		
学生による授業評価(VOICE)への教員からの応答 / Responses to VOICE			

講義年度 / Year	2022年度		
科目名 / Course Title	ホスピタリティ・マネジメントⅠ(A)		
英文科目名 / Course Title (Eng.)	Hospitality Management I (A)		
教員 / Instructor	奥村 裕美 (Okumura, Hiromi)		
分野 / Division	HM 選択/HM EL	開講学期 / Semester	春学期
配当年次 / Grade	2年	単位数 / Credits	2単位
研究室 / Office		連絡先 / E-mail	okumura@tama.ac.jp
授業で使用する言語 / Language Used in Class	<input checked="" type="checkbox"/> 日本語のみ <input type="checkbox"/> 英語のみ <input type="checkbox"/> 日本語と英語併用（日本語と英語の比率） <input type="checkbox"/> その他外国語		

ディプロマ・ポリシーとの対応 / Relationship with DP	<p>◎(1) 知識と理解【グローバル社会に対する理解】</p> <p>一(2) 思考と判断【考え抜く力】</p> <p>○(3) 関心と意欲【社会の発展に貢献する力】</p> <p>一(4) 表現と技能【役割分担により組織目標の達成に貢献する力】</p> <p>一(5) 高い志【環境対応能力と先進性】</p>
アクティブ・ラーニングの手法 / Methods of Active Learning	<input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション（その時・その週に話題になった国内外の情勢を含めテーマを出す） <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク（各週のテーマを元に話し合い発表） <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション（立候補により各自それぞれのテーマに沿った内容で資料を制作し発表する） <input checked="" type="checkbox"/> フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実習
到達目標 / Course Goals	<p>The course goals are:</p> <p>1 Aiming to be an international person with global-local thinking</p> <p>2 Focus to the way tourism and notice the charm of the area</p> <p>3 Deepen awareness and understanding of what hospitality is</p> <p>本コースの到達目標</p> <p>1 グローカルな思考を持つ国際人を目指す</p> <p>2 観光と地域の魅力に気付く</p> <p>3 おもてなしとはなにか、自覚、理解を深める</p>
講義の概要 / Course Description	<p>In this course, we will focus on tourism and discover the charm of the area and aim to be a person who think globally and act locally. Learn the spirit of hospitality and the way of thinking and attitude to become an attractive international person. As for a content, we will invite outside lecturers who are active in the tourism fields and also will go to Enoshima for fieldwork to see and notice the hospitality at tourist destinations. After a field research, we hold group discussions and presentations to confirm and summarize each awareness.</p> <p>この講義では、観光にフォーカスし、地域の魅力を発見すること。 Think globally, act locally! を目指し、おもてなしの心や魅力的な国際人となるための考え方や心構えを学ぶ。 講義の内容としては、観光分野で活躍中の外部講師を招いて現場のケーススタディー、江の島などにフィールドワークに出かけ、観光地のおもてなしについて実際に見聞きし、グループディスカッションやプレゼンテーションにて学生それぞれの気付きの確認とまとめを行う。</p>
準備学習時間・具体的内容 / Preparation study time Specific content	<p>Submit assignments / homework</p> <p>Presentation preparation</p> <p>Submission of invited lectures' lecture summary and impressions</p> <p>Summary of discoveries in fieldwork</p> <p>課題・宿題の提出</p> <p>プレゼンテーション準備</p> <p>外部講師による講義のまとめ、感想提出</p> <p>フィールドワークでの発見の発表（1.5時間以上を要する）</p>
フィードバックの要領 / Detail of feedback	<p>Feedback on submissions, questions, next class contents, etc.</p> <p>提出物、質問、次週のクラス内容等のフィードバックを行う</p>
週ごとの授業計画 / Weekly Schedule	<p>講義の内容や順序については、外部講師の都合、天候、その他の状況次第で変更される場合があります。/The order and contents of the lectures may change depending on the outside lecturer, the weather, and other circumstances.</p> <p>Week 1 : Orientation of course outline Homework : Research a tourism hospitality 第1週 講義概要オリエンテーション 予習：観光おもてなしとは何かを考えてくる。</p> <p>Week 2 Discussion of tourism hospitality Case study Tourism in Fujisawa Homework : Think about tourism in Fujisawa and listing up the charms of the area 第2週 観光おもてなしについて意見交換 藤沢市の観光について 予習：地域、藤沢の観光の魅力をリストアップしてくる。</p> <p>Week 3 Summarize the tourism attractions in Fujisawa Homework : Think about the charm of local tourism destination Enoshima 第3週 藤沢の観光の魅力についてのまとめ 予習：江の島の観光おもてなしについてリストアップする</p> <p>Week 4 & 5 Fieldwork at Enoshima, discover the hospitality of tourism Homework : After the fieldwork, prepare a presentation: "Tourism Hospitality in Enoshima" 第4週および5週 江の島フィールドワーク 観光おもてなしについて発見する 予習：江の島の観光おもてなしについて感じたことプレゼンテーション準備</p>

	<p>Week 6 Presentation Tourism Hospitality in Enoshima that you felt in the fieldwork Homework : List up any questions about tourism in Enoshima 第6週 フィールドワークで感じた江の島観光おもてなしについてのプレゼンテーション発表 予習 : 江の島の観光における疑問点をリストアップ</p> <p>Week 7 Have a lecture by an outside lecturer Questions about tourism in Enoshima 第7週 外部講師 (江の島観光関係者) からのお話 江の島の観光についての質疑</p> <p>Week 8 Group work : Summarize tourism of Fujisawa Enoshima and local attractions Homework : Think about hospitality for tourists from overseas 第8週 グループワーク : 藤沢、江の島の観光、地域の魅力についてまとめる 予習 : 海外からの観光客へのおもてなしについて考えてくる</p> <p>Week 9 Have a lecture by an outside lecturer Questions about hospitality for tourists from overseas Homework : Summarize report what you noticed in the lecture of an outside lecturer 第9週 外部講師 (インバウンド事業活動家) からのお話 海外からの観光客へのおもてなしについての質疑 宿題 : 外部講師の講義まとめ感想レポート作成</p> <p>Week10 Homework submission and discussion Homework : Thinking about tourist inbound business 第10週 宿題レポート提出 振り返り 予習 : 観光誘客インバウンドビジネスについて考えてくる。</p> <p>Week 11 Lecture by an outside lecturer inbound business CEO Question about inbound business Homework : Summarize report what you noticed in the lecture of an outside lecturer 第11週 外部講師 (インバウンド事業CEO) からのお話 インバウンドビジネスについての質疑 宿題 : 外部講師の講義まとめ感想レポート作成</p> <p>Week 12 Homework submission and discussion Homework : Think about tourism hospitality and manners 第12週 宿題レポート提出 振り返り 予習 : 観光おもてなしとマナーについて考えてくる。</p> <p>Week 13 Tourism hospitality and manners Homework : Think about how to appeal the charm of the area to the public 第13週 観光おもてなしとマナーについて 予習 : 地域の魅力の発信方法について考えてくる</p> <p>Week 14 Understand the charm of the region and disseminate it to the world Homework : Take a picture of the area you can be proud of in Fujisawa city 第14週 地域の魅力を知り、世界に発信する 宿題 : 藤沢市内の自慢できる地域観光写真を撮ってくる。</p> <p>Week 15 A presentation that the reason the photos you took can be proud of to the world Concluding remarks 第15週 自分が撮った写真とその魅力の理由を世界に発信するプレゼンテーション まとめ</p>			
週ごとの授業計画 2 / Weekly Schedule 2 ※上段、文字数超過分を記載				
教科書 / Textbook	Prepare the text for each class / 随時資料を配布			
指定図書 / Course Readings	None / なし			
参考文献 / Reference List	Introduced in class / 授業で紹介			
評価方法 / Method of Evaluation	<ol style="list-style-type: none"> 1. Learning attitude/ 学習態度 : 10% 2. Motivated/ 意欲 : 10% 3. Presentation/ 発表 : 20% 4. Homework・report/ 予習・宿題・レポート提出 : 30% 5. Final Exam/ 期末テスト : 30% 			
事前履修科目等 / Prerequisite	None / なし			
実務経験 / Work Experiences	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; text-align: center;">有</td> <td style="width: 30%; text-align: center;">授業への実務経験の活用 / Practical Contents</td> <td style="width: 50%;">藤沢市観光協会インバウンド担当課長等の現場での経験を活かし、まずは地域の魅力を知り、おもてなしの心を持つ国際人となるための知見の機会を提供する。</td> </tr> </table>	有	授業への実務経験の活用 / Practical Contents	藤沢市観光協会インバウンド担当課長等の現場での経験を活かし、まずは地域の魅力を知り、おもてなしの心を持つ国際人となるための知見の機会を提供する。
有	授業への実務経験の活用 / Practical Contents	藤沢市観光協会インバウンド担当課長等の現場での経験を活かし、まずは地域の魅力を知り、おもてなしの心を持つ国際人となるための知見の機会を提供する。		
留意点 / Additional Information	<ol style="list-style-type: none"> 1. Those who wish to take the course should attend the first class of the first week. 履修希望者は第1週第1回目の授業に必ず出席すること。 2. Students should take 2 classes of fieldwork at Enoshima in this course. 江の島フィールドワークには必ず参加すること (授業2回分) 			

	3. Submit the reports of the outside lecturers in this course 外部講師の講義レポートは必ず提出すること
学生による授業評価(VOICE)への 教員からの応答 / Responses to VOICE	

講義年度 / Year	2022年度		
科目名 / Course Title	ホスピタリティ・マネジメントⅡ (A)		
英文科目名 / Course Title (Eng.)	Hospitality Management II (A)		
教員 / Instructor	藤本 正俊 (Fujimoto, Masatoshi) ※暫定		
分野 / Division	HM 選択/HM EL	開講学期 / Semester	春学期
配当年次 / Grade	2年	単位数 / Credits	2単位
研究室 / Office		連絡先 / E-mail	fujimoto@tourism.jp※暫定
授業で使用する言語 / Language Used in Class	<input checked="" type="checkbox"/> 日本語のみ <input type="checkbox"/> 英語のみ <input type="checkbox"/> 日本語と英語併用 (日本語と英語の比率) <input type="checkbox"/> その他外国語		

ディプロマ・ポリシーとの対応 / Relationship with DP	<ul style="list-style-type: none"> —(1) 知識と理解【グローバル社会に対する理解】 ○(2) 思考と判断【考え抜く力】 ◎(3) 関心と意欲【社会の発展に貢献する力】 —(4) 表現と技能【役割分担により組織目標の達成に貢献する力】 —(5) 高い志【環境対応能力と先進性】
アクティブ・ラーニングの手法 / Methods of Active Learning	<input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実習
到達目標 / Course Goals	<p>Course objectives are:</p> <ul style="list-style-type: none"> - To learn the basic theory of hospitality and the service marketing - To understand the whole of tourism business and travel agency - To develop the ability to problem recognition, hypothesis setting for solution and planning, presentation - To gain valuable job hunting experience <ul style="list-style-type: none"> ・ホスピタリティ、サービス・マーケティングの基礎的な理論を学ぶ。 ・観光事業全般と旅行業について理解する。 ・実践の場を通じて、課題の発掘、仮説設定、企画立案、プレゼンテーションスキルを身につける。 ・就職活動時に役立つ「経験」をする。
講義の概要 / Course Description	<ul style="list-style-type: none"> - To understand the tourism industry as a whole and characteristics of the business travel industry. - To learn the basic theory of Hospitality and service marketing - In fact, doing fieldwork in specific region, excavation of the issue, hypothesis setting, planning, training to make a presentation. <ul style="list-style-type: none"> ・観光産業の全体像を把握した上で、旅行業の業務内容と特性について理解する。 ・ホスピタリティ、サービス・マーケティングの基礎的な理論を学ぶ。 ・実際に、特定エリアのフィールドワークを行って、課題の発掘、仮説設定、企画立案、プレゼンテーションまでのトレーニングを行う。
準備学習時間・具体的内容 / Preparation study time Specific content	<p>Read the lecture materials uploaded on T-Next in advance (1.5 hours).</p> <p>Prepare an assignment sheet outside of class as a review of the lecture content (1.5 hours)</p> <p>T-Nextにアップされている講義資料を事前に読んでおくこと (1.5時間)</p> <p>講義内容の復習として授業外課題シートを作成する (1.5時間)</p>
フィードバックの要領 / Detail of feedback	<p>Provide feedback on the sheets in the lecture.</p> <p>シートに対して講義の中でフィードバックを行う</p>
週ごとの授業計画 / Weekly Schedule	<p>Week 1: Introduction—What is“Kanko”?</p> <p>第1週： イントロダクション</p> <p>Student Pre-Class Preparation: None Required</p> <p>予習・復習のポイント： 特になし</p> <p>Week 2: Service Marketing</p> <p>第2週： サービス・マーケティング</p> <p>Student Pre-Class Preparation: Handouts to be prepared</p> <p>予習・復習のポイント： 配布資料を読んでおくこと</p> <p>Week 3: Service Management</p> <p>第3週： サービス・マネジメント</p> <p>Student Pre-Class Preparation: Handouts to be prepared</p> <p>予習・復習のポイント： 配布資料を読んでおくこと</p> <p>Week 4: Realities of tourism and travel market</p> <p>第4週： 旅行市場動向と観光産業の実態</p> <p>Student Pre-Class Preparation: Handouts to be prepared</p> <p>予習・復習のポイント： 配布資料を読んでおくこと</p> <p>Week 5: Variety of tourism industry (Travel and Lodging Business)</p> <p>第5週： 様々な観光産業 (旅行業・宿泊業)</p> <p>Student Pre-Class Preparation: Handouts to be prepared</p> <p>予習・復習のポイント： 配布資料を読んでおくこと</p> <p>Week 6: Variety of tourism industry (Airline and Railroad Business)</p> <p>第6週： 様々な観光産業 (航空業・鉄道業)</p> <p>Student Pre-Class Preparation: Handouts to be prepared</p>

	<p>予習・復習のポイント：配布資料を読んでおくこと</p> <p>Week 7: Business strategy for the promotion of exchanges between cities and regions (1) 第7週：地域交流ビジネス戦略(1) Student Pre-Class Preparation: Handouts to be prepared 予習・復習のポイント：配布資料を読んでおくこと</p> <p>Week 8: Business strategy for the promotion of exchanges between cities and regions (2) 第8週：地域交流ビジネス戦略(2) Student Pre-Class Preparation: Handouts to be prepared 予習・復習のポイント：配布資料を読んでおくこと</p> <p>Week 9: Business strategy for the promotion of exchanges between cities and regions (3) 第9週：地域交流ビジネス戦略(3) Student Pre-Class Preparation: Handouts to be prepared 予習・復習のポイント：配布資料を読んでおくこと</p> <p>Week 10: Fieldwork 第10週：フィールドワーク Student Pre-Class Preparation: Read through the information on the fieldwork target area 予習・復習のポイント：フィールドワーク対象エリアの観光情報に目を通すこと</p> <p>Week 11: 第11週：グループワーク①(企画作成) Student Pre-Class Preparation: Handouts to be prepared 予習・復習のポイント：配布資料を読んでおくこと</p> <p>Week 12: 第12週：グループワーク②(企画作成) Student Pre-Class Preparation: Handouts to be prepared 予習・復習のポイント：配布資料を読んでおくこと</p> <p>Week 13: 第13週：グループワーク③ Student Pre-Class Preparation: Handouts to be prepared 予習・復習のポイント：配布資料を読んでおくこと</p> <p>Week 14: How to create proposal and presentation technique 第14週：企画書の作成手法とプレゼンテーション技法 Student Pre-Class Preparation: Handouts to be prepared 予習・復習のポイント：配布資料を読んでおくこと</p> <p>Week 15: Presentation Training 第15週：プレゼンテーション実習 Student Pre-Class Preparation: To prepare a proposal that was created in PowerPoint 予習・復習のポイント：パワーポイントで作成した企画書を用意すること</p>		
週ごとの授業計画 2 / Weekly Schedule 2 ※上段、文字数超過分を記載			
教科書 / Textbook	None 特になし(個別の資料を用意します)		
指定図書 / Course Readings	None 特になし(必要に応じて紹介します)		
参考文献 / Reference List	None 特になし(必要に応じて紹介します)		
評価方法 / Method of Evaluation	Active Participation / 積極的な授業参加度: 10% Presentation / 発表: 20% Group Work / グループワーク: 30% Report / レポート: 10% Planning & Presentation at the week 15th class stage / 企画発表(第15週): 30%		
事前履修科目等 / Prerequisite	None 特にありません。		
実務経験 / Work Experiences	有	授業への実務経験の活用 / Practical Contents	大手旅行会社JTBのシンクタンクJTB総合研究所から講師を招き旅行業を含む観光事業全般の事業内容・特性について実際の現場の状況を通して理解することを目指す。
留意点 / Additional Information	Indispensable Participation of Fieldwork and competition. フィールドワーク及びコンテストの出席が必須。 Fieldwork may be changed to a web survey depending on the status of Covid19 countermeasures. Covid19対策の状況によりフィールドワークはWeb調査に変更することがあります		
学生による授業評価(VOICE)への教員からの応答 / Responses to VOICE			

講義年度 / Year	2022年度		
科目名 / Course Title	ホスピタリティ・マネジメントⅢ (A)		
英文科目名 / Course Title (Eng.)	Hospitality Management III (A)		
教員 / Instructor	森 紀人 (Mori, Norihito)		
分野 / Division	HM 選択/HM EL	開講学期 / Semester	春学期
配当年次 / Grade	2年	単位数 / Credits	2単位
研究室 / Office		連絡先 / E-mail	ana-soken@tama.ac.jp
授業で使用する言語 / Language Used in Class	<input checked="" type="checkbox"/> 日本語のみ <input type="checkbox"/> 英語のみ <input type="checkbox"/> 日本語と英語併用 (日本語と英語の比率) <input type="checkbox"/> その他外国語		

ディプロマ・ポリシーとの対応 / Relationship with DP	<p>—(1) 知識と理解【グローバル社会に対する理解】</p> <p>○(2) 思考と判断【考え抜く力】</p> <p>◎(3) 関心と意欲【社会の発展に貢献する力】</p> <p>—(4) 表現と技能【役割分担により組織目標の達成に貢献する力】</p> <p>—(5) 高い志【環境対応能力と先進性】</p>
アクティブ・ラーニングの手法 / Methods of Active Learning	<input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実習
到達目標 / Course Goals	<p>Taking a global perspective on the airline business, one of the hospitality industries, we will analyze the maturity, survival and development of the industry from various angles, and reach “one’s own” realization in airline management, that is to cultivate the ability of problem finding and solving as well as value creation.</p> <p>The course is also designed to offer an introduction to the theory and practice of hospitality management.</p> <p>この講義は、ホスピタリティ産業の一つである航空産業(エアライン)をグローバルな視点から取り上げ、産業としての成熟・存続・発展を多角的に分析し、航空会社経営を実務的に「我がこと」として体得する。</p> <p>すなわち、課題の発見・解決能力を養い、価値創造力を修得することを目的とする。</p> <p>また、この科目はホスピタリティ・マネジメントの理論と実践を学ぶ入門編としても構成されている。</p>
講義の概要 / Course Description	<p>In this course, we examine the history and development of international aviation, in particular, under the influence of airline deregulation, how the worldwide competition has been furiously promoted. As a vehicle to survive the fierce competition among airlines, we will discuss the characteristics of alliance, networks, revenue strategies and customer satisfaction, as well as commodity and brand strategies unique to airline business considering the future of airline industry.</p> <p>We also study the actual implementation of hospitality in the course of airline services.</p> <p>この講義では国際航空を中心に、航空の歴史と発展、とりわけ規制産業と言われてきた航空の枠組みが緩和・撤廃されることで世界レベルでの競争がますます激化する中で、生き残りをかけた競争を勝ち抜く必要条件として、航空会社に特有なアライアンス/ネットワーク戦略、レベニュー戦略、CS・商品/ブランド戦略の仕組みをオムニバスのに解説し、これからの航空産業を考えます。</p> <p>また、エアラインの運航サービスの実態を学び、ホスピタリティの実際を学修します。</p>
準備学習時間・具体的内容 / Preparation study time Specific content	<ul style="list-style-type: none"> ・ To complete a worksheet (WS) presented almost each and every class, you are requested to study the relevant materials uploaded in advance (1 hour) and fill in the blanks. Prepare for completion (0.5 hours). Complete the WS during / after the lecture (1.5 hours) and submit it within limited period. ・ Above is the same for mini-report, review the upped materials and submit within limited period. (1.5 hours). ・ Preparation for the day in charge of the short presentation (1.5 hours) <p>・ 講義回に則して課されるワークシート (WS) に対して、事前にアップされた資料を学習し(1時間)、穴埋めをしたり完成の準備をすること(0.5時間) 講義中/講義後WSを完成し (1.5時間)、所定の期日までに提出すること。</p> <p>・ 小レポートについても同様、講義資料を復習し、所定の期日までに提出すること (1.5時間)。</p> <p>・ ショートプレゼンの担当日の準備 (1.5時間)。</p>
フィードバックの要領 / Detail of feedback	<ul style="list-style-type: none"> ・ Report assignments will give feedback with scores and comments. ・ In principle, the test will give feedback on the correct answer. <p>・ レポート課題は評点・コメントを付してフィードバックします。</p> <p>・ テストは正解を原則、フィードバックします。</p>
週ごとの授業計画 / Weekly Schedule	<p>1 > Course orientation / Getting to know the aircraft 第1回) オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Orientation <p>オリエンテーション (講義の内容、進め方や評価方法等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Getting to know the aircraft/mechanism of flying/airport 航空機/飛行原理/空港に関する基礎知識 ・ Aircraft development 航空機の発達史 <p>◇Student Pre-Class Preparation: 次回に向けて: 「交通サービスとしての航空運送の特性」及び 「何故、第2次大戦後の民間航空の枠組みを規定する必要があったのか」について考えておくこと。</p> <p>2 > History and characteristics of the airline industry 第2回) 航空産業 (エアライン含む、以下同) の歴史と事業特性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ History and development of airlines 航空会社の成立/発展 ・ Characteristic of the Airline industry 航空産業の特性

- ・ How the international civil aviation has been regulated ?
民間国際航空の枠組み
 - ◇次回に向けて：「航空運輸業などの寡占産業で規制がなされる理由」「航空規制撤廃・緩和の功罪」「空港の果たす役割、空港民営化のメリット」について考えてくること。
- 3 > Deregulation of the airline industry and the role of airport as an infrastructure
第3回) 航空産業の自由化の流れとインフラとしての空港
- ・ Why the international civil aviation has been regulated ?
民間国際航空が規制されてきた理由
 - ・ Deregulation at the US/EU/Japan
規制撤廃・緩和の歴史 (米国・欧州・日本)
 - ・ The role and feature of airport and privatization
空港の役割と実相、民営化方針
- ◇次回に向けて：「ネットワーク戦略が何故重要か」「アライアンスが進展してきた理由」について考えてくること。
- 4 > Network/Alliance strategy
第4回) ネットワーク/アライアンス戦略
- ・ Network strategy
マーケティング戦略としての航空ネットワーク
 - ・ Alliance strategy
航空アライアンスとは何か、アライアンスの生育理由
- ◇次回に向けて：「航空運賃とはどういう商品か」「収入を最大化するための方策は」について考えてくること
- 5 > Revenue management strategy
第5回) レベニュー・マネジメント戦略
- ・ Revenue management
航空会社の収入最大化戦略
- ◇次回に向けて：「CS(顧客満足)とは何か」「ブランド戦略とは何か」について調べておくこと
- 6 > Customer satisfaction and brand strategies
第6回) CS/ブランド戦略
- ・ ANA's CS strategy
ANAの顧客満足戦略
 - ・ ANA's brand strategy
ANAのブランド戦略
- ◇次回に向けて：「LCCはFSC (フル・サービス・キャリア)」とどういふところが違うか、「観光と航空需要のつながり」について考えておくこと
- 7 > Low Cost Carrier (LCC) and Tourism market
第7回) LCCの生成と発展と観光産業
- ・ Background of LCC's emergence and its growth in comparison with FSC
格安航空会社誕生の背景と成長 (フルサービス・キャリアとの対比)
 - ・ Tourism market and Japanese tourism policy
観光市場と日本の観光政策
- ◇次回に向けて：「航空貨物運送が他の貨物運送と違うところは何か」を考えておくこと
- 8 > Air Freight
第8回) 航空貨物
- ・ The difference between passenger service and air cargo
旅客運送と貨物運送の相違
 - ・ The role and necessity of air freight at the marketplace
市場における航空貨物の役割と必要性
- ◇次回に向けて：「航空機の運航」はどのように制御され何を重要視しているか考え、航空運送の特質を考えておくこと。「旅客業務で大切とされていること」「航空機の周りです仕事」にどんなものがあるか調べておくこと。
- 9 > Airport operation and Passenger, Ground Handling
第9回) 空港オペレーション及び地上係員の仕事
- ・ The aim of flight operation and its related works
航空オペレーションの目指すものとそれを支える仕事
 - ・ The feature of Passenger Handling service and Ground Handling works
旅客/グランド・ハンドリングの仕事
- ◇次回に向けて：「パイロット/CA/オペレーション・サポート/整備の仕事」の概略と特質、共通点等を調べておくこと。
- 10 > Flight Operation, Flight/Cabin crew and its hospitality
第10回) 運航業務、運航・客室乗務員とホスピタリティ
- ・ The feature of Pilot/Cabin Attendant/Operation Support/Maintenance works
運航の仕事 (パイロット/CA/オペレーション・サポート/整備)
 - ・ The performance of hospitality by airline staff
航空会社社員のホスピタリティの発揮
- ◇次回に向けて：「企業が社会で求められること」、「持続的に存続するために社会的に果たすべき役割・事項」は何か考えておくこと。
- 11 > CSR/SDGs/ESG
第11回) 企業の社会的責任 (CSR) SDGs、ESG投資
- ・ ANA's CSR/SDGs action throughout its business
本来的事業活動を通じたANAのCSR・SDGsを学ぶ
 - ・ The significance of ESG investment
ESG投資の重要性
- ◇次回に向けて：航空分野におけるイノベーション、デジタル技術の進化に伴う産業の変化、ドローンを初め新しいモビリティの登場の報道等を調べる。航空を取り巻く環境について総括しておく。

	<p>12> Innovation, Circumstances and Future of airline industry 第12回) イノベーション、航空を取り巻く環境と将来 ・ Innovation in the field of airline industry and ANA's undertaking 航空の分野におけるイノベーションとANAの取り組み ・ Prospect the future of airline industry - for Group Work 航空産業の将来を予測する - グループ・ワークに向けて ◇次回に向けて: 「航空会社 (産業) の将来を考える」グループ・ワークの準備。</p> <p>13> Think the future of airline business - Group Work 第13回) エアライン・ビジネスの将来を考える - グループ・ワーク ・ Discuss and preparation for the presentation 航空産業の将来を予測する<議論と発表準備> - グループ・ワーク ◇次回に向けて: 「安全」を追求するためにはどんな仕組みが必要か考えておくこと。</p> <p>14> Air Safety 第14回) 航空の安全 ・ Air safety is the ultimate mission of airlines 航空の安全は航空会社の最大の使命 ◇次回に向けて: 「航空会社 (産業) の将来を考える」発表準備。</p> <p>※ You will take the Class Final Test on the last session of next class. 次回の授業の最後に期末テストを実施します。</p> <p>15> Presentation, Class Final Test 第15回) グループワークの発表 + 期末テスト</p>			
週ごとの授業計画 2 / Weekly Schedule 2 ※上段、文字数超過分を記載				
教科書 / Textbook	None/なし。 Lecture materials are projected / electronically distributed each time./講義資料は毎回、投影/電子配布。			
指定図書 / Course Readings	None/なし。			
参考文献 / Reference List	・ 『航空産業入門 第2版』 株ANA総合研究所 東洋経済新報 2017 ・ 『航空の経済学』 村上英樹 他 ミネルヴァ書房 2006			
評価方法 / Method of Evaluation	Class Participation (Work Sheet, Mini Report, Short Presentation) / 平常点 : 40% Active Participation (Group Discussion) / 主体的な授業参加度 : 10% Mid-Term, Term-End Report / 中間・期末レポート : 30% In Class Final Test / 学期末試験 : 20%			
事前履修科目等 / Prerequisite	None/なし			
実務経験 / Work Experiences	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">有</td> <td style="width: 30%;">授業への実務経験の活用 / Practical Contents</td> <td style="width: 40%;">日本最大手の航空会社ANAで豊富な経験を持つ講師を招き、航空産業をベースにマネジメントやサービスの実際を学ぶ。</td> </tr> </table>	有	授業への実務経験の活用 / Practical Contents	日本最大手の航空会社ANAで豊富な経験を持つ講師を招き、航空産業をベースにマネジメントやサービスの実際を学ぶ。
有	授業への実務経験の活用 / Practical Contents	日本最大手の航空会社ANAで豊富な経験を持つ講師を招き、航空産業をベースにマネジメントやサービスの実際を学ぶ。		
留意点 / Additional Information	None/なし			
学生による授業評価(VOICE)への教員からの応答 / Responses to VOICE				

講義年度 / Year	2022年度		
科目名 / Course Title	ホスピタリティ・マネジメント IV (A)		
英文科目名 / Course Title (Eng.)	Hospitality Management IV (A)		
教員 / Instructor	山下 由香里 (Yamashita, Yukari)		
分野 / Division	HM 選択/HM EL	開講学期 / Semester	春学期
配当年次 / Grade	2年	単位数 / Credits	2単位
研究室 / Office		連絡先 / E-mail	yamashita@tama.ac.jp
授業で使用する言語 / Language Used in Class	<input checked="" type="checkbox"/> 日本語のみ <input type="checkbox"/> 英語のみ <input type="checkbox"/> 日本語と英語併用 (日本語と英語の比率) <input type="checkbox"/> その他外国語		

ディプロマ・ポリシーとの対応 / Relationship with DP	<ul style="list-style-type: none"> ー(1) 知識と理解【グローバル社会に対する理解】 ○(2) 思考と判断【考え抜く力】 ◎(3) 関心と意欲【社会の発展に貢献する力】 ー(4) 表現と技能【役割分担により組織目標の達成に貢献する力】 ー(5) 高い志【環境対応能力と先進性】
アクティブ・ラーニングの手法 / Methods of Active Learning	<input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実習 (問題解決型・プロジェクト)
到達目標 / Course Goals	<p>○ホテル産業の実態・自然に対するホスピタリティを「知識」として学びます。</p> <p>○一つの方面からでなく、様々な方面から物事を考えられる様に『考える力』を高めること。</p> <p>会社の中で自分は何ができるのか?一人の社会人として考える基盤を持つ事を目標とします。</p> <p>○Students will learn the reality of the hotel industry and hospitality to nature as "knowledge".</p> <p>○To improve one's "thinking ability" so that one can think about things from various perspectives, not just one.</p> <p>What can I do in the company? The goal is to have a foundation for thinking as a member of society.</p>
講義の概要 / Course Description	<p>○ホスピタリティの最前線と言われるホテル業ですが、外から見ていただけでは知らない事が多数あります。実際にホテルを建設する事からスタートし、長期に渡り運営する過程で起こる様々な事案を検証しながら知識として学びます。</p> <p>○江の島を中心とした環境問題にも着目し、人と人だけでなく人と自然に関してのホスピタリティも合わせて考えます。</p> <p>○The hotel industry is said to be at the forefront of hospitality, but there are many things that is not known on the surface.</p> <p>We will learn about the various problems that occur in the process of construction and operating a hotel for a long term.</p> <p>○We will also focus on the environmental issues around Enoshima Island, which is a unique environment in this area of Fujisawa City, and consider hospitality not only between people but also between people and nature.</p>
準備学習時間・具体的内容 / Preparation study time Specific content	<p>○ホテル業についての予備知識 (1時間/週)</p> <p>Prior knowledge of the hotel industry (1 hour/week)</p> <p>○授業内容の復讐 (1時間/週)</p> <p>Review of class content (1 hour/week)</p> <p>○プレゼン・ディスカッションの準備 (1時間/週)</p> <p>Preparation for presentation and discussion (1 hour/week)</p>
フィードバックの要領 / Detail of feedback	<p>プレゼンテーションは講評するとともに、履修学生にも相互評価してもらう。</p> <p>Comment on the presentation. Have students evaluate each other.</p>
週ごとの授業計画 / Weekly Schedule	<p>第1週</p> <p>「初めまして第一イン湘南です」</p> <p>藤沢市辻堂地区の都市開発事業を含め、ホテル建設を決める時・ホテルを開業する時、多数発生する事案を検証しながらの講義。</p> <p>予習・復習のポイント:シラバスを読んでいること</p> <p>Week1</p> <p>Nice to meet you. I'm from the Dai-ichi-inn Shonan.</p> <p>The lecture examines a number of cases that occur when deciding to build and open a hotel, including the urban development project in the Tsujido area of Fujisawa City.</p> <p>Points for preparation and review: Have read the syllabus.</p>

第2週

「フロントクレーク」からの視点
ホテルのフロントで行う仕事とは？
実際にホテルのフロントで行う、さまざまな仕事を具体的に。
予習・復習のポイント:第1週の内容を復習しておくこと。

Week2

Perspectives from a "Front Desk Clerk
What does a front clerk do in a hotel?
Specifically, the various tasks that are actually occurred at the hotel front desk.
Points for preparation and review: Review the contents of the first week.

第3週

「レストラン」からの視点
ホテル内レストランで行う仕事とは？
実際にホテルレストランで行う仕事を具体的に。
予習・復習のポイント:第1～2週の内容を復習しておくこと。

Week3

A "restaurant" perspective
What is the job in a hotel restaurant?
Specifying the actual work to be done in a hotel restaurant.
Points for preparation and review: Review the contents of the first and second weeks.

第4週

「総務・経理・設備からみたホテル運営」
ホテルも一つの株式会社です。実際に日本のルールに基づいた様々な決めごとがあります。
その一つ一つの具体例を挙げて学びます。
予習・復習のポイント:第1～3週の内容を復習しておくこと。

Week4

"Hotel Management from the Perspective of General Affairs, Accounting, and Facilities"
A hotel is also a stock company. In fact, there are various rules and regulations based on the Japanese law.
We will learn about each of them with specific examples.
Points for preparation and review: Review the contents of the first three weeks.

第5週

「客室清掃」からの視点
「ホテルはメイドで出来ている」の言葉どおり、日々行われる客室清掃をテーマに
実際の客室清掃担当からの話を聞きます。
予習・復習のポイント:第1～4週の内容を復習しておくこと。

Week5

Perspectives from Room Cleaning
As the saying goes, "A hotel is made of maids," the theme of this session is the daily cleaning of guest rooms.
We will hear from the actual room cleaners.
Points for preparation and review: Review the contents of weeks 1 to 4.

第6週

「ホテルへ納品する企業」からの視点
ホテルへは様々な業者が出入りいたします。
ホテルへ納品する業者の視点から学びます。
予習・復習のポイント:第1～5週の内容を復習しておくこと。

Week6

Perspectives from a company that delivers to hotels
There are many different vendors coming in and out of the hotel.
We will Learn from the Perspective of view of the vendors who deliver to the hotel.
Points for preparation and review: Review the contents of weeks 1-5.

第7週

「2020オリンピック」を振り返って
57年ぶりに日本で行われたオリンピックは異例づくめでした。
その中で、約3年間、組織委員会とのやり取りやコロナにより振り回された事案実際のオリンピック期間中の出来事を含め、
2020オリンピックをホテルからの視点で振り返ります。
予習・復習のポイント:第1～6週の内容を復習しておくこと。

Week7

Looking Back at the 2020 Olympics
For the first time in 57 years, the Olympics were held in Japan, and it was an unusual event.
In this article, We will look back on the 2020 Olympics from the hotel's perspective, including the actual events during the Olympics.
Points for preparation and review: Review the contents of weeks 1-6.

第8週

「アクシデント・クレーム」

接客業に従事すれば、アクシデントとクレームを避けては通れません。
ホテルの中で起こる様々なアクシデント・クレームを実例から学びます。
予習・復習のポイント:第1～7週の内容を復習しておくこと。

Week8

"Accident Claims."

If you work in the hospitality industry, you can't avoid accidents and complaints.
Learn from real-life examples of various incidents and complaints that occur in a hotel.
Points for preparation and review: Review the contents of weeks 1-7.

第9週

「OTA」からの視点

ホテル業同様に苦境に立たされている『OTA』とは
予習・復習のポイント:第7週の内容を復習しておくこと。

Week9

Perspectives from OTA

What are OTAs, which are in the same predicament as the hotel industry?
Points for preparation and review: Review the contents of Week 7.

第10週

第一イン湘南へようこそ

実際に第一イン湘南にお越しいただき、これまでの講義内容を
振り返ってみます
予習・復習のポイント:第1～9週の内容を復習しておくこと。

Week10

Welcome to Dai-ichi Inn Shonan

We would like to invite you to come to Daiichi-Inn Shonan and review the contents of the lecture so far.I will review the contents of the previous lectures.
Points for preparation and review: Review the contents of weeks 1 to 9.

第11週

江ノ島・フィッシャーメンズ・プロジェクト(EFP)

EFPとは、第一イン湘南とEFPとの関係
江の島で起こっている環境問題とは
予習・復習のポイント:EFPのホームページを確認しておくこと。

Week11

Enoshima Fishermen's Project (EFP)

What is EFP, and how does it relate to the Dai-ichi-Inn shonan and EFP?
What are the environmental problems occurring on Enoshima?
Preparation and review points: Check the EFP website.

第12週

江の島へようこそ

実際に片瀬漁港へ行き、江の島の海の中で起こっている環境問題を学びます。
予習・復習のポイント:第11～12週の内容を復習しておくこと。

Week12

Welcome to Enoshima

We will go to Katase fishing port to learn about the environmental problems that are happening in the sea of Enoshima.

第13週

環境問題への取り組み

海から考える環境問題:新江ノ島水族館
山から考える環境問題:自然環境センター
予習・復習のポイント:第11週の内容を復習しておくこと。

Week13

Environmental Efforts

Issues from the Sea: Enoshima Aquarium
Issues from the Mountain:Nature Conservation Center
Points for preparation and review: Review the contents of Week 11.

第14週

『あなたならば、どんな場所にどのようなホテルを建てますか?』

をテーマにグループによるプレゼンテーション
注:ホテルでは無く観光的な施設でも可
予習・復習のポイント:プレゼンの準備を終わらせておくこと。

Week14

	<p>『if you were an owner where and how hotel will you build?』 Group presentations annotation :Not a hotel, but a tourist facility is acceptable. Preparation and review points: Complete preparation for the presentation.</p> <p>第15週 『あなたならば、どんな場所にどのようなホテルを建てますか?』 第14週のプレゼンテーションについてディスカッション 予習復習のポイント:これまでの内容を復習しておくこと。</p> <p>Week15 『if you were an owner where and how hotel will you build?』 Discussion of Week 14 presentation Points for review: Review the contents of the previous lessons.</p>	
週ごとの授業計画 2 / Weekly Schedule 2 ※上段、文字数超過分を記載		
教科書 / Textbook	特に無し None In Particular	
指定図書 / Course Readings	特に無し None In Particular	
参考文献 / Reference List	必要に応じて授業中に紹介します。 This will be introduced in class as needed.	
評価方法 / Method of Evaluation	学習態度 10% Listening attitude 10% 授業中の態度・ワーク45% In class activities45% プレゼンテーション・ディスカッション45% presentation and discussions45%	
事前履修科目等 / Prerequisite	特に無し None In Particular	
実務経験 / Work Experiences	有	<p>授業への実務経験の活用 / Practical Contents</p> <p>阪急阪神第一ホテルグループ『第一イン湘南』の立ち上げから30年の経営の中で、ホテル内で起こる様々な出来事や実際のホテル業務を具体的に学ぶ。又、江ノ島・フィッシャーマンズ・プロジェクトの副代表としての活動から、地元江の島の現在起きている様々な環境問題やこれからの未来を託す子供達への体験学習などを、実例に即して紹介する。</p>
留意点 / Additional Information	本科目は、教室での座学と第一イン湘南・片瀬漁港の2か所のフィールドワークを含みます。 This course includes classroom lectures and fieldwork at two locations: Dai-ichi Inn Shonan and Katase Fishing Port.	
学生による授業評価(VOICE)への教員からの応答 / Responses to VOICE		

講義年度 / Year	2022年度		
科目名 / Course Title	ホスピタリティ・マネジメント特別講義V [世界遺産検定3級対策講座 (A)]		
英文科目名 / Course Title (Eng.)	Special Lectures for Hospitality Management V (A)		
教員 / Instructor	鈴木 かの子 (Suzuki, Kanoko)		
分野 / Division	HM 選択/HM EL	開講学期 / Semester	春学期
配当年次 / Grade	2年	単位数 / Credits	2単位
研究室 / Office		連絡先 / E-mail	sekaken@tama.ac.jp
授業で使用する言語 / Language Used in Class	<input checked="" type="checkbox"/> 日本語のみ <input type="checkbox"/> 英語のみ <input type="checkbox"/> 日本語と英語併用 (日本語と英語の比率) <input type="checkbox"/> その他外国語		

ディプロマ・ポリシーとの対応 / Relationship with DP	<p>◎(1) 知識と理解【グローバル社会に対する理解】</p> <p>一(2) 思考と判断【考え抜く力】</p> <p>○(3) 関心と意欲【社会の発展に貢献する力】</p> <p>一(4) 表現と技能【役割分担により組織目標の達成に貢献する力】</p> <p>一(5) 高い志【環境対応能力と先進性】</p>
アクティブ・ラーニングの手法 / Methods of Active Learning	<input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実習
到達目標 / Course Goals	<ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産を学ぶ事で「地球上の多様な価値観」を理解し、環境保全や国際平和の重要性を認識する。 ・第48回世界遺産検定(2022年7月開催)での3級資格取得を目指す。(別途申込要) <ul style="list-style-type: none"> ・ to understand "divers values" and to recognize the importance of international peace and environmental conservation through studying about world heritage. ・ To pass the Test of World Heritage Study Grade 3.
講義の概要 / Course Description	<p>世界遺産検定3級の対策講座です。世界の有名な遺産100件と日本の遺産全25件(2022年4月現在)の中から、テキストとスライド画像を用いて講義を進めていきます。古代遺跡やヨーロッパの建築、大自然の絶景や神話にまつわる地域など、世界旅行をしているような気分を味わいながら、資格取得のためのポイントをおさえて各回を進めていきます。</p> <p>The purpose of this class is to pass the Test of World Heritage Study Grade 3.</p> <p>We will study all 25 world heritage sites in japan and the ones picked up from world famous 100 world heritage sites.</p> <p>We will study like we are traveling around world since this course will be done by using photos and power point slide of beautiful world heritage sites.</p>
準備学習時間・具体的内容 / Preparation study time Specific content	<ul style="list-style-type: none"> ・授業後には当日実施した内容を振り返り、知識を深めること。(1時間を要する) ・毎回小テストを実施するので、指定された範囲を準備しておくこと。(1時間を要する) <p>After class, review and understand the contents of the class. (1 hour)</p> <p>Since quizzes will be conducted every time, prepare the specified range. (1 hour)</p>
フィードバックの要領 / Detail of feedback	<p>リアクションペーパーを返却の際に総括のコメント、また質疑応答にてフィードバックをする。</p> <p>Feedback will be given based on a summary of students' reaction paper.</p> <p>A question and answer session will be held when necessary.</p>
週ごとの授業計画 / Weekly Schedule	<p>Week 1: Introduction</p> <p>第1週: インタロダクション: なぜ世界遺産を学ぶのか</p> <p>Student Pre-Class Preparation: read the course descriptions</p> <p>予習・復習のポイント: シラバスを読んでいること。</p> <p>Week 2: History and background of World Heritage</p> <p>第2週: 世界遺産の基礎知識</p> <p>Student Pre-Class Preparation: look through the textbook</p> <p>予習・復習のポイント: 教科書に目を通しておくこと。</p> <p>Week 3: World Heritage Sites in Japan (1)</p> <p>第3週: 日本の世界遺産①</p> <p>Student Pre-Class Preparation: look through the textbook</p> <p>予習・復習のポイント: 教科書に目を通しておくこと。</p> <p>Week 4: World Heritage Sites in Japan (2)</p> <p>第4週: 日本の世界遺産②</p> <p>Student Pre-Class Preparation: look through the textbook</p> <p>予習・復習のポイント: 教科書に目を通しておくこと。</p> <p>Week 5:</p> <p>第5週: World Heritage Sites in Japan (3)</p> <p>Student Pre-Class Preparation: look through the textbook</p> <p>予習・復習のポイント: 教科書に目を通しておくこと。</p> <p>Week 6: World Heritage Sites (1) (Cultural Sites)</p> <p>第6週: 世界の文化遺産①</p> <p>Student Pre-Class Preparation: look through the textbook</p>

	<p>予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと。</p> <p>Week 7: World Heritage Sites (2) (Cultural Sites) 第7週：世界の文化遺産② Student Pre-Class Preparation: look through the textbook 予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと。</p> <p>Week 8: World Heritage Sites (3) (Cultural Sites) 第8週：世界の文化遺産③ Student Pre-Class Preparation: look through the textbook 予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと。</p> <p>Week 9: World Heritage Sites (4) (Cultural Sites) 第9週：世界の文化遺産④ Student Pre-Class Preparation: look through the textbook 予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと。</p> <p>Week 10: World Heritage Sites (5) (Cultural Sites) 第10週：世界の文化遺産⑤ Student Pre-Class Preparation: look through the textbook 予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと。</p> <p>Week 11: World Heritage Sites (6) (Natural Sites) 第11週：世界の自然遺産 Student Pre-Class Preparation: look through the textbook 予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと。</p> <p>Week 12: Review test 第12週：検定直前確認テスト Student Pre-Class Preparation: look through the textbook 予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと。</p> <p>Week 13: Answers and explanations of the test of world heritage 第13週：検定3級の回答・解説 Student Pre-Class Preparation: look through the textbook 予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと。</p> <p>Week 14: Full review of week 1 to 13. 第14週：今までの総復習 Student Pre-Class Preparation: look through the textbook 予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと。</p> <p>Week 15: Group work and Presentation 第15週：グループワークと発表 Student Pre-Class Preparation: prepare and review of group work 予習・復習のポイント：グループワークの復習</p>		
週ごとの授業計画 2 / Weekly Schedule 2 ※上段、文字数超過分を記載			
教科書 / Textbook	きほんを学ぶ世界遺産100<第3版> 世界遺産検定 3級公式テキスト		
指定図書 / Course Readings	None. なし		
参考文献 / Reference List	くわしく学ぶ世界遺産300<第4版> 世界遺産検定 2級公式テキスト		
評価方法 / Method of Evaluation	<p>確認テスト / review test : 40%</p> <p>毎回提出の小テスト / assignment : 30%</p> <p>平常点 / class participation : 30%</p>		
事前履修科目等 / Prerequisite	None. 特になし		
実務経験 / Work Experiences	有	授業への実務経験の活用 / Practical Contents	世界遺産検定マイスターの資格を持ち、多くの世界遺産を訪問した経験のある講師を世界遺産アカデミーから招き、多文化理解や地球環境保護も視野に入れた世界遺産検定対策を行う。
留意点 / Additional Information	<p>世界遺産検定3級（団体受検料金4400円）の申込方法は別途、授業内で案内します。 成績に関して、世界遺産検定受検で10%、合格者にはさらに15%を別途加点する。（※検定が中止になった場合は別途課題で対応する。）</p> <p>Way to apply to the Test of World Heritage Study will be announced in the class. Additional point will be added to the evaluation by applying the Test of World Heritage Study (10%), by passing the Test of World Heritage Study (15%).</p>		
学生による授業評価(VOICE)への教員からの応答 / Responses to VOICE			

講義年度 / Year	2022年度		
科目名 / Course Title	ホスピタリティ・マネジメント特別講義VI [世界遺産検定2級対策講座 (A)]		
英文科目名 / Course Title (Eng.)	Special Lectures for Hospitality Management VI (A)		
教員 / Instructor	鈴木 かの子 (Suzuki, Kanoko)		
分野 / Division	HM 選択/HM EL	開講学期 / Semester	春学期
配当年次 / Grade	2年	単位数 / Credits	2単位
研究室 / Office		連絡先 / E-mail	sekaken@tama.ac.jp
授業で使用する言語 / Language Used in Class	<input checked="" type="checkbox"/> 日本語のみ <input type="checkbox"/> 英語のみ <input type="checkbox"/> 日本語と英語併用 (日本語と英語の比率) <input type="checkbox"/> その他外国語		

ディプロマ・ポリシーとの対応 / Relationship with DP	<p>◎(1) 知識と理解【グローバル社会に対する理解】</p> <p>一(2) 思考と判断【考え抜く力】</p> <p>○(3) 関心と意欲【社会の発展に貢献する力】</p> <p>一(4) 表現と技能【役割分担により組織目標の達成に貢献する力】</p> <p>一(5) 高い志【環境対応能力と先進性】</p>
アクティブ・ラーニングの手法 / Methods of Active Learning	<input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> フィールドワーク <input type="checkbox"/> 実習
到達目標 / Course Goals	<p>・世界遺産を学ぶ事で「地球上の多様な価値観」を理解し、環境保全や国際平和の重要性を認識する。</p> <p>・第48回世界遺産検定(2022年7月開催)での2級資格取得を目指す。(別途申込必須)</p> <p>・ to understand “divers values” and to recognize the importance of international peace and environmental conservation through studying about world heritage.</p> <p>・ To pass the Test of World Heritage Study Grade 2.</p>
講義の概要 / Course Description	<p>世界遺産検定2級の対策講座です。世界の有名な遺産300件と日本の遺産全25件(2022年4月現在)の中から、テキストとスライド画像を用いて講義を進めていきます。古代遺跡やヨーロッパの建築、大自然の絶景や神話にまつわる地域など、世界旅行をしているような気分を味わいながら、資格取得のためのポイントをおさえて各回を進めていきます。</p> <p>The purpose of this class is to pass the Test of World Heritage Study Grade 2.</p> <p>We will study all 25 world heritage sites in japan and the ones picked up from world famous 300 world heritage sites.</p> <p>We will study like we are traveling around world since this course will be done by using photos and power point slide of beautiful world heritage sites.</p>
準備学習時間・具体的内容 / Preparation study time Specific content	<p>・授業後には当日実施した内容を振り返り、知識を深めること。(1時間を要する)</p> <p>・毎回小テストを実施するので、指定された範囲を準備しておくこと。(1時間を要する)</p> <p>After class, review and understand the contents of the class. (1 hour)</p> <p>Since quizzes will be conducted every time, prepare the specified range. (1 hour)</p>
フィードバックの要領 / Detail of feedback	<p>リアクションペーパーを返却の際に総括のコメント、また質疑応答にてフィードバックをする。</p> <p>Feedback will be given based on a summary of students' reaction paper.</p> <p>A question and answer session will be held when necessary.</p>
週ごとの授業計画 / Weekly Schedule	<p>Week 1: Introduction</p> <p>第1週: イントロダクション なぜ世界遺産を学ぶのか</p> <p>Student Pre-Class Preparation: read the course descriptions</p> <p>予習・復習のポイント: シラバスを読んでいること。</p> <p>Week 2: History and background of World Heritage</p> <p>第2週: 世界遺産の基礎知識</p> <p>Student Pre-Class Preparation: look through the textbook</p> <p>予習・復習のポイント: 教科書に目を通しておくこと。</p> <p>Week 3: World Heritage Sites in Japan (1)</p> <p>第3週: 日本の世界遺産①</p> <p>Student Pre-Class Preparation: look through the textbook</p> <p>予習・復習のポイント: 教科書に目を通しておくこと。</p> <p>Week 4: World Heritage Sites in Japan (2)</p> <p>第4週: 日本の世界遺産②</p> <p>Student Pre-Class Preparation: look through the textbook</p> <p>予習・復習のポイント: 教科書に目を通しておくこと。</p> <p>Week 5: World Heritage Sites in Japan (3)</p> <p>第5週: 日本の世界遺産③</p> <p>Student Pre-Class Preparation: look through the textbook</p> <p>予習・復習のポイント教科書に目を通しておくこと。</p> <p>Week 6: World Heritage Sites (1) (Cultural Sites)</p> <p>第6週: 世界の文化遺産①</p>

	<p>Student Pre-Class Preparation: look through the textbook 予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと。</p> <p>Week 7: World Heritage Sites (2) (Cultural Sites) 第7週：世界の文化遺産② Student Pre-Class Preparation: look through the textbook 予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと。</p> <p>Week 8: World Heritage Sites (3) (Cultural Sites) 第8週：世界の文化遺産③ Student Pre-Class Preparation: look through the textbook 予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと。</p> <p>Week 9: World Heritage Sites (4) (Cultural Sites) 第9週：世界の文化遺産④ Student Pre-Class Preparation: look through the textbook 予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと。</p> <p>Week 10: 第10週：World Heritage Sites (5) (Cultural Sites) Student Pre-Class Preparation: look through the textbook 予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと。</p> <p>Week 11: World Heritage Sites (Natural Sites) 第11週：世界の自然遺産 Student Pre-Class Preparation: look through the textbook 予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと。</p> <p>Week 12: Review test 第12週：検定直前確認テスト Student Pre-Class Preparation: look through the textbook 予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと。</p> <p>Week 13: Answers and explanations of the test of world heritage 第13週：検定2級の回答・解説 Student Pre-Class Preparation: look through the textbook 予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと。</p> <p>Week 14: Full review of week 1 to 13. 第14週：今までの総復習 Student Pre-Class Preparation: look through the textbook 予習・復習のポイント：教科書に目を通しておくこと</p> <p>Week 15: Group work and Presentation 第15週：グループワークと発表 Student Pre-Class Preparation: prepare and review of group work 予習・復習のポイント：グループワークの準備と復習</p>		
週ごとの授業計画 2 / Weekly Schedule 2 ※上段、文字数超過分を記載			
教科書 / Textbook	くわしく学ぶ世界遺産300<第4版> 世界遺産検定 2級公式テキスト		
指定図書 / Course Readings	None. なし		
参考文献 / Reference List	None. なし		
評価方法 / Method of Evaluation	<p>確認テスト / review test : 40%</p> <p>毎回提出の小テスト / assignment : 30%</p> <p>検定試験 / result of the Test of World Heritage Study : 30%</p>		
事前履修科目等 / Prerequisite	None. なし		
実務経験 / Work Experiences	有	授業への実務経験の活用 / Practical Contents	世界遺産検定マイスターの資格を持ち、多くの世界遺産を訪問した経験のある講師を世界遺産アカデミーから招き、多文化理解や地球環境保護も視野に入れた世界遺産検定対策を行う。
留意点 / Additional Information	<p>世界遺産検定2級（団体受検料金5500円）の申込方法は別途、授業内で案内します。</p> <p>Way to apply to the Test of World Heritage Study will be announced in the class.</p>		
学生による授業評価(VOICE)への教員からの応答 / Responses to VOICE			

講義年度 / Year	2022年度		
科目名 / Course Title	簿記		
英文科目名 / Course Title (Eng.)	Bookkeeping		
教員 / Instructor	林 雄一郎 (Hayashi, Yuichiro)		
分野 / Division	IS 選択/IS EL	開講学期 / Semester	秋学期
配当年次 / Grade	2年	単位数 / Credits	4単位
研究室 / Office		連絡先 / E-mail	hayashi@tama.ac.jp
授業で使用する言語 / Language Used in Class	<input checked="" type="checkbox"/> 日本語のみ <input type="checkbox"/> 英語のみ <input type="checkbox"/> 日本語と英語併用 (日本語と英語の比率) <input type="checkbox"/> その他外国語		

ディプロマ・ポリシーとの対応 / Relationship with DP	<p>○(1) 知識と理解【グローバル社会に対する理解】</p> <p>◎(2) 思考と判断【考え抜く力】</p> <p>－(3) 関心と意欲【社会の発展に貢献する力】</p> <p>－(4) 表現と技能【役割分担により組織目標の達成に貢献する力】</p> <p>－(5) 高い志【環境対応能力と先進性】</p>
アクティブ・ラーニングの手法 / Methods of Active Learning	<input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> フィールドワーク <input checked="" type="checkbox"/> 実習
到達目標 / Course Goals	<p>This course aims to acquire knowledge which levels at "Nissho Boki 3rd Grade". The goals of this course are: -To understand bookkeeping-process flow, for instance, journal entries, posting an item in the general ledger, preparing trial balances, closing adjustment, preparing working sheets and financial statements and procedure of closing the books. -To be able to do basic accounts processing in business.</p> <p>日商簿記検定試験3級程度の知識の修得を目指す。具体的には、「取引の仕訳」、「総勘定元帳への転記」、「試算表の作成」、「決算整理」、「精算表の作成」、「財務諸表の作成」、「帳簿の締め切り」といった、一連の簿記の流れをマスターし、経理実務における基本的な処理が行えるようになることが目標となる。</p>
講義の概要 / Course Description	<p>In the world, there are many organizations carrying out various activities, for instance, famous companies, schools, temples, hospitals, NPOs and retail stores and restaurants, etc. All of these organizations prepare financial statements for their own management and fulfilling accountability about their track record to stakeholders (a country, a local government, a bank, a stockholder, a client) surrounding them. The financial statements must be made in accordance with the rules, as many people can understand easily. The method for preparing the financial statements by the rules is "bookkeeping". If you master bookkeeping, you can understand the outline of the track record of organizations. This course helps you understand the whole picture of bookkeeping on a premise for a merchant and prepare a simple financial statement. In other words, this course deals with the bookkeeping-process flow, and it also enhances students' skills in basic accounts processing by doing exercises.</p> <p>世の中には、いろいろな活動をしている数多くの組織がある。すぐに思い浮かぶような有名な会社、学校、お寺、病院やNPO、また身近にある小売店や飲食店など実に様々なものがある。これらの組織は必ず財務諸表（いわゆる決算書）を作り、自らの経営に役立てるとともに、組織を取り巻く利害関係者（国や地方自治体、銀行、株主、取引先など）に自らの業績を説明する責任を負っている。財務諸表は多くの人が見て分かるように、決められたルールにより作成されることになっている。この決められたルールにより財務諸表を作る技術が簿記である。逆の見方をすると、簿記を習得すれば、財務諸表を見て組織の業績がある程度分かるようになる。この講義では、小さな商人を前提とした、簿記の全体像を理解し、簡単な財務諸表を作成できるように支援する。すなわち、簿記の始めから終わりまでの一連の流れにつき、順を追って説明するとともに、それぞれの項目に関連する問題を解くことで理解を深め、基本的技術をマスターできるようにする。</p>
準備学習時間・具体的内容 / Preparation study time Specific content	<p>・ You are expected to review the lessons and do exercises in the textbook as a review. (Three hours)</p> <p>・ 講義後の内容の復習、教科書の問題演習など。(3時間)</p>
フィードバックの要領 / Detail of feedback	<p>About exercises: After finishing exercises, you check your answers with the explanation.</p> <p>答練に関して、答練終了後に、自分の解答と正解を照らし合わせて確認してもらいながら、ポイントを押さえた解説を行う。</p>
週ごとの授業計画 / Weekly Schedule	<p>Week 1: (1) orientation (2)①What is "Bookkeeping"? ②Bookkeeping - Process Flow 第1週: (1) オリエンテーション (2) ①簿記って何 ②簿記の流れ</p> <p>Preparation: You do not have to prepare this class. Review: You are expected to do exercises in the textbook as a review. 予習・復習のポイント: 予習は不要。復習として、教科書の関連する練習問題を行うこと。</p> <p>Week 2: a Fundamental Knowledge of Bookkeeping 第2週: 簿記の基礎</p> <p>Preparation: You do not have to prepare this class. Review: You are expected to do exercises in the textbook as a review. 予習・復習のポイント: 予習は不要。復習として、教科書の関連する練習問題を行うこと。</p> <p>Week 3: Buy and Sell</p>

第3週：商品売買

Preparation: You do not have to prepare this class.

Review: You are expected to do exercises in the textbook as a review.

予習・復習のポイント：予習は不要。復習として、教科書の関連する練習問題を行うこと。

Week 4: Cash and Bank

第4週：現金預金

Preparation: You do not have to prepare this class.

Review: You are expected to do exercises in the textbook as a review.

予習・復習のポイント：予習は不要。復習として、教科書の関連する練習問題を行うこと。

Week 5: Notes and Electronically Recorded Monetary Claim

第5週：手形と電子記録債権（債務）

Preparation: You do not have to prepare this class.

Review: You are expected to do exercises in the textbook as a review.

予習・復習のポイント：予習は不要。復習として、教科書の関連する練習問題を行うこと。

Week 6: Fixed Assets

第6週：固定資産

Preparation: You do not have to prepare this class.

Review: You are expected to do exercises in the textbook as a review.

予習・復習のポイント：予習は不要。復習として、教科書の関連する練習問題を行うこと。

Week 7: Other Transactions

第7週：その他の取引

Preparation: You do not have to prepare this class.

Review: You are expected to do exercises in the textbook as a review.

予習・復習のポイント：予習は不要。復習として、教科書の関連する練習問題を行うこと。

Week 8: Account Book

第8週：帳簿

Preparation: You do not have to prepare this class.

Review: You are expected to do exercises in the textbook as a review.

予習・復習のポイント：予習は不要。復習として、教科書の関連する練習問題を行うこと。

Week 9: Trial Balance

第9週：試算表

Preparation: You do not have to prepare this class.

Review: You are expected to do exercises in the textbook as a review.

予習・復習のポイント：予習は不要。復習として、教科書の関連する練習問題を行うこと。

Week 10: Slip and Daily Balance Processor for Journal Entries

第10週：伝票と仕訳日計表

Preparation: You do not have to prepare this class.

Review: You are expected to do exercises in the textbook as a review.

予習・復習のポイント：予習は不要。復習として、教科書の関連する練習問題を行うこと。

Week 11: Account Closing Procedures I

第11週：決算手続 I

Preparation: You do not have to prepare this class.

Review: You are expected to do exercises in the textbook as a review.

予習・復習のポイント：予習は不要。復習として、教科書の関連する練習問題を行うこと。

Week 12: Account Closing Procedures II

第12週：決算手続 II

Preparation: You do not have to prepare this class.

Review: You are expected to do exercises in the textbook as a review.

予習・復習のポイント：予習は不要。復習として、教科書の関連する練習問題を行うこと。

Week 13: Account Closing Procedures III

第13週：決算手続 III

Preparation: You do not have to prepare this class.

Review: You are expected to do exercises in the textbook as a review.

予習・復習のポイント：予習は不要。復習として、教科書の関連する練習問題を行うこと。

Week 14: Exercises and Explanations of Comprehensive Exercise I (past exam questions etc.)

第14週：総合問題 I（過去問題等）の答練及び解説

Preparation: Review the contents of 1-13.

Review: Repeat the comprehensive exercise I.

予習・復習のポイント：予習は第13週までの内容を再確認しておくこと。復習として、総合問題 I を複数回、解き直すこと。

Week 15: Exercises and Explanations of Comprehensive Exercise II (past exam questions etc.)

第15週：総合問題 II（過去問題等）の答練及び解説

	Preparation: Review the contents of 1-13. Review: Repeat the comprehensive exercise II. 予習・復習のポイント：予習は第13週までの内容を再確認しておくこと。復習として、総合問題IIを複数回、解き直すこと。 Depending on a progress, we may change the course contents and weekly plan. ※ 授業の進行状況により各週に行う項目は前後することがある。		
週ごとの授業計画 2 / Weekly Schedule 2 ※上段、文字数超過分を記載			
教科書 / Textbook	滝澤ななみ『みんなが欲しかった簿記の教科書 日商3級商業簿記 第10版』TAC出版、2022年 滝澤ななみ『みんなが欲しかった簿記の問題集 日商3級商業簿記 第10版』TAC出版、2022年		
指定図書 / Course Readings	None/特になし		
参考文献 / Reference List	None/特になし		
評価方法 / Method of Evaluation	Active Participation / 主体的（積極的）な授業参加度:20% Quiz / 小テスト:30% Final Exam / 学期末試験: 50%		
事前履修科目等 / Prerequisite	None/特になし		
実務経験 / Work Experiences	有	授業への実務経験の活用 / Practical Contents	公認会計士及び税理士の資格を持ち、監査法人、税理士事務所、公認会計士事務所等において実務に従事した経験を活かし、実務につながる実践的な内容を学ぶ。
留意点 / Additional Information	1.Bring a calculator with you. 2.This course will be conducted in Japanese. 1. 授業には電卓を持参のこと 2. 本科目の講義は日本語で行う。		
学生による授業評価(VOICE)への教員からの応答 / Responses to VOICE			

講義年度 / Year	2022年度		
科目名 / Course Title	プロジェクト・ゼミナールVI [日本伝統文化：いけばな理論と実践 (A)]		
英文科目名 / Course Title (Eng.)	Project Seminar VI [Japanese traditional culture : Ikebana theory and practice(A)]		
教員 / Instructor	長田 祥男 (Osada, Sachio)		
分野 / Division	ゼミ 選択/Seminar EL	開講学期 / Semester	春学期
配当年次 / Grade	2年	単位数 / Credits	2単位
研究室 / Office		連絡先 / E-mail	osada-s@tama.ac.jp
授業で使用する言語 / Language Used in Class	<input checked="" type="checkbox"/> 日本語のみ <input type="checkbox"/> 英語のみ <input type="checkbox"/> 日本語と英語併用 (日本語と英語の比率) <input type="checkbox"/> その他外国語		

ディプロマ・ポリシーとの対応 / Relationship with DP	<ul style="list-style-type: none"> ー(1) 知識と理解 【グローバル社会に対する理解】 ー(2) 思考と判断 【考え抜く力】 ○(3) 関心と意欲 【社会の発展に貢献する力】 ◎(4) 表現と技能 【役割分担により組織目標の達成に貢献する力】 ー(5) 高い志 【環境対応能力と先進性】
アクティブ・ラーニングの手法 / Methods of Active Learning	<input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> フィールドワーク <input checked="" type="checkbox"/> 実習
到達目標 / Course Goals	<p>The goal is to grasp Japanese traditional culture from a global perspective, learn theory and practical skills, and acquire knowledge and skills that can correctly convey Japan to the world. Credit holders are eligible to apply for the first transfer of 池坊鳳秀流.</p> <p>グローバルな視点で日本の伝統文化をとらえ、理論と実技を学び、世界に向け日本を正しく伝えられる知識と技術の習得を目標とする。単位認定者には池坊鳳秀流初伝位申請の資格が与えられる。</p>
講義の概要 / Course Description	<p>Lecture on life culture supported by the common people in the early modern period. Practical training for learning the basic skills of ikebana.</p> <p>近世の庶民に支えられた生活文化についての講義。いけばなの基本技術習得に向け実技指導。</p>
準備学習時間・具体的内容 / Preparation study time Specific content	<ul style="list-style-type: none"> ・ Learn that you were instructed in the previous week to prepare for each historical theme. (Over 2 hours) ・ In the case of practical training, memorize the illustration of the basic format of ikebana distributed the previous week. ・ Review the history of the Muromachi period, Azuchi-Momoyama period, and Edo period, which were conducted in Japanese history classes up to high school before taking the course. (3 hours before each lecture) ・ In the practice of visiting the ikebana exhibition, submit a post-event report in line with history. (3 hours) <ul style="list-style-type: none"> ・ 各回の歴史的テーマに即した予習課題を前週に指示されたことを学習しておく。(2時間超) ・ 実技実習の場合は前週に配布したいけばなの基本形式の図解を暗記しておく。 ・ 履修前に高校までの日本史の授業でおこなった室町時代・安土桃山時代・江戸時代の歴史を復習しておく。(各講義前に3時間) ・ いけばな展参観の実習では事後レポート提出を歴史に即して作成する。(3時間)
フィードバックの要領 / Detail of feedback	<p>Regarding the assignment report, give feedback by commenting on the assignment report. Regarding the practical test, give feedback by commenting on each work.</p> <p>課題レポートに対してコメントを記入してフィードバックを行う。 実技試験に関しては各自の作品に対し、コメントをすることでフィードバックを行う。</p>
週ごとの授業計画 / Weekly Schedule	<p>Week 1: Introduction ・ About "Ikebana" Globalism 第1週：授業ガイダンス・「いけばな」グローバルズムについて Student Pre-Class Preparation: Have read course descriptions. Nowadays when globalization is called for, think about the Japanese identity to Japanese life culture. 予習・復習のポイント：シラバスを読んでいること。グローバル化が叫ばれる昨今、日本の生活文化に対しての日本人としてのアイデンティティを考える。</p> <p>Week 2: Flower arrangement history ①About the origin of ikebana and the stage before it permeates the lifestyle culture. Introduction: Differences in the way Japanese people perceive "ikebana" between the Middle Ages and modern times 第2週：華道史①いけばなの起源と生活文化へ浸透していく前段階について いけばな概論：中世と現代の日本人の「いけばな」とらえ方の相違について Student Pre-Class Preparation: Review the "Ikebana" globalism of the previous week. 予習・復習のポイント：前週の「いけばな」グローバルズムについて復習しておく。</p> <p>Week 3: Flower arrangement history ②About the Kakai (Ikebana Exhibition) from the Middle Ages to the early modern period About the purpose of the Kakai and its effect 第3週：華道史②中世から近世にかけての花会 (いけばな展) について 花会の主旨とその効果について Student Pre-Class Preparation: Review the history of the Azuchi-Momoyama period from the late Muromachi period of the Middle Ages. 予習・復習のポイント：中世室町時代後期から安土桃山時代の歴史を復習しておく。</p> <p>Week 4: Flower arrangement history ③ About the Doboshu and about the establishment of Ikenobo About the cultural transition of the Azuchi-Momoyama period, About the downfall of the Doboshu and the existence of Ikenobo 第4週：華道史③同朋衆についてと池坊の確立について 安土桃山時代の文化の変遷について、同朋衆の没落と池坊の存在について Student Pre-Class Preparation: Review the differences in cultural formation between Oda Nobunaga and Toyotomi Hideyoshi. 予習・復習のポイント：織田信長・豊臣秀吉の文化形成の相違点について復習しておく。</p>

	<p>Week 5: Ikebana practice "Basic form ①" = About the triangle, which is the basic form of the work. How to use flower scissors and Kenzan, Learn in practice how to cut and insert branches. 第5週: いけばな実技「基本形①」= 作品の基本形である三角形について。 花鋏・剣山の使い方、枝の切り方・差し方を実践で学ぶ。 Student Pre-Class Preparation: 予習・復習のポイント:</p> <p>Week 6: Ikebana practice "Basic form ②" How to construct a basic triangle. Let's try in practice the point that the shape of the triangle changes depending on how the Kenzan is inserted. 第6週: いけばな実技「基本形②」基本形の三角形の構成法について。 剣山の差し方で三角形の形状が変わってしまう点について実践で試してみる。 Student Pre-Class Preparation: Make sure to remember the length and proportion of the basic form of the previous week. 予習・復習のポイント: 前週の基本形について、長さや割合について確実に覚えておく。</p> <p>Week 7: Ikebana practice "Basic form ③" How to make the work spread back and forth. How to create an expanse by arranging branches and colors 第7週: いけばな実技「基本形③」作品で前後の広がりを出す方法について。 枝の配置と色の配置で広がりを演出する方法 Student Pre-Class Preparation: Review the 12 color circles of art. 予習・復習のポイント: 美術の12色環を復習しておく。</p> <p>Week 8: Ikebana practice "Basic form ④" = Spatial composition due to differences in flower materials 第8週: いけばな実技「基本形④」= 花材の違いによる空間構成 Student Pre-Class Preparation: Consider the differences between three-dimensional modeling works and ikebana. 予習・復習のポイント: 立体造形作品といけばなの相違点を考えておく。</p> <p>Week 9: Ikebana practice "Basic form ⑤" = What is the spatial composition that feels the wind? 第9週: いけばな実技「基本形⑤」= 風を感じる空間構成とは…? Student Pre-Class Preparation: Review the practical skills so far. Be conscious of not neglecting the basics and not relying solely on the senses. 予習・復習のポイント: 今までの実技の復習をしておく。基本をおろそかにせず感覚だけに頼らないことを意識する。</p> <p>Week 10: Ikebana practice "Classic work ①" Formalized ikebana Consider the difference between the basic form and the classic triangle. 第10週: いけばな実技「古典作品①」形式化されたいけばな 基本形と古典の三角形の相違点を考える。 Student Pre-Class Preparation: Make sure that the basic triangle can be expressed. 予習・復習のポイント: 基本形の三角形が確実に表現できるようにしておく。</p> <p>Week 11: About various shapes of ikebana, Explanation from the works submitted to the Fujisawa City Exhibition Points of general Japanese outlook on ikebana 第11週: いけばなの各種の形について、藤沢市展応募作品からの説明 一般的日本人の活け花観のポイント Student Pre-Class Preparation: Select the works exhibited at the Fujisawa City Exhibition that will remain in your mind, and compile a report on them. 予習・復習のポイント: 藤沢市展の出品作品の中で自分の心に残るものを選択し、それについてのレポートをまとめておく。</p> <p>Week 12: Ikebana practice "Practical exam" Practical exam to see if you can do basic ikebana. 第12週: いけばな実技 実技試験 基本形で活けられるかどうかの実技試験。 Student Pre-Class Preparation: Organize the skills you have learned six times and think about your priorities. 予習・復習のポイント: 6回にわたり学んできた技能をきちんと整理し、優先順位を考えておく。</p> <p>Week 13: Flower arrangement history ④ About the life culture and "Ikehana" of the common people who supported the life culture of the Edo period About the differences between the reigns of the 8th Shogun Yoshimune and the 11th Shogun Ienari and the feelings of the common people 第13週: 華道史④江戸時代の生活文化を支えた庶民の生活文化と「いけばな」について 8代将軍吉宗と11代将軍家斉の治世の相違点と庶民感情について Student Pre-Class Preparation: Review the Genroku culture and Kasei culture about the Kyoho reforms and the Tempo reforms. 予習・復習のポイント: 享保の改革と天保の改革について、元禄文化と化政文化について復習しておく。</p> <p>Week 14: Flower arrangement history ⑤ About the transition of life culture at the end of the Edo period and the degree of Japanese people education seen from foreign country Factors and prerequisites for cultural development 第14週: 華道史⑤江戸時代末期の生活文化の変遷と外国から見た日本人の教育程度について 文化が発展する要因と必須条件について Student Pre-Class Preparation: Review the cultural history of the late Edo period. 予習・復習のポイント: 幕末の頃の文化史について復習しておく。</p> <p>Week 15: About the modern flower arrangement world from the Meiji era to the Taisho era and the Showa era About the relationship between Japanese traditional culture and the world in the midst of globalization 第15週: 明治から大正、昭和を経て現代の華道界について グローバル化される中での日本の伝統文化と世界の関わりについて Student Pre-Class Preparation: Review about Japanese and Ikebana in the 1st class. 予習・復習のポイント: 第1回目の授業の日本人といけばなについて復習しておく。</p>
週ごとの授業計画 2 / Weekly Schedule 2 ※上段、文字数超過分を記載	
教科書 / Textbook	華道家必携 華道に関するアラカルト
指定図書 / Course Readings	None/特になし

参考文献 / Reference List	None/特になし		
評価方法 / Method of Evaluation	In-class activity / 授業内活動 (60%) Extracurricular activity report / 学外活動レポート評価 (20%) In-class practical skill test / 授業内実技試験 (20%)		
事前履修科目等 / Prerequisite	None/特になし		
実務経験 / Work Experiences	有	授業への実務経験の活用 / Practical Contents	池坊鳳秀流家元として、数多くの華道展開催やいけばな教室等の伝統文化普及を行ってきた経験から、初心者にもわかりやすく日本の伝統文化を伝える。
留意点 / Additional Information	None/特になし		
学生による授業評価(VOICE)への 教員からの応答 / Responses to VOICE			